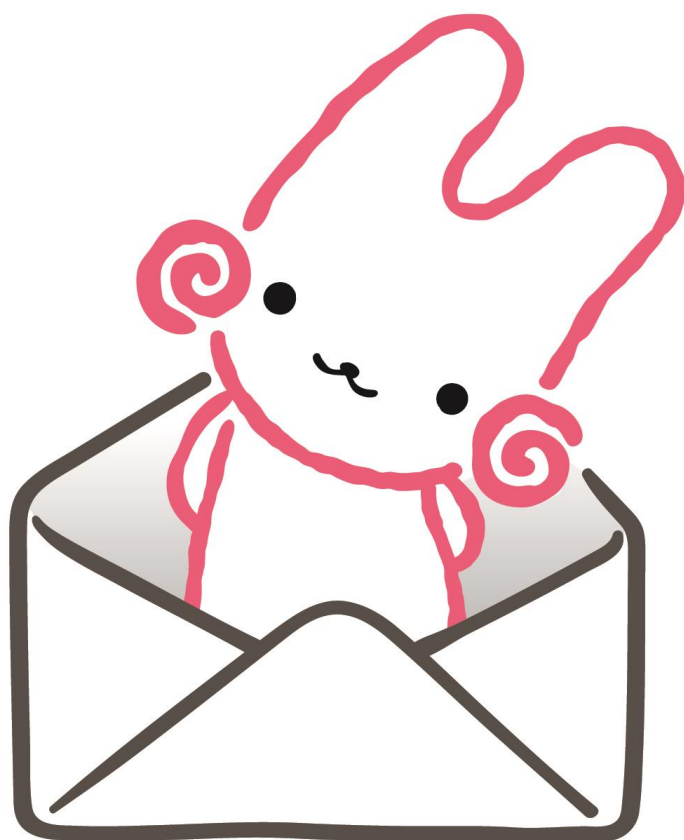


立川市子どもの自己肯定感 などに関する調査

報 告 書



令和4(2022)年3月
立 川 市

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果（小学5年生）	3
1. 立川市の子どもの自己肯定感の現状	3
2. 子どもと家庭；居場所と自分を大切に思ってくれる人の存在	6
3. 「将来の夢」や「苦しくても頑張ったこと」	11
4. 相談機関などについての認識や意見	12
5. 「子どもの権利」の認識と社会参加する機会	14
6. 新型コロナウイルス感染症による現在の気持ち	22
7. 自由記述	24
III 調査結果（中学2年生）	34
1. 立川市の子どもの自己肯定感の現状	34
2. 子どもと家庭；居場所と自分を大切に思ってくれる人の存在	37
3. 「将来の夢」や「苦しくても頑張ったこと」	42
4. 相談機関などについての認識や意見	43
5. 「子どもの権利」の認識と社会参加する機会	45
6. 新型コロナウイルス感染症による現在の気持ち	53
7. 自由記述	55
IV 小学5年生と中学2年生の結果比較	67
資料編（回答フォーム）	70

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、立川市の子どもが安心していきいきと生活できるまちづくりが実現できているかを知るために、立川市が実施しました。子どもの自己肯定感や信頼できる人の有無、苦しくても頑張った経験、相談機関や子どもの権利についての認識等について調査することで、現状と課題を探り、今後の施策づくりや取り組みに生かすことを目的としています。

2. 調査方法

(1) 調査対象

小学生：全市立小学校(19校)に協力を依頼し、各校5年生に実施しました。

中学生：全市立中学校(9校)に協力を依頼し、各校2年生に実施しました。

(2) 調査方法

学習用タブレット内に回答フォームを作成し、担任教諭から調査について周知し、児童生徒が学級活動等で各自回答を送信する方法で実施しました。

(3) 調査期間等

令和3(2021)年	6月8日	小学校校長会・中学校校長会に提案・依頼
	6月10日	学習用タブレットに回答フォーム設置
	6月30日	調査期間終了
	8月	集計・速報版作成
	9月～3月	分析・報告書作成

(4) 回収結果

小学生 回収率 84.2%

	回答者人数	5年生全体人数※1
男子	612人	750人
女子	590人	709人
答えたくない	25人	-
合計	1,229人※2	1,459人

中学生 回収率 79.7%

	回答者人数	2年生全体人数※1
男子	471人	642人
女子	499人	639人
答えたくない	42人	-
合計	1,021人※3	1,281人

※1「R3年度児童・生徒数(教育委員会学務課)5月1日時点」による

※2 無回答2人を含む ※3 無回答9人を含む

(5) 調査の設計・集計・考察

調査は、教育部指導課及び小学校校長会・中学校校長会の協力を得て、子ども家庭部子育て推進課で実施しました。なお、結果の分析・考察については、恣意的な分析や解釈を避けるため、事実に基づいた結果の記述を中心に行いました。

3. 調査内容

問 1	回答者の性別
問 2	自己肯定感の有無や、社会に役立ちたい気持ち
問 3	自分の家庭について
問 4	ホッとでき、安心していられるところ
問 5	自分のなやみなどを何でも話せる人
問 6	楽しかったことなど、自分が話したいことを何でも話せる人
問 7	大切に思ってくれていると思う人
問 8	家や学校・地域での役割
問 9	夢やなりたい職業の有無
問 10	苦しいけれど頑張ったことや、大変だったけれど楽しかった経験
問 11	立川市の相談機関を知っているか
問 12	どんなところだったら相談しようと思うか
問 13	子どもの権利条約を知っているか
問 14	子どもの権利（人権）に関心があるか
問 15	子どもの権利（人権）としてどんなことが特に大切だと思うか
問 16	大人に心がけてほしいこと
問 17	子ども自身が社会の一員として努力すべきこと
問 18	他人の権利（人権）を侵害していると感じること
問 19	子どもの権利（人権）をみんなが知ったときの効果や影響
問 20	子どもが社会に参加する機会としてどんな活動がいいか
問 21	新型コロナウイルス感染症による自分の気持ち
問 22	問 21 の理由
問 23	新型コロナウイルス感染症により感じていること

4. 報告結果の見方

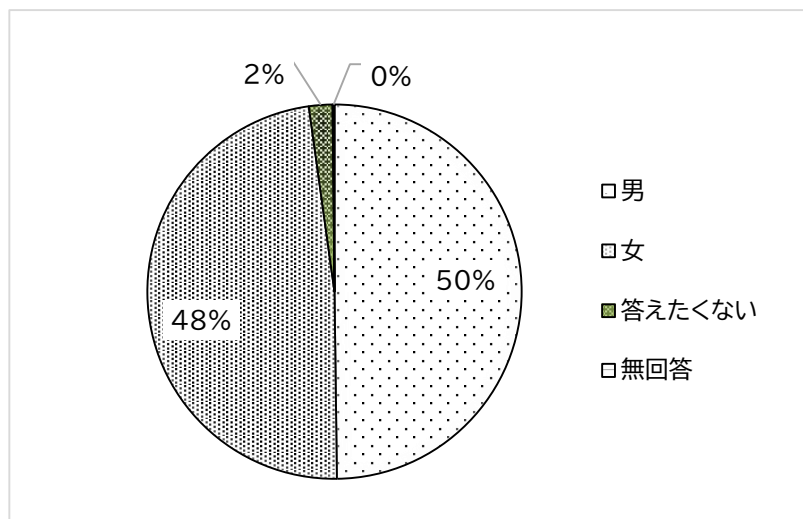
- (1) 割合の数値については、端数を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると、100%を超えることになります。また、男女比較については、性別の未回答がいるため、総数が一致しないことがあります。
- (3) 自由記述については、寄せられた回答を項目ごとに整理し直して収録しています。なお、回答は原則として記載された内容をそのまま掲載しています。ただし、内容を考慮し、一部表現を調整している場合があります。
- (4) 掲載の図表番号はアンケートの質問項目番号に対応しています。ex.【問 1】⇔図 1

5. 過去に実施した「子どもの自己肯定感などに関する調査」について、今回の内容と同じ質問内容(ただし問 21～23 を除く)で下記のとおり実施しました。

第 1 回	平成 18 年 12 月	対象：中学 1～3 年生	各校各学年 1 クラス
第 2 回	平成 20 年 10 月	対象：小学 6 年生	各校 1 クラス
第 3 回	平成 23 年 6 月	対象：小学 5 年生・中学 2 年生	各校 1 クラス
第 4 回	平成 28 年 5 月	対象：小学 5 年生・中学 2 年生	各校 1 クラス

Ⅱ．調査結果（小学5年生）

（問１）「あなたの性別を教えてください。」から回答者数等を集計しました。
市内小学5年生人数 1,459 人(全体人数)に対して 1,229 人の児童から回答を得ました。
その内訳は、男子 612 人、女子 590 人、答えたくない 25 人、無回答 2 人でした。回答した児童の男女比は【図１】のとおりです。



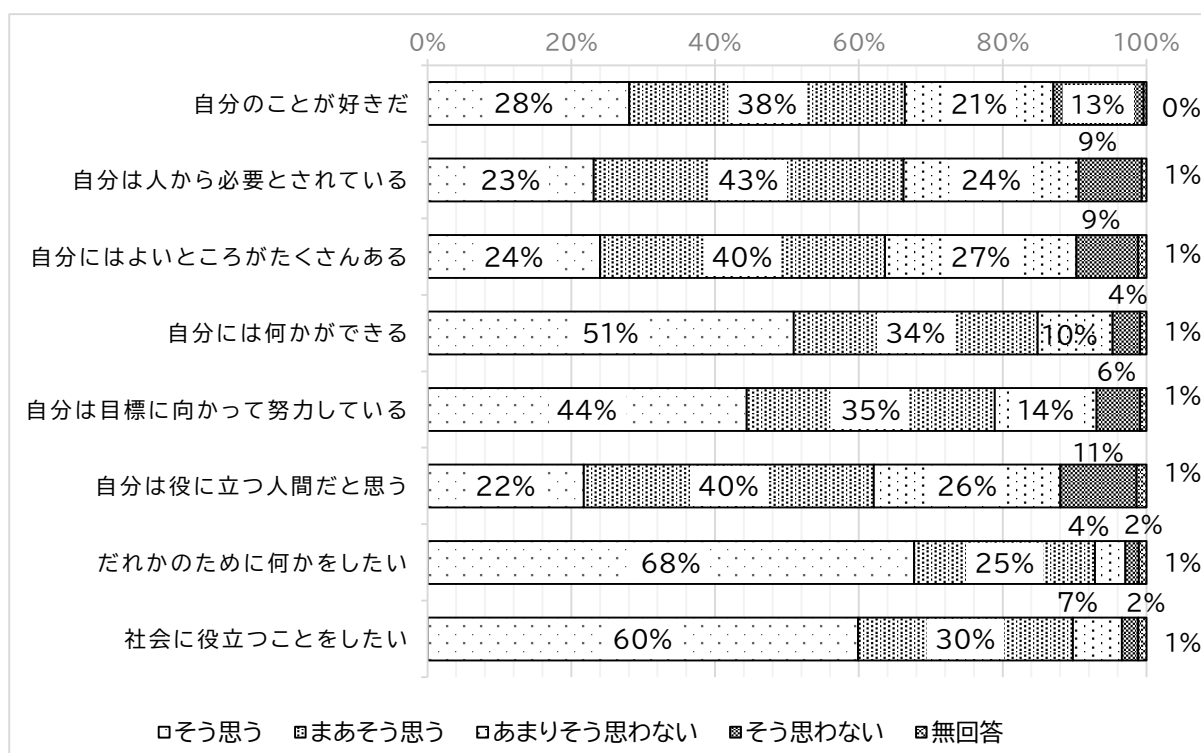
【図１】調査回答児童の男女

1. 立川市の子どもの自己肯定感の現状

今回の調査においては、児童に対する質問の用語解説で、「自己肯定感」について次のような説明をつけました。

自己肯定感とは・・・自分が生きていることには意味がある、自分は愛される価値がある、自分は大事な存在である、自分には何かできる、などと、自分自身を肯定的にとらえる感覚をいいます。生きていく上で、とても大切な感覚です。

（問２）「あなたは、自分のことについて、次のようなことを思いますか。」では、このような認識に立ち、自分のことを肯定的にとらえ、自分は役に立つと感じているかどうかを答えてもらったところ【図２】のようになりました。



【図2】子どもの自己肯定感などについて

またこの結果を

- ・「そう思う」「まあそう思う」と回答した児童 ⇒ 肯定的回答グループ
 - ・「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答をした児童 ⇒ 否定的回答グループ
- の2つのグループに分けて比較したところ、次のようになりました。

質 問	グループ	人数	割合
① 自分のことが好きだ	肯定的回答グループ	816 人	66%
	否定的回答グループ	408 人	33%
② 自分は人から必要とされている	肯定的回答グループ	814 人	66%
	否定的回答グループ	407 人	33%
③ 自分にはよいところがたくさんある	肯定的回答グループ	782 人	64%
	否定的回答グループ	433 人	35%
④ 自分には何かができる	肯定的回答グループ	1,043 人	85%
	否定的回答グループ	175 人	14%
⑤ 自分は目標に向かって努力している	肯定的回答グループ	970 人	79%
	否定的回答グループ	248 人	20%
⑥ 自分は役に立つ人間だと思う	肯定的回答グループ	763 人	62%
	否定的回答グループ	449 人	37%
⑦ だれかのために何かをしたい	肯定的回答グループ	1,141 人	93%
	否定的回答グループ	75 人	6%
⑧ 社会に役立つことをしたい	肯定的回答グループ	1,103 人	90%
	否定的回答グループ	112 人	9%

【表 2-1】子どもの自己肯定感などについて

各回答グループの割合をみると、すべての項目で肯定的回答グループが否定的回答グループより上回っています。特に「⑦だれかのために何かをしたい」「⑧社会に役立つことをしたい」の2項目については、90%以上という高い値になっており、他者や社会に対して何かしたい、役に立ちたい、という気持ちをかなり多くの児童が抱いていることがわかります。また、「④自分には何かができる」「⑤自分は目標に向かって努力している」の2項目では75%以上という値になっており、将来への可能性や方向性のイメージを持っている児童が多いことがわかります。

男女差についてみると、「①自分のことが好きだ」から「⑥自分は役に立つ人間だと思う」まで男子の肯定的回答グループのポイントが女子を上回りました。特に、「①自分のことが好きだ」については、11ポイントの差があります。一方、「⑦だれかのために何かをしたい」と「⑧社会に役立つことをしたい」の女子の肯定的回答グループのポイントが男子のポイントを上回りました。

質 問	グループ	男子		女子	
① 自分のことが好きだ	肯定的回答グループ	440 人	72%	362 人	61%
	否定的回答グループ	169 人	28%	227 人	38%
② 自分は人から必要とされている	肯定的回答グループ	421 人	69%	380 人	64%
	否定的回答グループ	186 人	30%	207 人	35%
③ 自分にはよいところがたくさんある	肯定的回答グループ	415 人	68%	352 人	60%
	否定的回答グループ	188 人	31%	233 人	39%
④ 自分には何かができる	肯定的回答グループ	532 人	87%	493 人	84%
	否定的回答グループ	70 人	11%	96 人	16%
⑤ 自分は目標に向かって努力している	肯定的回答グループ	487 人	80%	467 人	79%
	否定的回答グループ	114 人	19%	123 人	21%
⑥ 自分は役に立つ人間だと思う	肯定的回答グループ	409 人	67%	344 人	58%
	否定的回答グループ	195 人	32%	238 人	40%
⑦ だれかのために何かをしたい	肯定的回答グループ	553 人	90%	568 人	96%
	否定的回答グループ	50 人	8%	19 人	3%
⑧ 社会に役立つことをしたい	肯定的回答グループ	546 人	89%	536 人	91%
	否定的回答グループ	55 人	9%	53 人	9%

【表 2-2】子どもの自己肯定感などについて

今回と同じ質問項目で平成 23 年、平成 28 年に実施した時の結果を肯定的回答及び否定的回答グループに分けて比較しました。全体的には、調査を重ねるごとに肯定的回答グループのポイントが前回調査を上回る傾向にありますが、今回の調査では「⑤自分は目標に向かって努力している」のポイントが前回調査に比べて3ポイント減少しました。

質 問	グループ	H23 小学 5 年		H28 小学 5 年		R3 小学 5 年	
① 自分のことが好きだ	肯定的回答グループ	355 人	58%	373 人	59%	816 人	66%
	否定的回答グループ	248 人	41%	250 人	40%	408 人	33%
② 自分は人から必要とされている	肯定的回答グループ	327 人	54%	379 人	60%	814 人	66%
	否定的回答グループ	271 人	44%	241 人	38%	407 人	33%
③ 自分にはよいところがたくさんある	肯定的回答グループ	310 人	51%	373 人	59%	782 人	64%
	否定的回答グループ	289 人	47%	249 人	40%	433 人	35%
④ 自分には何かができる	肯定的回答グループ	476 人	78%	529 人	84%	1,043 人	85%
	否定的回答グループ	129 人	21%	95 人	15%	175 人	14%
⑤ 自分は目標に向かって努力している	肯定的回答グループ	463 人	76%	515 人	82%	970 人	79%
	否定的回答グループ	144 人	24%	110 人	17%	248 人	20%
⑥ 自分は役に立つ人間だと思う	肯定的回答グループ	304 人	50%	336 人	53%	763 人	62%
	否定的回答グループ	296 人	49%	280 人	44%	449 人	37%
⑦ だれかのために何かをしたい	肯定的回答グループ	531 人	87%	570 人	91%	1,141 人	93%
	否定的回答グループ	73 人	12%	56 人	9%	75 人	6%
⑧ 社会に役立つことをしたい	肯定的回答グループ	517 人	85%	539 人	86%	1,103 人	90%
	否定的回答グループ	91 人	15%	87 人	14%	112 人	9%

【表 2-3】 子どもの自己肯定感などに関する調査の H23・H28・R3 回答結果比較】

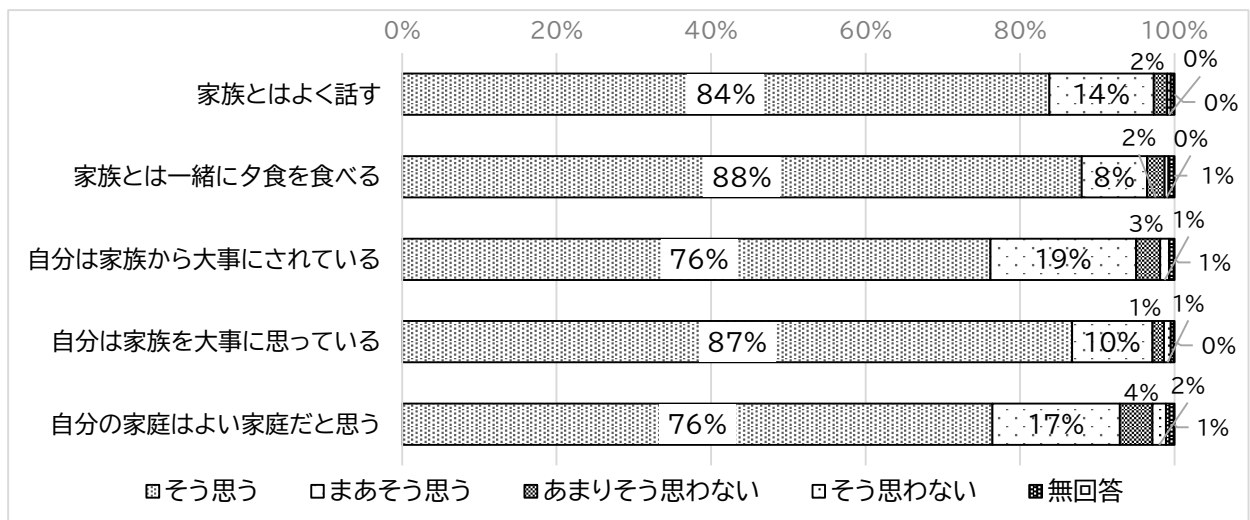
2. 子どもと家庭；居場所と自分を大切に思ってくれる人の存在

(1) 基本的な存在としての親との関係

(問3)「①自分の家庭についてどう思うか」の設問で、「家族とはよく話す」と回答する割合が、「そう思う」、「まあそう思う」を合わせると 1,196 人 (98%)、「②家族とは一緒に夕食を食べる」と回答する割合についても、「そう思う」、「まあそう思う」を合わせると 1,185 人 (96%) という値になり、家族とのコミュニケーションの場が、家庭生活の中で確保されている割合は非常に高くなっています。

家庭生活に対する子どもからの評価もまた高い割合を示し、「⑤自分の家庭はよい家庭だと思う」という項目に「そう思う」、「まあそう思う」と回答する割合が合わせて 1,142 人 (93%) になっています。家族との人間関係において、「③自分は家族から大事にされている」という項目に「そう思う」、「まあそう思う」と回答する割合が合わせて 1,168 人 (95%)、「④自分は家族を大事に思っている」という項目に「そう思う」、「まあそう思う」と回答する割合が合わせて 1,194 人 (97%) と、家庭や家族に関する設問項目に対しては、いずれも肯定的な回答が 90%を超えています。小学生にとって、家庭は日常生活の中で大きな位置を占めていることがわかります。

平成 28 年の調査でも、この設問に対する肯定的な回答は 90%以上で、前回の調査とほぼ同様の結果でした。

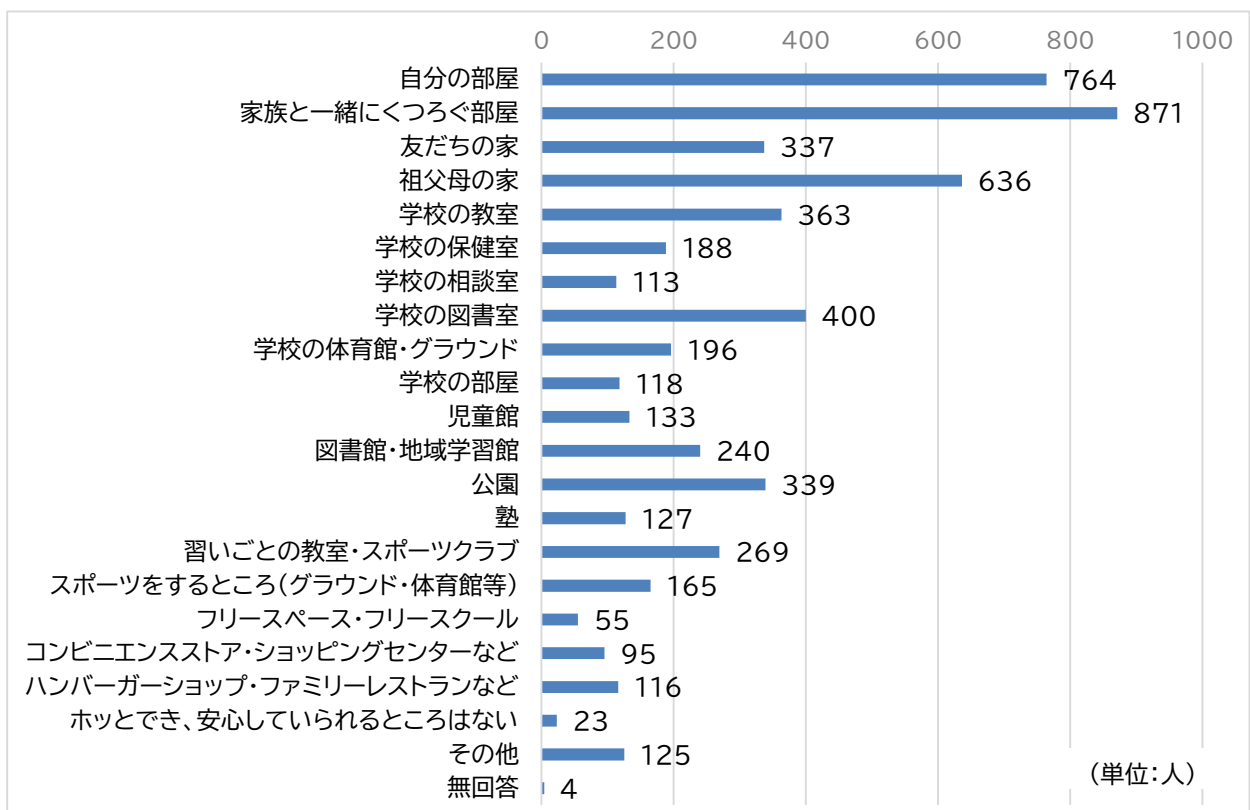


【図3】自分の家庭について

(2) 子どもが安心していられる場所

(問4)「あなたがホッとでき、安心していられる場所はどこか」(複数回答)の設問に最も多く回答があったのは、「家族と一緒にくつろぐ部屋」871人(71%)、次いで「自分の部屋」764人(62%)、「祖父母の家」636人(52%)、「学校の図書室」400人(33%)と続きました。その他欄の自由記述に125人の回答があり、主な内容は「トイレ(15件)」「寝室(10件)」「風呂(8件)」「一人でいられるところ(7件)」などの意見がありました。

男女差のあった回答は、「学校の体育館・グラウンド」では男子127人(10%)に対し女子63人(5%)、「スポーツをするところ」では男子112人(9%)に対し女子50人(4%)となっています。



【図4】ホッとでき、安心していられる場所

これらの場所で子どもとかかわりをもつことが予想される、家族（親、兄弟姉妹、祖父母）や友だちに関しては、後述の（問7）「自分を大切に思ってくれる人」は親 1,167 人（95%）、友だち 896 人（73%）、祖父母 878 人（71%）、兄弟姉妹 763 人（62%）と回答があったことを考え合わせると、子どもにとって、「自分を大切に思っていて受け入れてくれる」と思える人がいることが、ホッとでき安心していただける場所の大切な条件であると言えます。

前回調査と上位5つを比較すると、1番目～4番目の順位は変わりませんでしたが、前回調査では5番目だった「図書館・地域学習館」が9番目に、8番目だった「学校の教室」が5番目となりました。

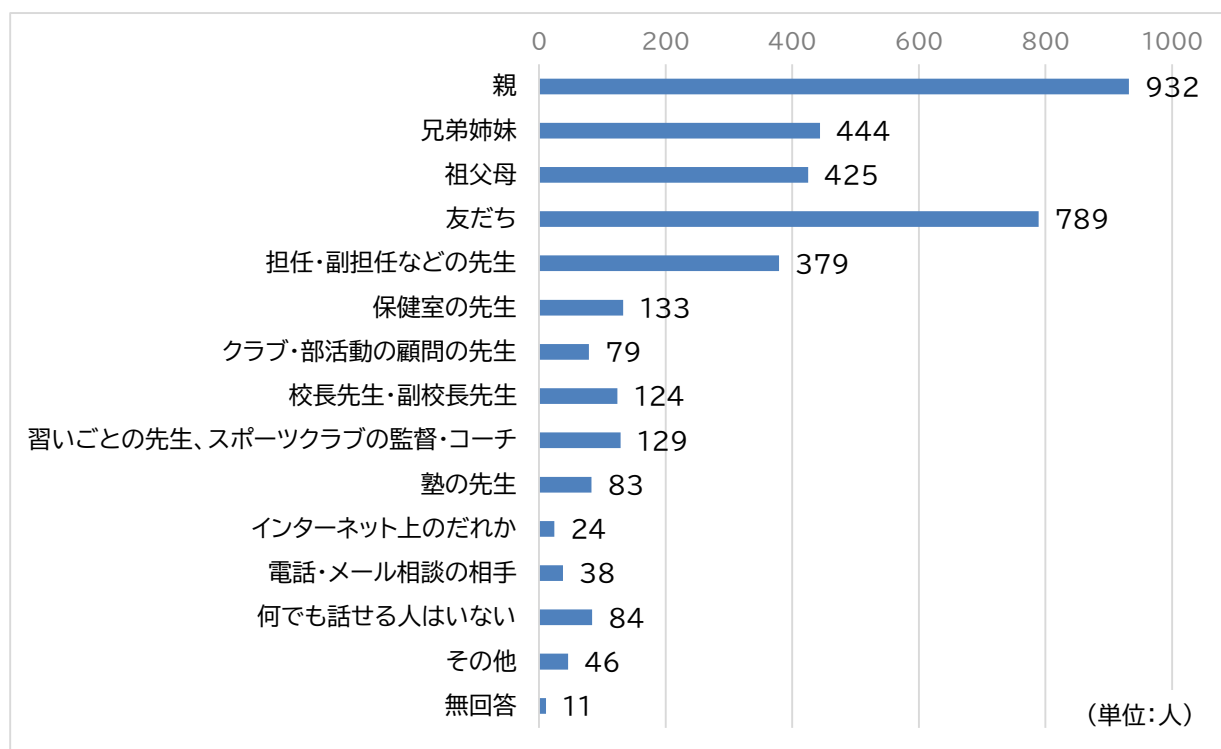
（3）信頼できる人について

（問5）「悩みを何でも話せる人はだれか」（複数回答）に対しては「親」932 人（76%）、「友だち」789 人（64%）、「兄弟姉妹」444 人（36%）、「祖父母」425 人（35%）という結果になっています。また、学校関係者の「担任・副担任などの先生」「保健室の先生」「クラブ・部活動の顧問の先生」「校長先生・副校長先生」を合わせると 715 人（58%）で、前回調査からポイントが倍増しました。また、「何でも話せる人はいない」は、84 人（7%）でした。

その他の回答では 46 人の回答があり、「いとこ（10 件）」「スクールカウンセラー（8 件）」「自分（3 件）」などの意見がありました。

男女差では「親」、「担任・副担任などの先生」で男子が女子を 6 ポイント、「祖父母」、「校長先生・副校長先生」、「習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチ」でも 4 ポイント上回った一方、「何でも話せる人はいない」では女子が男子を 1 ポイント上回りました。

前回調査と上位5つを比較すると、変動はありませんでした。

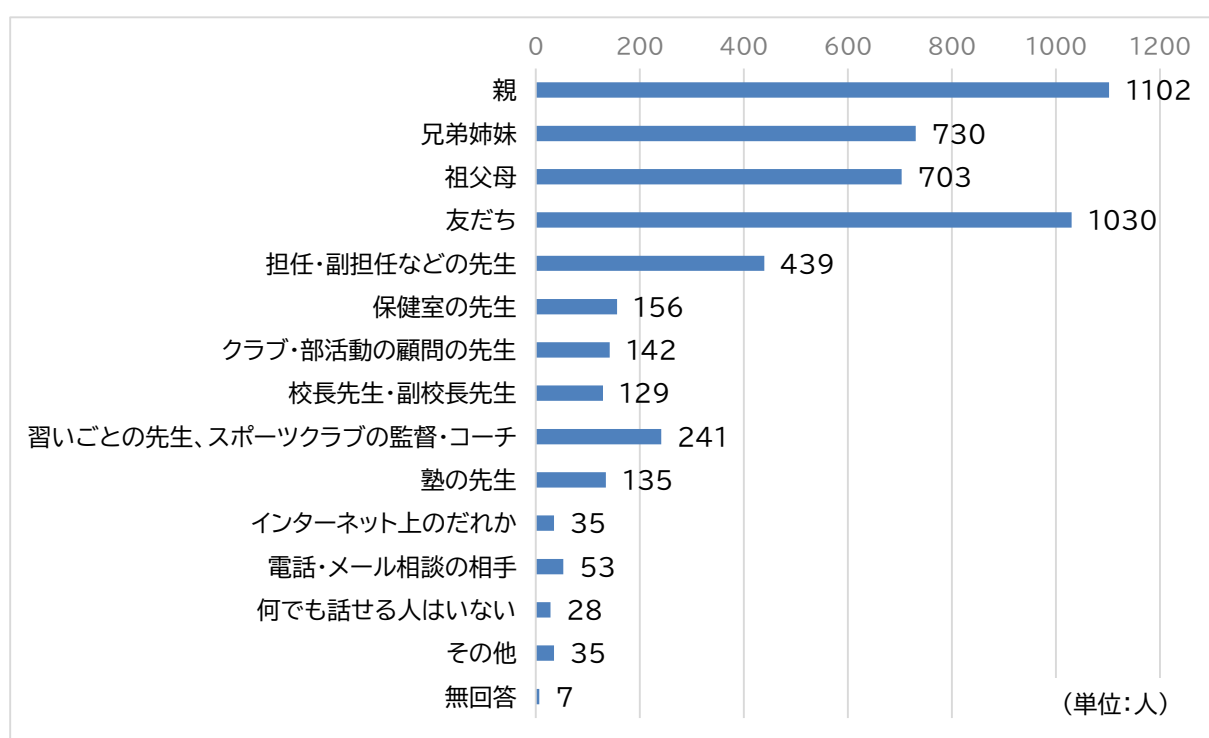


【図5】悩みを話せる人

（問６）「楽しかったことなどを何でも話せる人はだれか」（複数回答）に対しては、最も多いのが「親」1,102人(90%)、次が「友だち」1,030人(84%)、以下「兄弟姉妹」730人(59%)、「祖父母」703人(57%)と続き、いずれも（問５）「悩みを何でも話せる人はだれか」への回答に比べ高い値を示しています。「何でも話せる人はいない」を選んだ児童は28人(2%)と、（問５）に比べ少なくなっています。また、学校関係者の「担任・副担任などの先生」「保健室の先生」「クラブ・部活動の顧問の先生」「校長先生・副校長先生」を合わせると866人(70%)で、前回調査から26ポイント上がりました。その他の回答では35人の回答があり、「いところ（15件）」、「おじ・おば（3件）」、「ペット（2件）」などの意見がありました。

またこの回答には男女差はほぼありませんでした。

前回の調査と上位５つの項目について比べたところ、順位の変動はありませんでした。

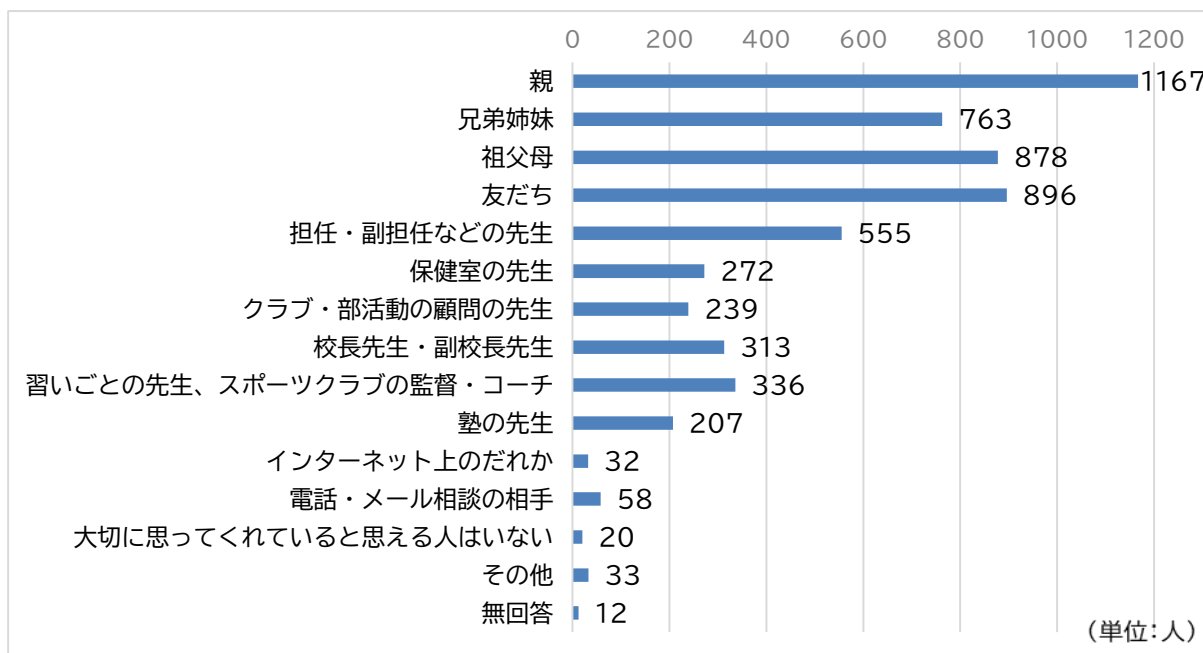


【図６】楽しかったことを話せる人

（問７）「あなたを大切に思ってくれていると思える人はだれか」（複数回答）の設問に「親」を選んだ児童は、一番多く1,167人(95%)、「友だち」896人(73%)、「祖父母」878人(71%)、「兄弟姉妹」763人(62%)がこれに続いています。小学生にとって親とは、自分を大切に思ってくれているという信頼感を抱ける、基本的な存在であることがうかがえます。家族（祖父母、兄弟姉妹等）に対しても同様に、関係の深さに裏付けられた信頼感を持っているのがわかります。その他の回答には33人の回答があり「いところ（11件）」、「わからない（5件）」などの意見がありました。

男女差では「親」、「担任・副担任などの先生」、「校長先生・副校長先生」、「習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチ」で男子が女子を3ポイント上回りました。

また、前回の調査と上位５つの項目について比べたところ、「友だち」と「祖父母」の順位が入れ替わりしました。

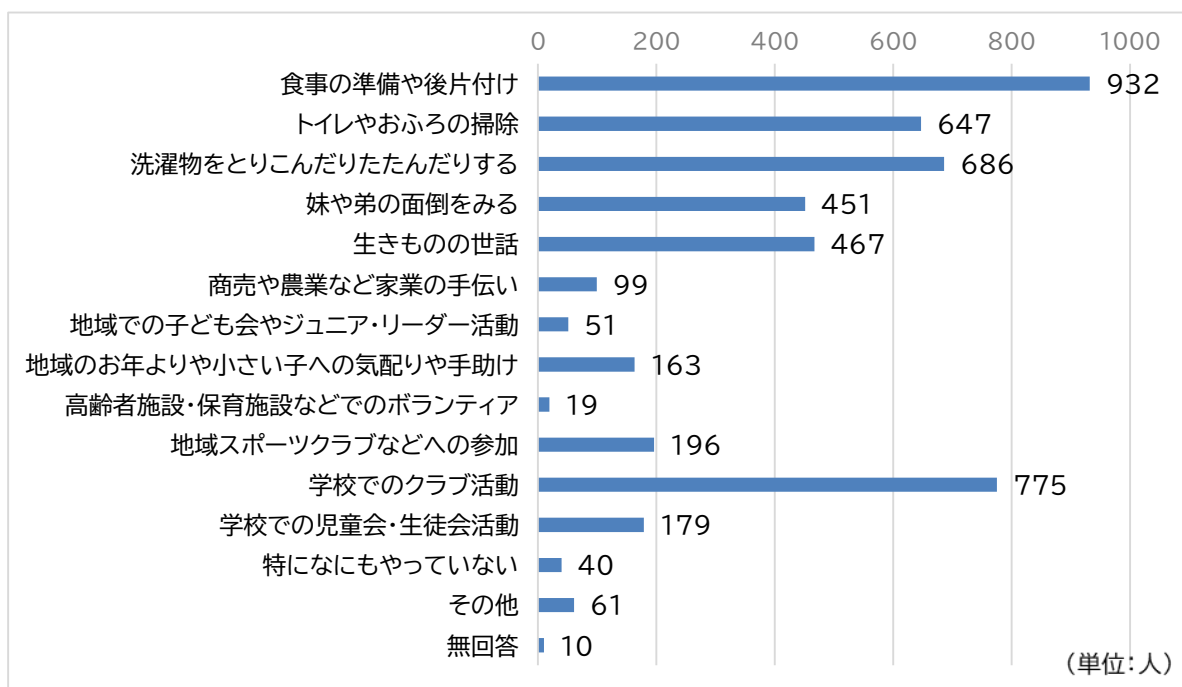


【図7】自分を大切に思ってくれる人

(4) 家庭・学校・地域での役割について

(問8)「あなたは次のようなことをやっているか」(複数回答)の設問では、回答の多い方から順に「食事の準備や後片付け」932人(76%)、「学校でのクラブ活動」775人(63%)、「洗濯物をとりこんだりたたんだりする」686人(56%)、「トイレやおふろの掃除」647人(53%)、「生きものの世話」467人(38%)、「妹や弟の面倒をみる」451人(37%)と続いています。

また、前回の調査と上位5つを比較すると、1番目から4番目までの順位は変わりませんが、前回5番目の「妹や弟の面倒をみる」と前回6番目の「生きものの世話」が僅差で入れ替わりしました。



【図8】家庭・学校・地域で担っている役割

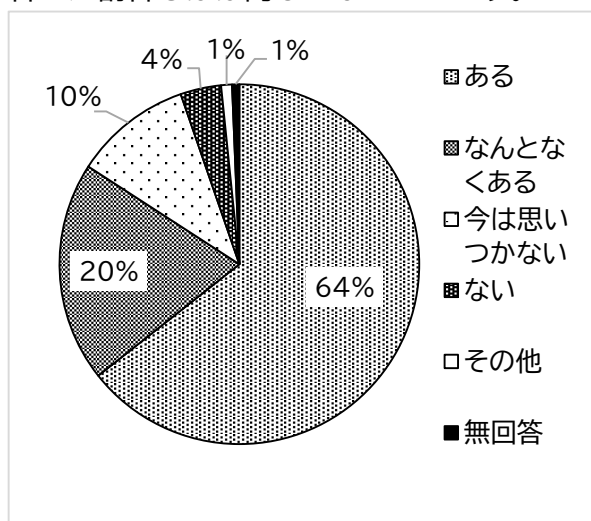
クラブ活動を除くと、児童が担っている役割の主なものは、家庭内での手伝いであることがわかります。家庭内での手伝いで多かったもの上位3つを男女別に見たところ、「食事の準備や後片付け」は男子443人(36%)、女子471人(38%)、「洗濯物を取りこんだりたたんだりする」は男子318人(26%)、女子352人(29%)、「トイレやお風呂の掃除」は男子343人(28%)、女子286人(23%)、となり、男女問わず手伝いを行っている様子がうかがえます。

家庭内での手伝い以外では、「生きものの世話」で男子211人(17%)、女子245人(20%)と女子が男子より3ポイント上回りました。また「地域スポーツクラブなどへの参加」では男子133人(11%)、女子59人(5%)で男子が女子より6ポイント上回りました。

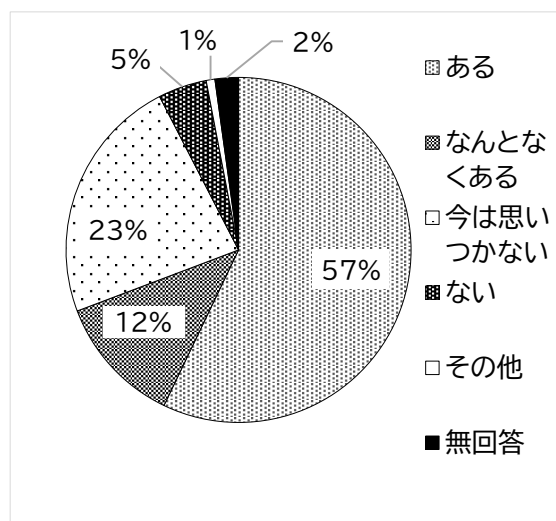
3. 「将来の夢」や「苦しくても頑張ったこと」

(問9)「将来やってみたいことやなりたい職業など、自分なりの夢はあるか」という設問で、「ある」「なんとなくある」と答えた児童の割合は1,034人(84%)でした。前回に比べて4ポイント減少しましたが、将来への夢やイメージは比較的高い割合で持っていることがうかがえます。また、男女別で「ある」「なんとなくある」と答えた割合もほぼ同じとなっています。

(問10)「苦しいけれど頑張ったことや、大変だったけれど楽しかった経験はあるか」という設問に、「ある」「なんとなくある」と答えた児童の割合は851人(69%)でした。前回に比べて1ポイント増加し、苦しいけれど頑張った、大変だったけれど頑張った、という経験の記憶も高い割合でもっていることがうかがえます。また、男女別で「ある」「なんとなくある」と答えた割合もほぼ同じとなっています。



【図9】 将来の夢



【図10】 頑張った経験

また、この設問では(問10-1)「それはどんなことか」という記述回答欄を設けたところ、713件の回答がありました。主な内容ごとにまとめ、件数をカウントした結果が下表【表10-1】です。「苦しいけれど頑張ったことや、大変だったけれど楽しかった経験」として、スポーツ・運動と勉強が特に多くなっています。

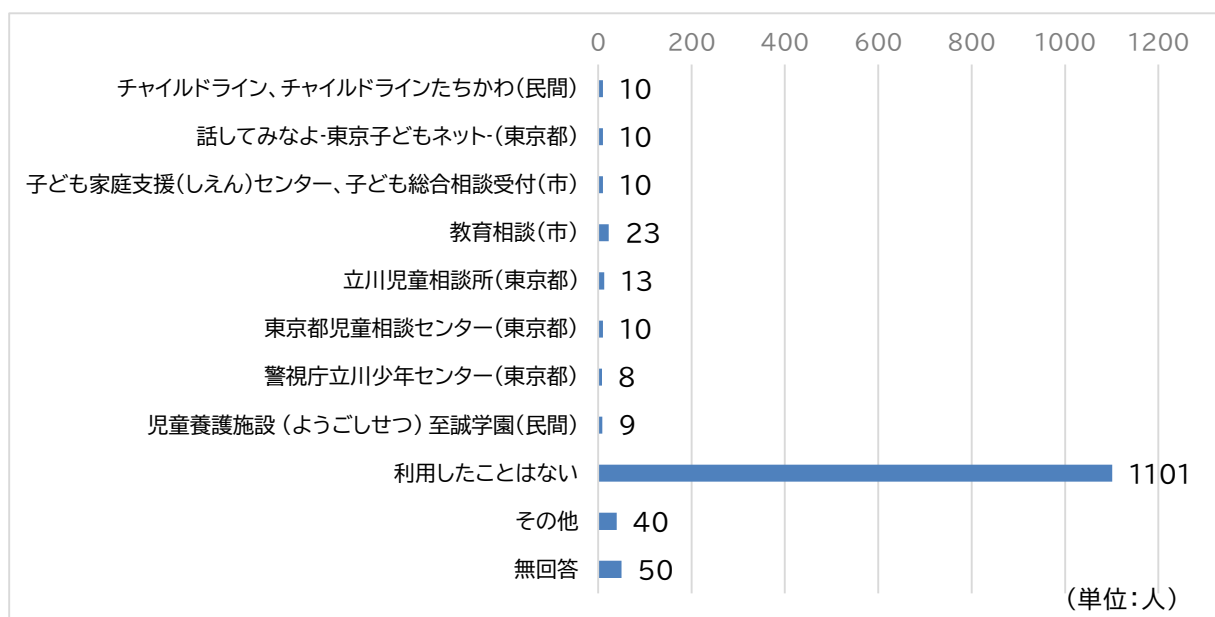
問 10-1 頑張ったこと 自由記述		R3	H28
1	スポーツ、運動	344 件 (28%)	157 件 (25%)
2	勉強 (学校、塾、テストなど)	151 件 (12%)	35 件 (6%)
3	習い事 (文化系)	89 件 (7%)	27 件 (4%)
4	学校行事 (運動会、ハケ岳ハイキングなど)	34 件 (3%)	68 件 (11%)
5	自己の目標 (すききらいをなくすなど)	22 件 (2%)	4 件 (1%)
6	趣味、遊び	21 件 (2%)	19 件 (3%)
7	家庭の手伝い、地域活動	20 件 (2%)	23 件 (4%)
8	病気、けが (自分、家族)	14 件 (1%)	5 件 (1%)
9	友人関係、対人関係	10 件 (1%)	3 件 (1%)
10	いじめ、けんか	8 件 (1%)	6 件 (1%)
合計		713 件 (58%)	347 件 (55%)

【表 10-1】「苦しいけれど頑張ったことや、大変だったけれど楽しかった経験」具体例

4. 相談機関などについての認識や意見

(問 1 1)「立川市の子どものための相談機関として利用したことがあるのはどれか」(複数回答)という設問に対しては、83 人(7%)が利用したことがあると回答しました。その内訳は「教育相談(市)」が 23 件、「立川児童相談所(東京都)」が 13 件など、全部で 133 件でした。「その他」の回答では「スクールカウンセラー」「子ども未来センター」の名称が記載されていました。一方、1,101 人(90%)の児童が「利用したことはない」と回答しています。

前回の調査との比較では、利用したことがあるという回答数は 18 人(2%)、「利用したことはない」の回答が 557 人(88%)でした。



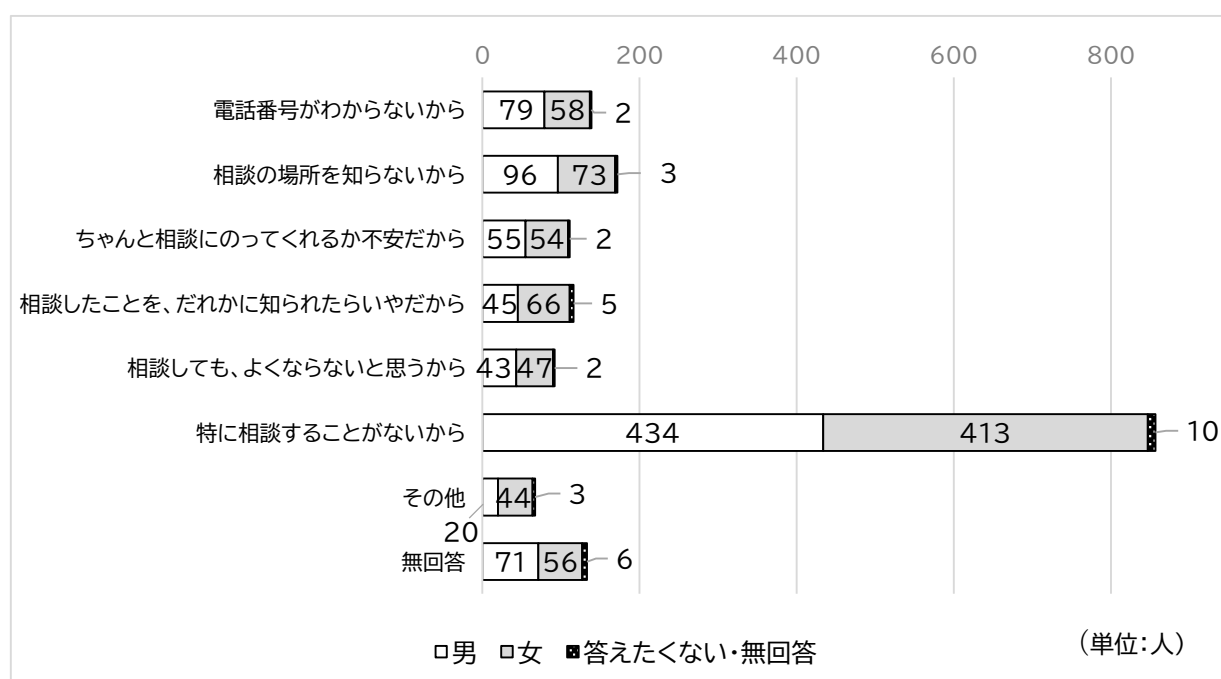
【図 1 1】利用したことのある相談機関

相談機関は、必要とされる機会に適切にアクセスできなければなりません。実際にだれかに相談したい、といった局面で、そのアクセスを阻む要因があるなら、それを改善する必要があります。

そこで、(問 11-1) では、上記の設問に「利用したことはない」と答えた人に対して、「それはなぜですか」(複数回答)と聞きました。

もっとも多かった回答は「特に相談することがないから」で、857 人(70%)です。それ以外の選択肢の回答率を見ると、「相談の場所を知らないから」172 人(14%)、「電話番号がわからないから」139 人(11%)など、いざというときのアクセス先を知らない児童がいることがわかります。また、「相談したことを、だれかに知られたらいやだから」116 人(9%)、「ちゃんと相談にのってくれるか不安だから」111 人(9%)、「相談しても、よくならないと思うから」92 人(7%)など、相談機関への信頼感がもてないために相談できない児童がいることもわかります。男女別では、男子がアクセス方法、女子がプライバシーの保護の点で回答に差が見られました。

その他の意見は 67 人あり、「家族や友達など身近に相談できる人がある(16 件)」、「勇気が出ない(6 件)」、「相談したくない(3 件)」などの意見がありました。



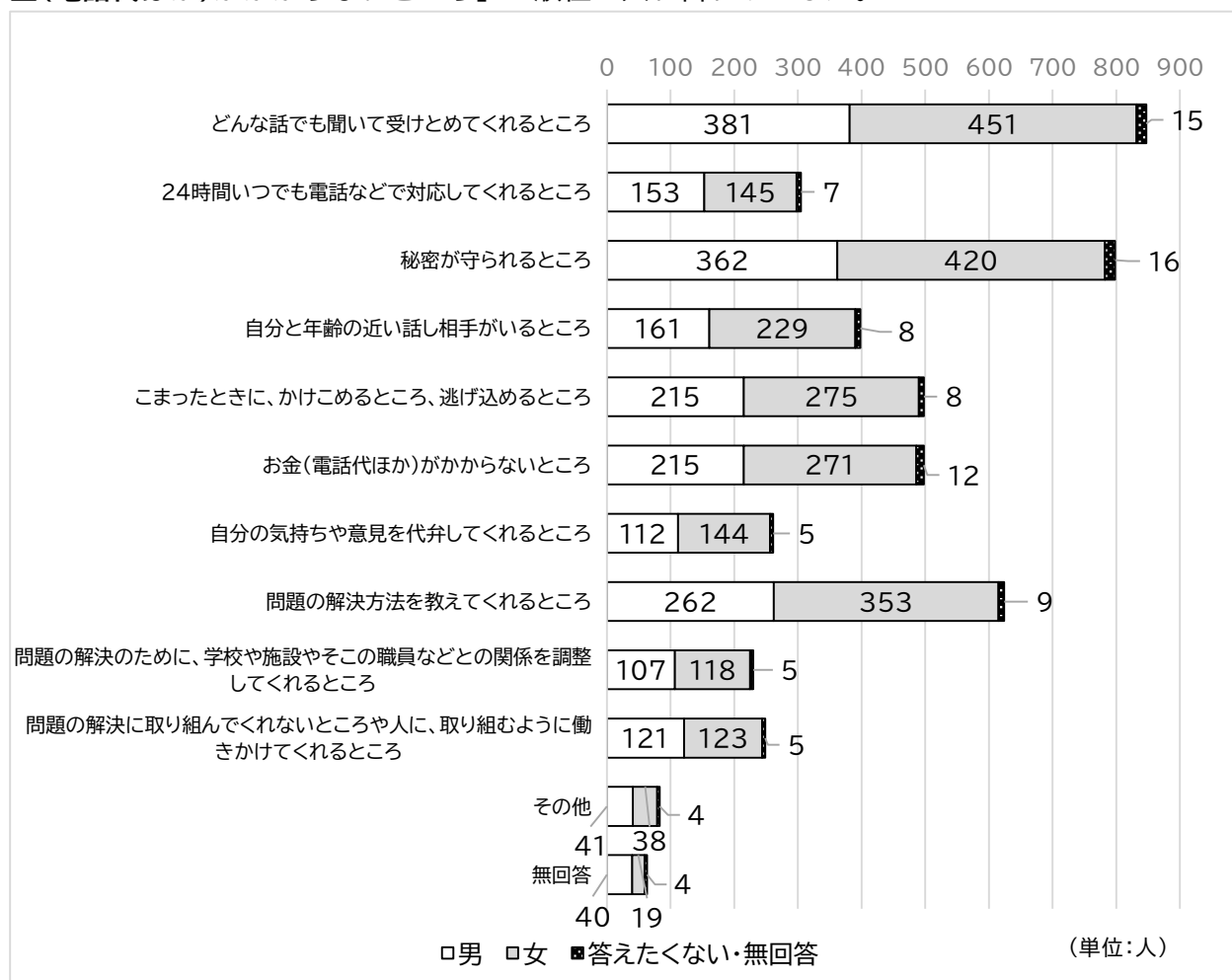
【図 11-1】利用しない理由 男女別

(問 1 2) 「どんなところなら相談しようと思うか」(複数回答)という設問への回答は、以下のようになっています。

多かった回答は「どんな話でも聞いて受けとめてくれるところ」847 人(69%)、「秘密が守られるところ」798 人(65%)、「問題の解決方法を教えてくれるところ」624 人(51%)など、さらに「こまったときに、かけこめるところ、逃げ込めるところ」498 人(41%)、「お金(電話代ほか)がかからないところ」498 人(41%)、「自分と年齢の近い話し相手がいるところ」398 人(32%)、「24 時間いつでも電話などで対応してくれるところ」305 人(25%)など、相談機関に対する意見や要望は多く、多様であることがわかります。

ほとんどの選択肢について女子の回答数が男子を上回っており、相談機関自体に対する関心については、女子は男子より高いことがうかがえます。その他の意見には83人あり、「相談したくない(12件)」、「自分を理解してくれるところ(11件)」、「親や友達(9件)」などの意見がありました。

また、前回調査と上位5つを比較すると、「問題の解決方法を教えてくれるところ」と「お金(電話代ほか)がかからないところ」の順位が入れ替わりしました。



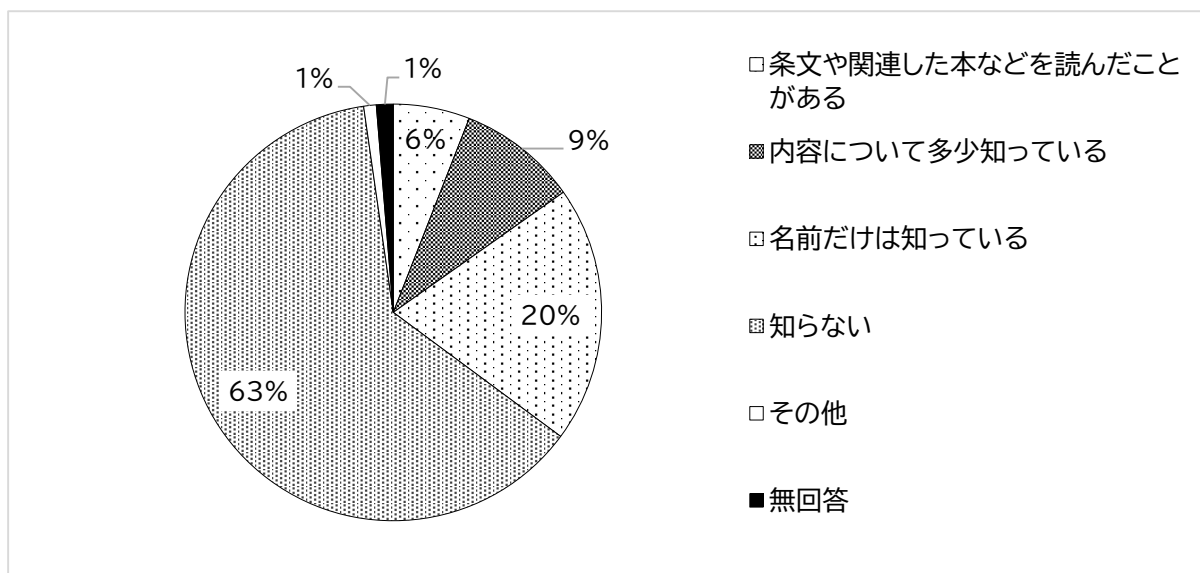
【図12】どんなところなら相談するか 男女別

5. 「子どもの権利」の認識と社会参加する機会

(1) 子どもの権利条約の認知度

(問13)「子どもの権利条約を知っていますか」の問いに対し、認知度は「条文や関連した記事を読んだことがある」73人(6%)、「内容について多少知っている」114人(9%)、「名前だけは知っている」245人(20%)を合わせて432人(35%)です。

前回調査では、この3つのグループの回答を合計すると21%で、今回の調査の方が14ポイント多くなっています。

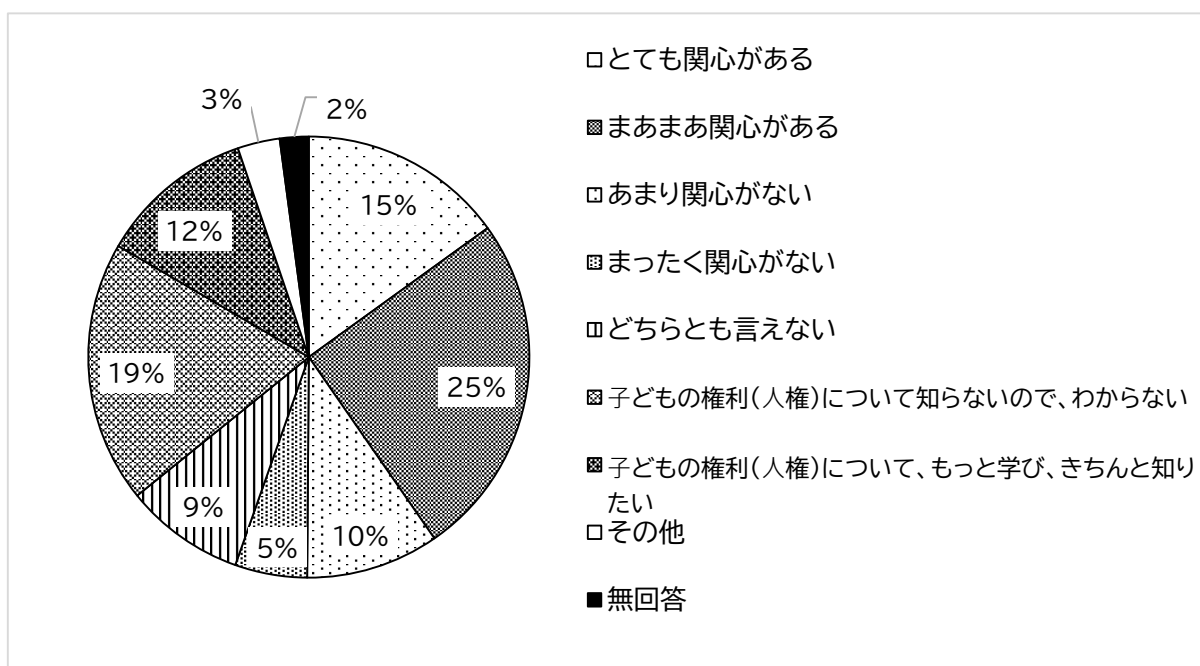


【図13】子どもの権利条約の認知度

(2) 子どもの権利（人権）に対する関心

(問14)「子どもの権利（人権）について、関心がありますか」の問いに対し、「とても関心がある」「まあまあ関心がある」「子どもの権利（人権）について、もっと学び、きちんと知りたい」の関心があるグループの合計が 636 人(52%)、「あまり関心がない」「まったく関心がない」の無関心グループ合計が 185 人(15%)、「どちらとも言えない」「子どもの権利（人権）に知らないので、わからない」のどちらでもないグループが 344 人(28%)と、関心があるグループが過半数に達しています。

前回調査では、関心があるグループ 248 人（40%）、無関心グループ 121 人（19%）、どちらでもないグループ 216 人（34%）でした。

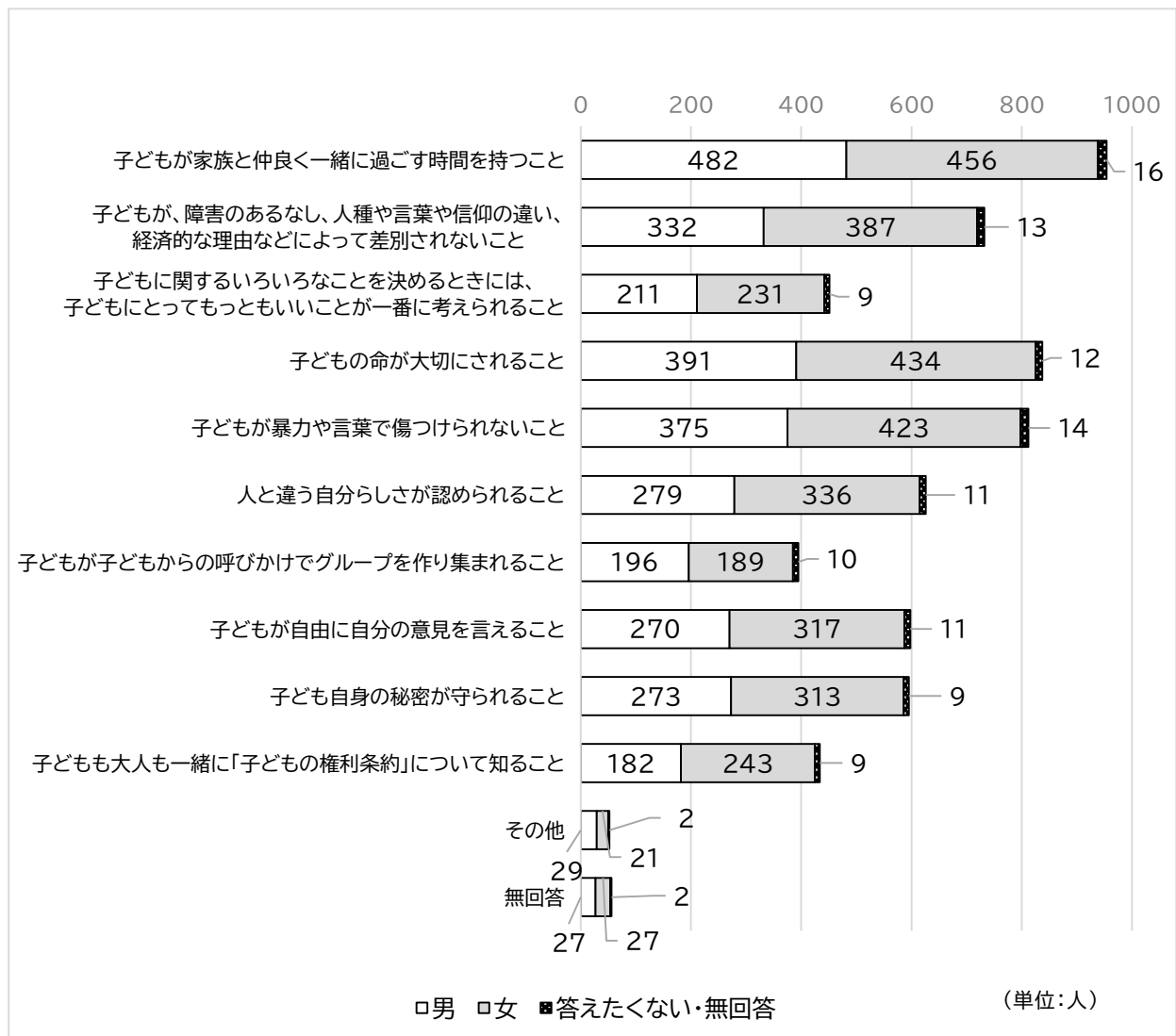


【図14】子どもの権利(人権)に対する関心

(3) 子どもの考える「子どもの権利(人権)」の内容

(問15)「子どもの権利(人権)として、どんなことが特に大切だと思うか」(複数回答)の設問に対して、もっとも多かった回答は「子どもが家族と仲良く一緒に過ごす時間を持つこと」が954人(78%)、次いで「子どもの命が大切にされること」837人(68%)、「子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと」812人(66%)、「子どもが、障害のあるなし、人種や言葉や信仰の違い、経済的な理由などによって差別されないこと」732人(60%)、「人と違う自分らしさが認められること」626人(51%)などが続いています。

なお、今回調査でも、ほとんどの選択肢で、その項目を選んだ女子の数が男子の数を上回っています。また、前回調査と上位5つの順位に変動はありませんでした。

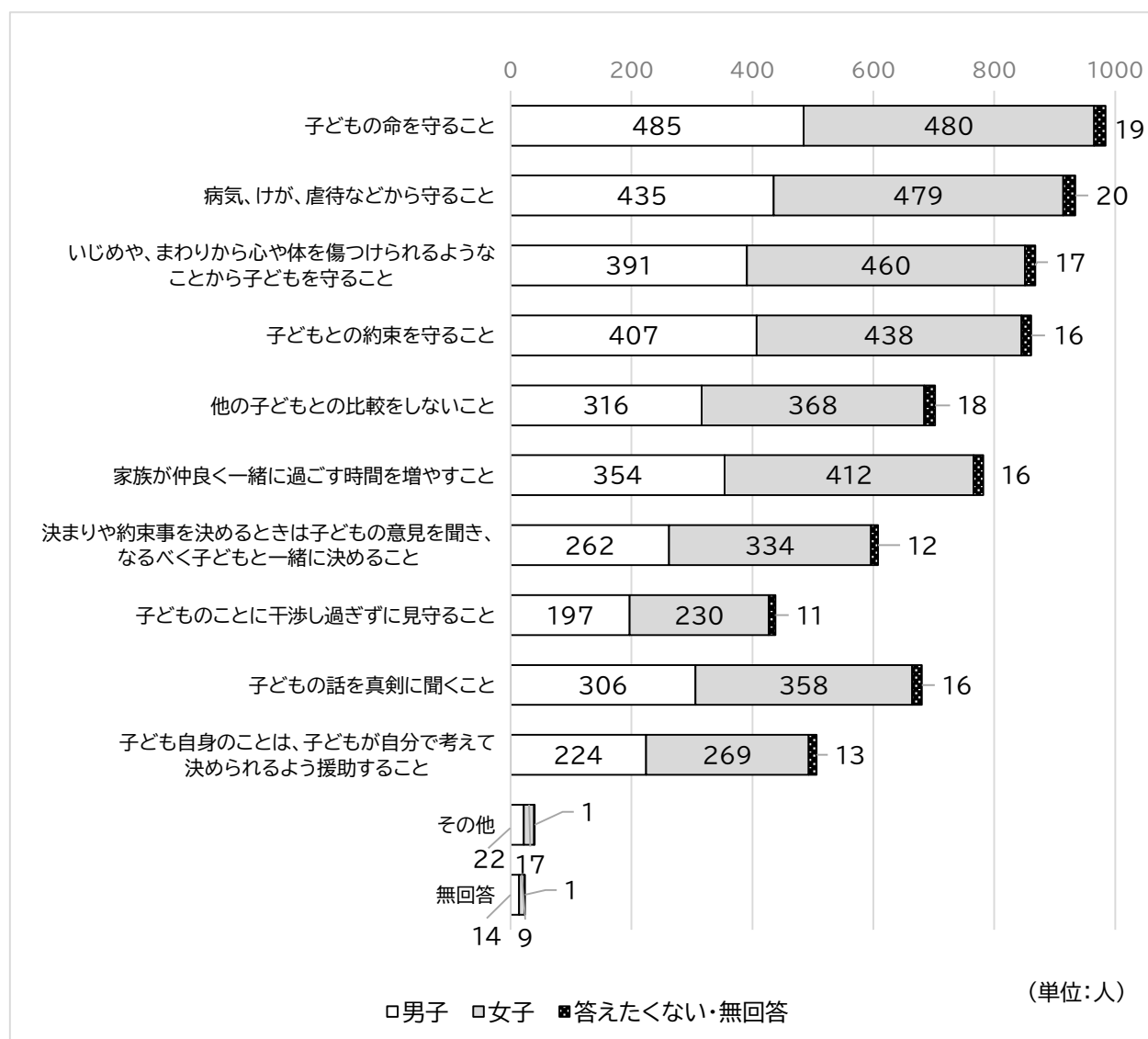


【図15】子どもの権利(人権)として大切なこと 男女別

（問１６）「大人に心がけてほしいのはどんなことか」（複数回答）の設問に対して、もっとも多かった回答は「子どもの命を守ること」984人(80%)、次いで「病気、けが、虐待などから守ること」934人(76%)、「いじめや、まわりから心や体を傷つけられるようなことから子どもを守ること」868人(71%)、「子どもとの約束を守ること」861人(70%)、「家族の時間を増やすこと」782人(64%)、などが続いています。

なお、「子どもの命を守ること」以外の選択肢で、その項目を選んだ女子の数が男子の数を上回っています。

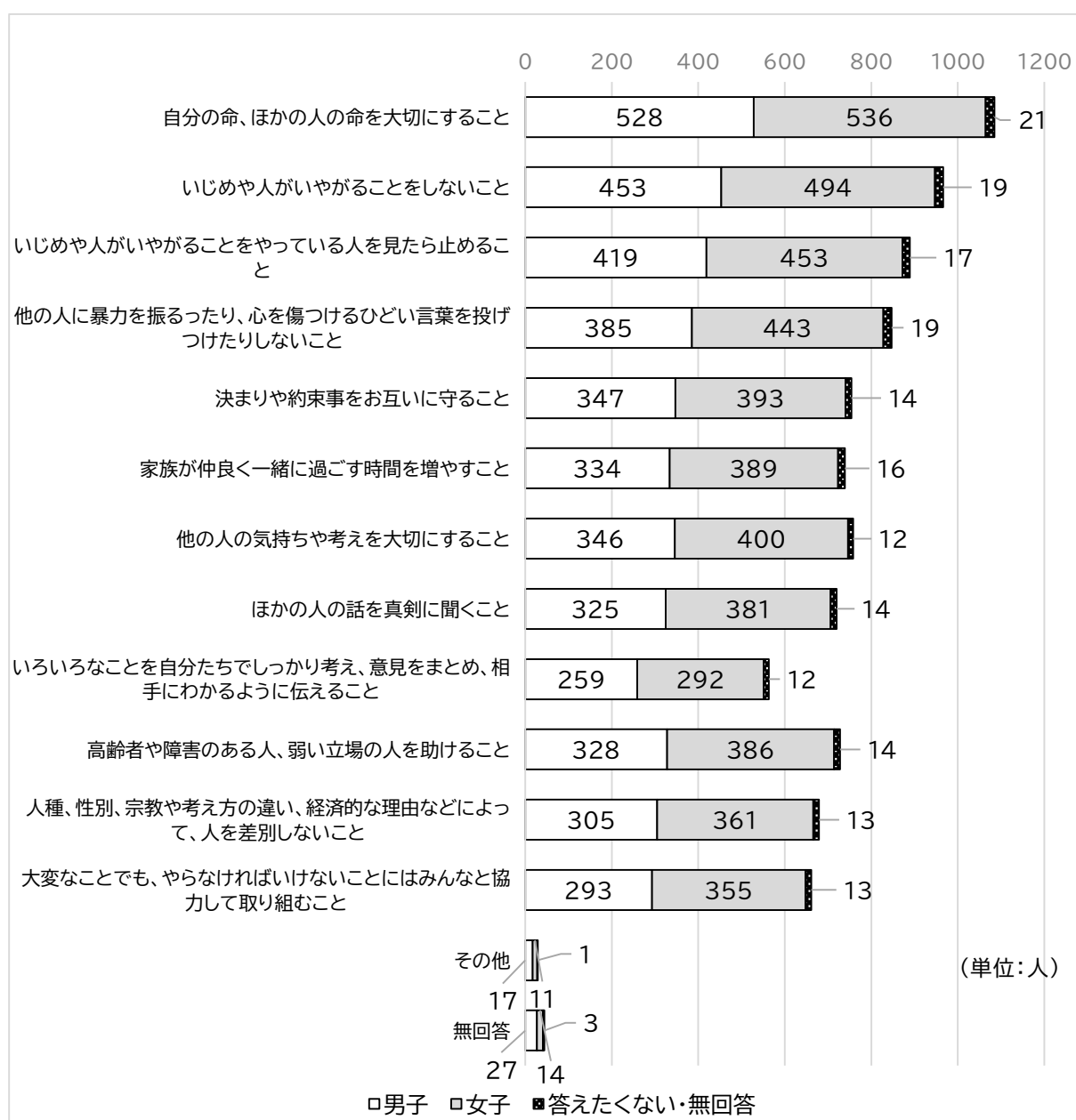
また、前回調査と上位５つの順位に変動はありませんでした。



【図１６】大人に心がけてほしいこと 男女別

(問17)「子どもの権利(人権)を尊重し合うために、子ども自身も社会の一員として努力すべきことはどんなことか」(複数回答)に対して、もっとも多かった回答は「自分の命、ほかの人の命を大切にすること」1,085人(88%)、次いで「いじめや人がいやがることをしないこと」966人(79%)、「いじめや人がいやがることをやっている人を見たら止めること」889人(72%)、「他の人に暴力を振るったり、心を傷つけるひどい言葉を投げつけたりしないこと」847人(69%)、「他の人の気持ちや考えを大切にすること」758人(62%)などが続いています。

なお、すべての選択肢について、その項目を選んだ女子の数が男子の数を上回っています。また、前回調査と上位5つを比較すると、上位4つの選択肢については同じ順番でしたが、5番目が「決まりや約束事をお互いに守ること」から「他の人の気持ちや考えを大切にすること」に変わりました。

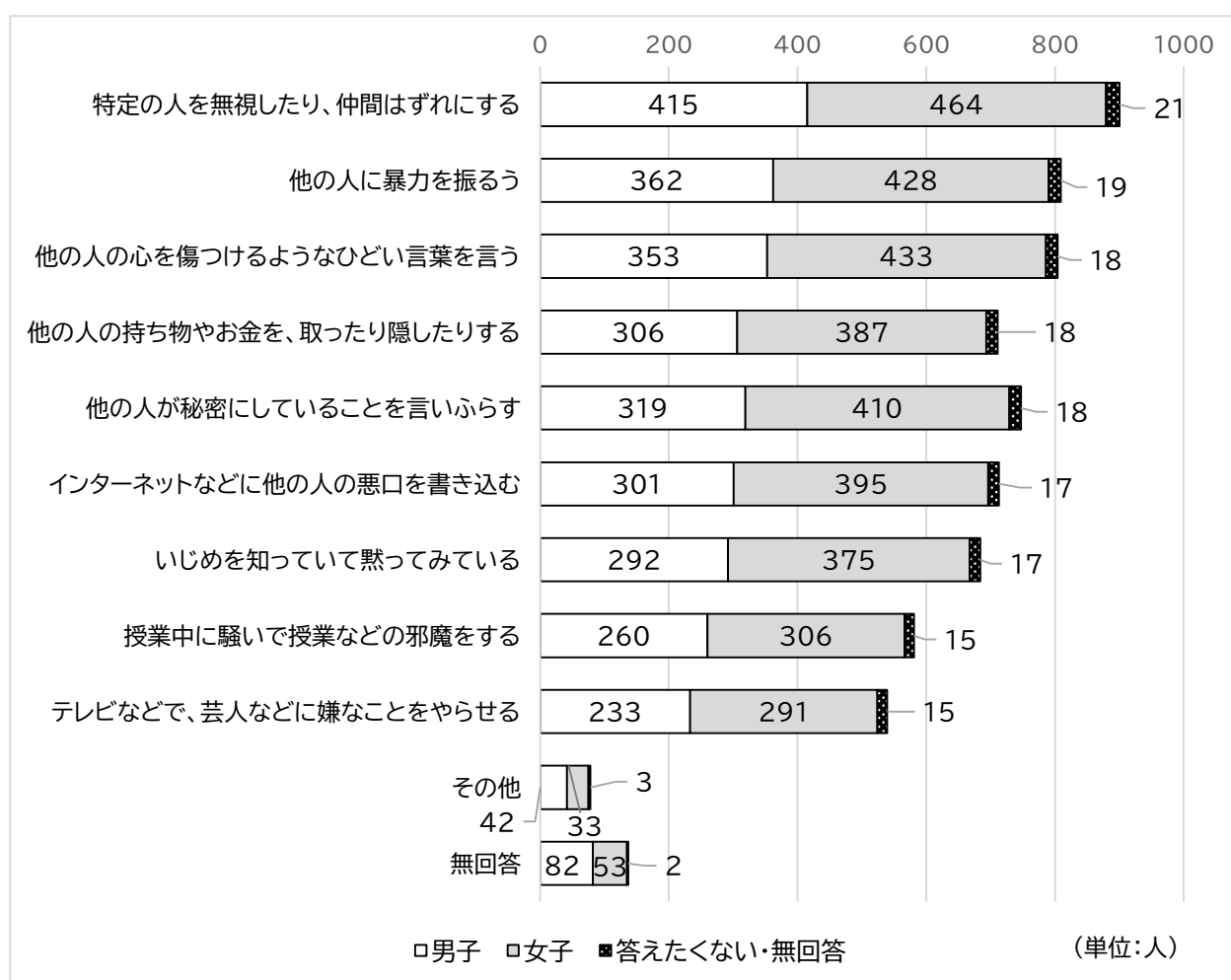


【図17】子どもも努力すべきこと 男女別

(問18)「他の人の権利(人権)を大切にしていなかったり、侵害していると感じるのはどれか」(複数回答)の設問に対しては、もっとも多かった回答は「特定の人を無視したり、仲間はずれにする」900人(73%)、次いで「他の人に暴力を振るう」809人(66%)、「他の人の心を傷つけるようなひどい言葉を言う」804人(65%)、「他の人が秘密にしていることを言いふらす」747人(61%)、「インターネットなどに他の人の悪口を書き込む」713人(58%)、などが続いています。

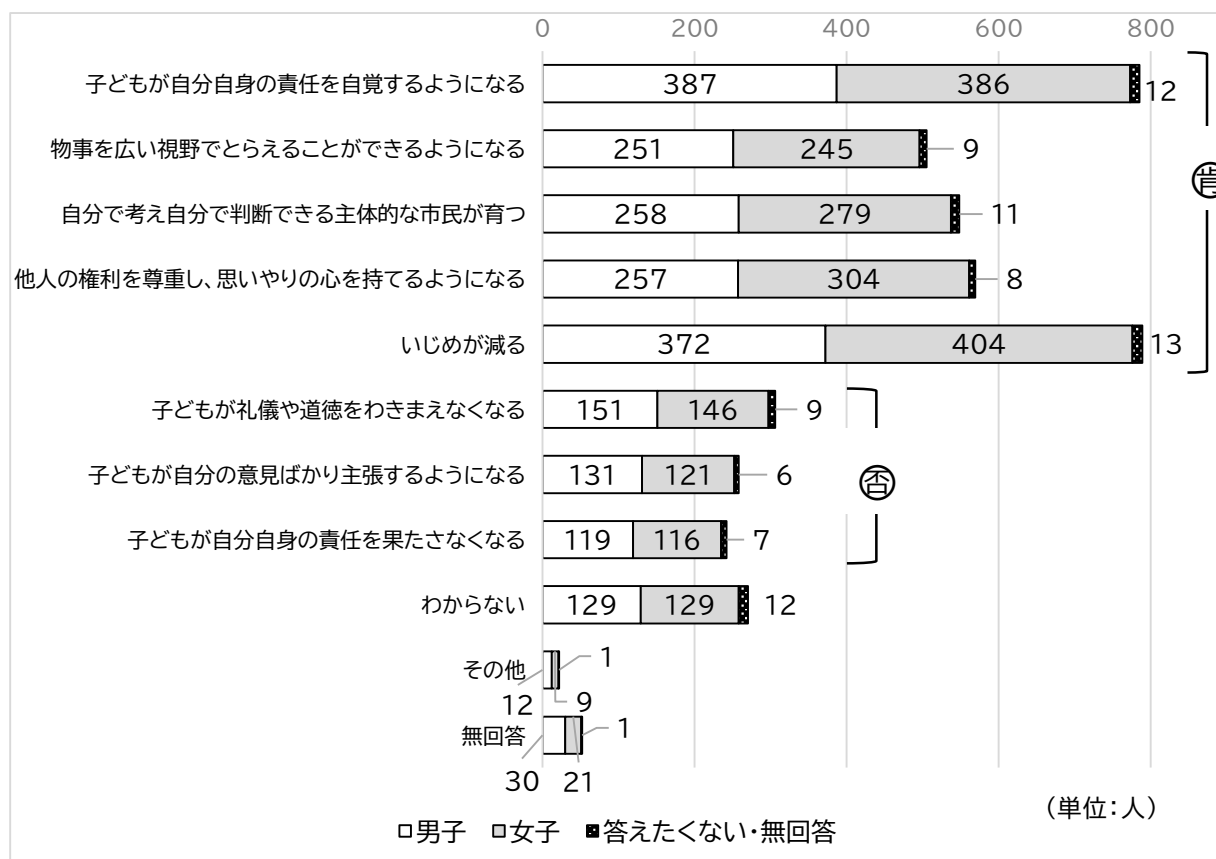
この設問に対する回答でも、すべての選択肢について、その項目を選んだ女子の数が男子の数を上回っています。

また、前回調査と上位5つを比較すると、上位4つの選択肢については同じ順番でしたが、5番目が「他の人の持ち物やお金を、取ったり隠したりする」から「インターネットなどに他の人の悪口を書き込む」に僅差で変わりました。

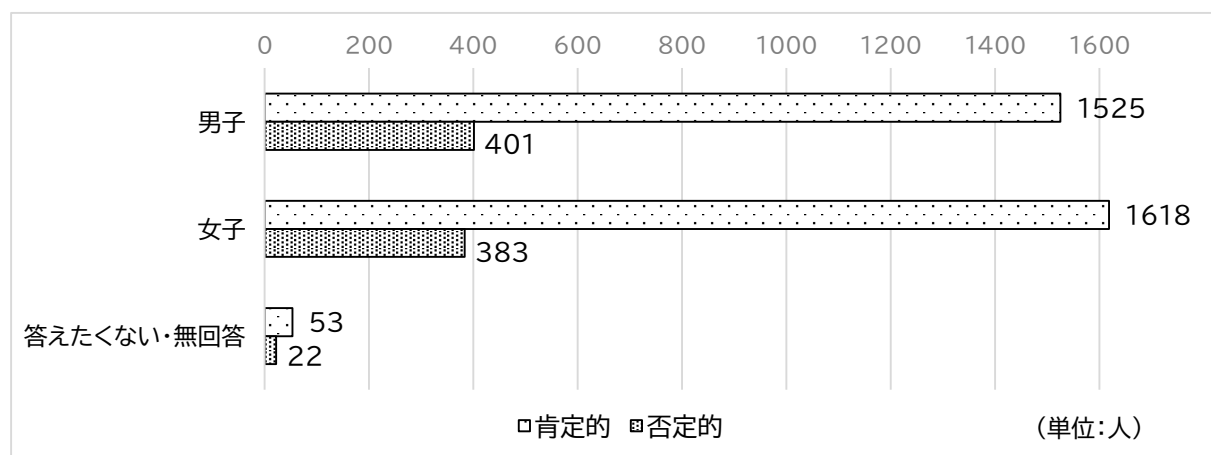


【図18】人権侵害と感ずること 男女別

(問19)「子どもの権利(人権)についてみんなが知るようになると、どんな効果や影響があるか」(複数回答)の設問に対する回答で、肯定的な回答は「いじめが減る」789人(64%)、次いで「子どもが自分自身の責任を自覚するようになる」785人(64%)、「他人の権利を尊重し、思いやりの心をもてるようになる」569人(46%)、「自分で考え自分で判断できる主体的な市民が育つ」548人(45%)、「物事を広い視野でとらえることができるようになる」505人(41%)でした。一方、否定的な回答として、「子どもが礼儀や道徳をわきまえなくなる」306人(25%)、「子どもが自分の意見ばかり主張するようになる」258人(21%)、「子どもが自分自身の責任を果たさなくなる」242人(20%)と続いています。子どもの権利をみんなが知ったときの効果や影響は肯定的に捉える回答が多い結果になっています。



【図 19-1】子どもの権利(人権)周知の効果や影響



【図 19-2】子どもの権利(人権)周知の効果や影響 肯定的・否定的別

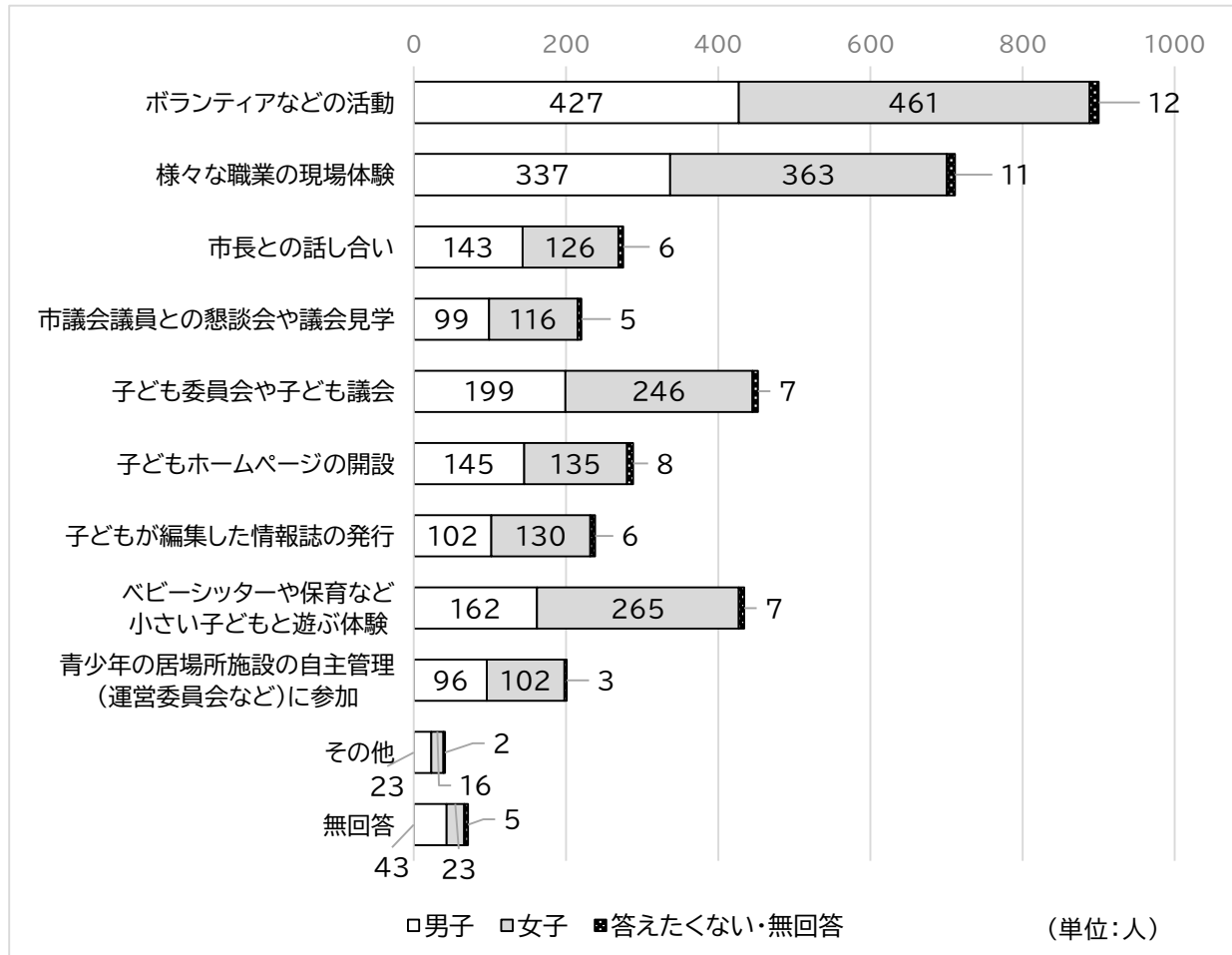
(4) 子どもが社会に参加する機会

(問20)「子どもが社会に参加する機会として、どのような活動がいいと思うか」(複数回答)の設問に対しては、もっとも多かった回答は「ボランティアなどの活動」で900人(73%)、次いで「様々な職業の現場体験」711人(58%)、「子ども委員会や子ども議会」452人(37%)、「ベビーシッターや保育など小さい子どもと遊ぶ体験」434人(35%)、「子どもホームページの開設」288人(23%)の順でした。

なお、「ベビーシッターや保育など小さい子どもと遊ぶ体験」は、女子265人(22%)、男子162人(13%)で、前回調査と同じく女子が男子を9ポイント上回っています。

また、「その他」への記述では41人の回答があり、「わからない(20件)」「ない(3件)」「同世代との話しあい(3件)」などがありました。

前回調査と上位5つを比較すると、「子ども委員会や子ども議会」と「ベビーシッターや保育など小さい子どもと遊ぶ体験」の順位が入れ替わりしました。



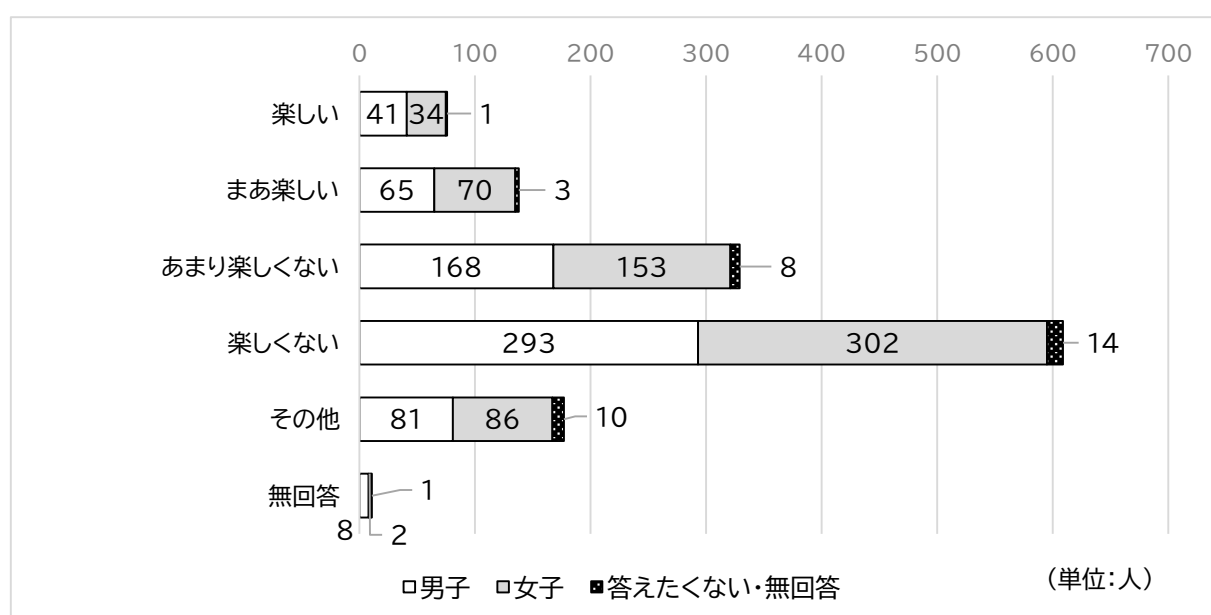
【図20】子どもの社会参加の機会 男女別

6. 新型コロナウイルス感染症による現在の気持ち

今回の調査では、新型コロナウイルス感染症による児童の現在の気持ちを設問に加えました。

(1) 新型コロナウイルス感染症による自分の気持ち

(問21)「新型コロナウイルス感染症による今の気持ち」(複数回答)の設問に対して「楽しい」が76人(6%)、「まあ楽しい」が138人(11%)、「あまり楽しくない」が329人(27%)、「楽しくない」が609人(50%)となり、否定的な気持ちを表す児童が多く見られました。



【図21】新型コロナウイルスによる今の気持ち 男女別

また、この設問では(問22)「問21でそれを選んだのはなぜですか」という記述回答欄を設けたところ、肯定的、否定的、中立的な回答がありました。それぞれを分類して複数の回答があったものをまとめた結果が【表22】です。

問22 肯定的理由		
1	友達と遊んだり、話したりできるから	35件
2	工夫して楽しめるようにしているから	28件
3	自分の時間が増えたから	24件
4	家族と過ごす時間、遊ぶ時間が増えたから	20件
5	学校に行くことができるから	19件
合計		126件

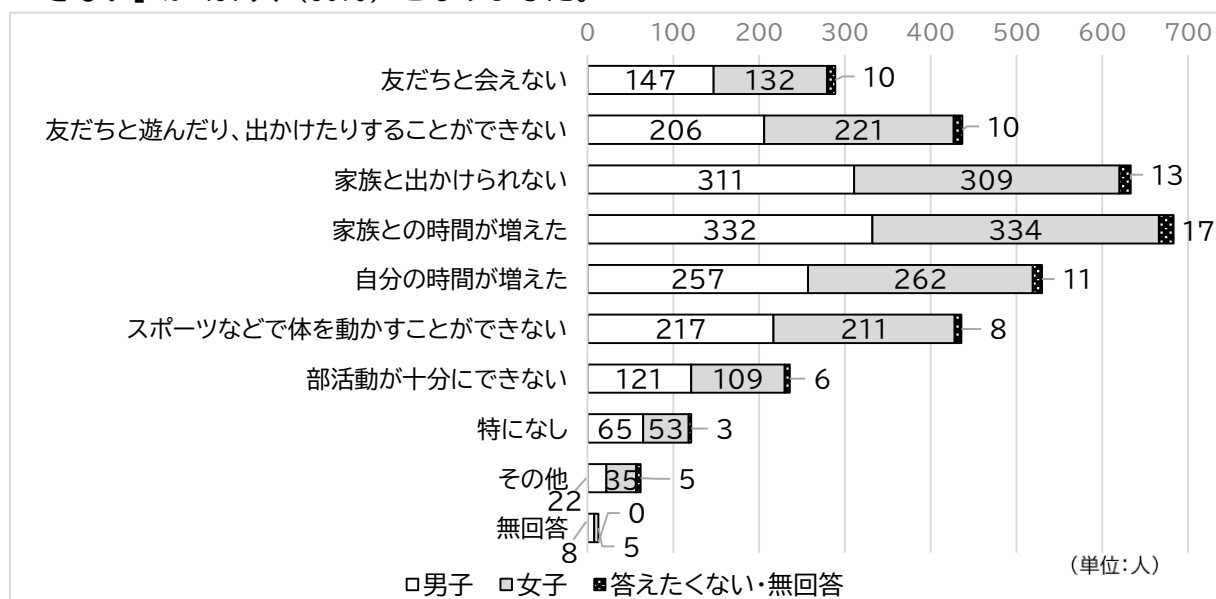
問 22 否定的理由		
1	日常生活に制限があるから	191 件
2	外出や旅行ができないから	173 件
3	新型コロナで苦しむ人がいるから	137 件
4	友達と遊んだり、話したりできないから	123 件
5	マスクをつけないといけないから	88 件
6	不安な気持ちになるから	84 件
7	学校生活や習い事で制限があるから	48 件
8	イベントなどが中止になるから	35 件
9	嫌な思い、腹立たしい思いをしているから	27 件
合計		906 件

問 22 中立的理由		
1	わからないから	29 件
2	変わらないから	16 件
3	楽しいことも楽しくないこともあるから	12 件
4	なんとなく	11 件
5	普通だから	6 件
6	慣れたから	4 件
合計		78 件

【表 2 2】問 2 1 の自由記述 理由別

(2) 新型コロナウイルス感染症により今感じていること

(問 2 3)「新型コロナウイルス感染症により今感じていること」(複数回答)の設問に対して「家族との時間が増えた」が 683 人(56%)、「家族と出かけられない」が 633 人(52%)、「自分の時間が増えた」が 530 人(43%)、「友だちと遊んだり、出かけたりすることができない」が 437 人(36%)となりました。



【図 2 3】新型コロナウイルスにより感じていること 男女別

7. 自由記述

自由記述は、質問の最後に悩んでいること、言いたいこと、こんなところがあればいいなと思うこと、もっとこうしてもらいたいと思うことなど、自由に記述のあったもののまとめです。書かれた内容は様々であり、おおまかに以下の5つのカテゴリーに分類しています。掲載にあたっては原則として記載された内容をそのまま掲載していますが、内容を考慮し、一部表現を調整している場合があります。

親や家族について

- ・ お兄ちゃんが反抗期で私を無視すること。
- ・ 家族に「気をつけなさいよ」と言われ「わかってるよ」とか言った事を否定すると機嫌が悪いとき怒られる。
- ・ 妹にバカにされたり からかわれたりされていること
- ・ まだ、子供の話を「子供だから」などで聞かない大人がいるので、それを無くしてほしい。
- ・ 家族と、あそんでほしい。
- ・ 姉とけんかすること
- ・ 家族と一緒にいる。
- ・ 家族という時間を大事にする。
- ・ テストで百点とらなくても頑張ったねって言われたい
- ・ お母さんやお父さんがガミガミうるさい
- ・ 家族のことで旅行に行ったときもの最後に喧嘩をしたりしました。
- ・ ママの病気が治ってほしい
- ・ 家族旅行のプールが今年の夏あるといい。
- ・ 母が子供と接する仕事をしているため、私のことを職場の子供と比較される。
- ・ 子供が買いたいものを一つでもいいから買ってほしい
- ・ 家族が感染されることが心配しています。
- ・ 家族がほんとに嫌い
- ・ お母さんやお父さんに叩かれたり蹴られたりする
- ・ 毒親や、いじめがなくなればいいと思う
- ・ 早くお父さんに会いたいです！！今はテレビ電話などしか出来ないのに一緒に生活したいです。
- ・ 親に暴行された ストレスが発散できればいい場所
- ・ 家族との会話

自分なりの考え・思い・願い

- ・ あるけど言いたくない
- ・ いいたくない
- ・ 自分の心身ともに不安定でも言いにくい。
- ・ 大人だけで決めないこと
- ・ 思いつきません
- ・ 答えられない
- ・ 保育士体験をして小さい子供とふれあいたいです。

- ・ どんなこともこれはだめとしないで考えて欲しい
- ・ わからない
- ・ 心のもんだいをかいけつしたい
- ・ しにたい
- ・ みんなが誰のお話もきいてくれる
- ・ 病気の人たちなどに治療に必要なお金を分けたらいい
- ・ 自分らしく生きれだいいと思います。
- ・ はやく旅行に行きたい
- ・ もっと一人ひとりのことを大切に思っしてほしい
- ・ もっと楽しくしてほしい。
- ・ 自分の話を、しっかりきいてほしい
- ・ うみに、いきたい
- ・ 子供の権利をもっと多くの人に知ってもらいたい
- ・ 自然を守る取り組みをすすめていきたい
- ・ 悩んでいることで、ほぼ毎晩、人間とは何か、なぜ死んでしまうのか、じぶんとはなにかを無意識に考えるようになり、なかなか眠れなくなることがあります。解決策はありますか？
- ・ みんな他の人を今以上にもっと大切にしてほしい。
- ・ 人のことを、思いやること。
- ・ 勉強
- ・ 人を蹴ってストレス解散したい。
- ・ フォローしよう
- ・ とくにない ただいじめや暴力はやめたほうがいいとおもう
- ・ 自然を増やしたい
- ・ 秘密を守ってくれる
- ・ もっとかかわってほしい
- ・ 約束を忘れないでほしい
- ・ みんなそれぞれ色々な人の意見を聞く。
- ・ げいむのことで困っています
- ・ ゲームの時間を増やしてほしい
- ・ わからない
- ・ 悩みを自由にいえる。
- ・ 今までどおりにやってもらいたい。
- ・ 私は、人と、人を、比べてほしくない・態度が変わってほしくない！！
- ・ スポーツをしたい
- ・ スイミングスクールを辞めたい。
- ・ 将来の夢を迷っていること
- ・ からだをいっぱいうごかしたい。
- ・ やることが終わらない
- ・ ゲームが10時間できるようにしてほしい
- ・ 私は本当に心配していません私は通常の充実した生活を送っています
- ・ のんびりたい
- ・ 自分の趣味にケチをつけない。(やられているわけではありませんからね！)
- ・ 自分自身のことは自分自身で決める

- ・ けじめをつけたい
- ・ うさいこと
- ・ ky をどうすればなおせるのかわからなくて悩んでいます。
- ・ 決まりをもっと子供にもいいことにする
- ・ 性格を直したい
- ・ もっとみんなで協力していきたいと思う
- ・ 自分でわかっているのにわざわざ言われてコロナによるストレスで怒りが爆発してしまう
- ・ いっぱいゲームがしたい
- ・ 僕のことじゃなく他の人のことを大事にしてほしい。
- ・ 子供たちが学べるサイトを子どもたちだけで作りたい
- ・ みんなが楽しく誰かが困っているときにはげましてくれてみんなが仲良くやっていけるようにしたいです
- ・ 塾があつてゲームをする時間が短い
- ・ 子供の意見を尊重してほしい
- ・ 今習い事をやめたいと思っているんだけどなかなか一緒にやっている友達や家族、兄弟姉妹などにやめたいと言えないこと。
- ・ 大人に子供が、聞かれたくないことを、無理やり聞こうとする人が多いから、もうちょっと、丁寧に子供のことを聞いてあげるとよくなるとおもいます。
「言いたくないなら良いから、言えそうだったら、相談に、乗るよ」とか人のいかれていやなことを、言わせない人が増えたら良いと思います。
- ・ あまり発言ができないこと（自身がないから）
- ・ 勉強が遅れている気がする
- ・ 日本にも IQ が高い人が行くギフテッド教育学校を作って欲しい。
- ・ ゲーマーになる
- ・ サッカー選手に会いたい
- ・ bts に会いたい
- ・ 岩手のじいちゃんの家に行きたい!!
- ・ 外出して、おじいちゃん、おばあちゃんにあいたい。
- ・ マスクが苦しい
- ・ あんまりあそびない
- ・ 平和に暮らすこと
- ・ いつもなんのストレスも抱えることもなく、楽しく過ごせるように、なにか困ったらすぐ親や友達に相談できるようにしたいです。
- ・ 最近暴言を言う人が多くなってきた。（理由はわからない）
- ・ 勝手に人の物を取らないこと
- ・ 男・女優しさが違う。女には、優しい。（教師とか担任の先生でわない）
- ・ 言いたくない

公共施設や世の中のこと（公共施設など）

- ・ 早く新型コロナウイルスが収まって、みんなで遊んだり、家族と遊びに行きたい。
- ・ ちゃんと秘密をばらさないところ。
- ・ しんでいく人を減らしたい
- ・ 新型コロナウイルスが、収まってほしい

- ・ コロナが終わったら、また友達や家族で、でかけたいです
- ・ キッズシアミたいなのをもっと近くに増やしてほしい プールの授業がもっとやりた
い
- ・ もう少しコロナでも自由がほしい
- ・ 差別しない所
- ・ どんな人でも差別されないで相談ができる所
- ・ コロナにかからないように感染予防をする
- ・ 大人だけしか遊べない場所は減らしてほしい。
- ・ 一回でだけでいいから、マスクを外す生活に戻りたい。
- ・ とにかく早く新型コロナウイルスのワクチンを早く打ちたいです。立川市は接種があ
まり進んでいないと聞いたことがあります。どうかワクチン接種に柔軟に対応してく
ださい。
- ・ いまのままでいいと思うが、強いて言うなら、通学路の交差点などで見通しが悪いと
ころがあるので、カーブミラーなどをつけてほしい。（自分もひかれそうになったこ
とがある。）
- ・ ストレス発散できる場所があればいいなと思う。
- ・ 無料で遊べるクレーンゲームセンター
- ・ 1日でも早くコロナウイルスがある生活に戻りたい
- ・ コロナが収まって欲しい
- ・ 市に1店舗位悩み相談室的なものをつくる。
- ・ みんな公平に生きられる社会にしてほしい。
- ・ 広々とした大人に干渉されすぎない公園 大人に人も子供もみんなが安心できるスペ
ース 地域の人がかおを見合わせ、仲良くできる時間
- ・ コロナの中安心できるようになりたい
- ・ コロナが終わってほしい
- ・ いつになったらもとの生活に戻るのか不安
- ・ 誰でも相談できるところが近くにあればいい
- ・ はやくコロナなくなれ～～
- ・ コロナウイルスがなくなってほしい
- ・ 近くに公園があればいい
- ・ みんなが、きょうりよくしてたり、いりようじゅうじしゃのこともかんがえてあげて
ほしい
- ・ コロナがなくなってほしい
- ・ 「あおり」をなくしてほしい
- ・ 困っていることを解決してくれる所
- ・ コロナ対策をもっとしっかりした上で娯楽を増やしてほしい。
- ・ 大人の人に子供のことをもっと分かって、虐待・暴力などがなくなれば安心して過ご
せると思います。
- ・ みんなが協力し合う
- ・ コロナよ消えろ
- ・ 感染しているひとが減ってほしい
- ・ もっとコロナの対策をしつつ子供達の遊んだりできる時間を増やしてほしいです。
- ・ 助け合いをする。
- ・ みんなのことを大事にする

- ・ 一人一人がきょうりよくする
- ・ コロナが終わると、いいと、思います。
- ・ もうちょっと制限を緩和してほしい
- ・ 差別なしの世界
- ・ 私は、悩んでいることは特にはないです。でもいじめが終わってのいのを知っているのでもっと人権についてが皆に伝わると思う。例えば電話サービスをもっとこんな感じだよと伝えるとか、もっと各学校に人権についての大切さを改めて発信していく必要があると思う。学校は安心できる場所というのをもっと感じてもらえるようにするとか。いじめがすぐに無くなるとは思ってないし、できないと思うけど言い続けるのがいい。コロナに関してはそれで自殺する人も増えてるからもっと気を使ってやるのがいいと思う。
- ・ 休日を増やす
- ・ 駅とかでマスクを付けていない人をよく見かけるからちゃんと感染症対策をしてほしい！！
- ・ 消費税を減らしてほしい
- ・ コロナウイルスがなくなってほしい。
- ・ コロナでなんか緊急事態宣言が出ても感染者は減らずにいるからせいふも、もっと考えてほしい
- ・ 早く新型コロナウイルスがなくなっていい環境にしたい。
- ・ コロナの薬があるといいな～
- ・ マスクをしてない人もいるから、ちゃんとつけてほしい。
- ・ もう少し立川市民の方と協力して医療従事者の方に感謝を送ったりしながら感染症対策をしていきコロナ過で苦しい思いをされている方に応援したい
- ・ 家の近くにディズニーランド
- ・ コロナの薬が早くこっちに来てほしい
- ・ コロナ対策になるべく協力したい。
- ・ みんながワクチンが打てるよになってほしいです。
- ・ コロナウイルスに、かからないように早くワクチンが、できて打ってほしい。
- ・ みんなの視野を感じ取ってほしい（大人）
- ・ もうちょといろんな行事をやりたい。
- ・ みんなの気持ちを楽にさせる
- ・ ワクチンを、もっとせっしゅする。
- ・ 新型コロナウイルスの感染防止について。
- ・ 車がとまって、とうまわりして、ひかれそう・・・
- ・ コロナ死ね
- ・ 自殺する人がいなくなってほしい。
- ・ みんな楽しく暮らせるように頑張って楽しい生活ができるようになりたい。暴力なし
- ・ みんなが、好きなことをめいっぱいできる場所
- ・ 何でもきいてくれる場所
- ・ もっと予防接種のできる施設を増やしたほうがいいと思う
- ・ コロナウイルスがなくなれば、家族と、出かけられるし平和に暮らせるか。
- ・ 嫌なことをその人に言ったら解決するようところがあつたらいいと思っています。
- ・ コロナウイルスの感染を減らして学校でマスクを外して友達といっぱい話をしたり、家族とお出かけをしたいです

- ・ コロナが早く無くなってほしい。
 - ・ コロナを毎日100人以下にしろ
 - ・ バasketゴールが少ない
 - ・ 難しい事かもしれませんが、皆公平な差別のない世界がいいなと、おもいます
自分が過ごしやすいところに逃げたほうがいいと思います。自分が誰にも愛されない
わけがない。きっと楽になれる場所があるから。自信の持てる世界があるので
 - ・ 子供の意見を尊重してほしい。もう少し、子供のことを考えてほしい。
 - ・ コロナが、なくなってほしい。
 - ・ どんどんワクチンを打って元の日常に戻りたい
 - ・ 早く新型コロナウイルスが終わって欲しい
 - ・ 行事をもっと増やす
 - ・ 歩道橋を減らしてほしい
 - ・ コロナなくなってほしい。
 - ・ コロナがなくなる
 - ・ 外でもっとあそべるようにしてほしい。
 - ・ 早くコロナがなくなってほしい
 - ・ みんなが行けるログハウスなどを作って欲しい
 - ・ 高齢者に優しく差別をしない世界
 - ・ 悪いことをしている人がいたら注意してくれる
 - ・ 何でも悩みを応えるところ
 - ・ ワクチンを早く打ってほしい。
 - ・ はやくコロナがなくなって、みんなで自由に過ごしたい。
 - ・ コロナが早くなくなる
 - ・ 人がみんな笑顔でいる世界になってほしい
 - ・ コロナ対策をもっとしっかりやる。
 - ・ 友達とあまり遊べないから、早くコロナが収まってほしい
 - ・ コロナが収まったらおばあちゃんのお家に行きたいです。
 - ・ 目の見えない方に、信号機をすべて音が鳴るのものに変えてほしいです。よろしくおね
がいします。
 - ・ みんな頑張るせかいにしたい
 - ・ コロナが無くなって欲しい
 - ・ コロナがなくなってほしいです！
 - ・ 事件などが最近多くて心配です
 - ・ 子供だけがコロナを気をつけるじゃなくて大人も十分に注意してほしい
 - ・ 早くコロナがなくなってほしい
 - ・ みんながみんなのことを、大切にわかり合うこと
 - ・ 全員がコロナに気をつけて差別などをなくす
 - ・ みんなが笑顔になって欲しい
 - ・ ニュースなどでやるテロなどをやめて争いがなくなってほしい。
 - ・ 優しい人が増えればいい。
 - ・ 子供ばかり我慢して大人が飲み会とかするのは意味わからんし、それにそういうこ
とやっているからコロナ感染が多いてことを自覚してほしいし、大人なのに我慢しな
いのわ頭おかしい。
- 自分のことだけ考えて我慢してる人の我慢を意味なくするような行動は、あらためて

ほしい。

それに子供は我慢しているのに、大人が飲み会とかやるって恥ずかしいことだしちゃんと考えてほしい。

- ・ コロナウイルスをなくしたい
- ・ 差別のない世界。
- ・ コロナが消えてほしい。
- ・ コロナはなぜ存在するのだろう
- ・ 新型コロナウイルスが1日でも早く終息するために自分も世界中のみんなといっしょに協力して命を大切にするしてほしいと思う。

学校・友だち・いじめについて

- ・ 仲間外れにしない
- ・ なかまはずれによくされる
- ・ 仲間はずれにされること 自由にしたい
- ・ みんなといっぱい遊びたい
- ・ いじめがなく安心して過ごせて健康な体で生活したいです。
- ・ クラスにいるリーダー的な人が、何でもかんでも全て、自分勝手に決めない。
- ・ 人を差別しない
- ・ 朝、学校に来ると友達に無視されたりします。悲しいしつらいです。
- ・ 友達との関係があまり良くないともだちとあまりはなせていない仲直りしてもすぐかんきょうが戻っちゃう
- ・ なかまはぶれにされること
- ・ 学校の中休み、昼休みにサッカーができればいいなと思います理由は一年生のときしかできてないから。
- ・ 学校の時間割が毎日④時間がいい
- ・ クラスの子がよく叩いたり注意したら逆ギレされること
- ・ 滑舌が悪くて、ちょっと嫌な気持ちになる。
- ・ いじめや虐待が少しずつでもいいから無くなって欲しい
- ・ 友だちが色々ゆってきたりあだ名を決めていじめてきたりする
男の子ほぼの子に頭を強く叩かれる
- ・ くびをしめられたからぼう力はしてほしくない
- ・ 宿題がなければいい
- ・ みんなが仲良くしていじめを減らす
- ・ いじめをなくしたい
- ・ いじめのないことにしたい
- ・ 進学や進級で不安
- ・ 友達と仲良くできる
- ・ いじめをなくす、差別をなくすこと
- ・ みんなが相手がやだと思うことをしないようにする
- ・ あまり遊べないのでもう少し校庭で遊びたい
- ・ いじめをなくして、みんなが仲良く過ごせるようになってほしい
- ・ 子供同士のいじめをなくしたい
- ・ みんなが嫌な事がないようにしたい。
- ・ たまに、友達に暴力振るわれる。

- ・ クラスの友達に嫌なあだ名で呼ばれること
 - ・ 自分も、上履きを隠されているから、みんなのいじめをなくしてほしい。
 - ・ 友達にいじられたり図工で作った作品をダサと言ってくるのが悩んでいます
 - ・ いじめをなくしてほしい
 - ・ 差別をせず楽しく気をつけて暮らす
 - ・ 差別をなくせるように、もっと意識すればいいと思います。
 - ・ 前仲が良かった子と学年が変わって気まづくなった
 - ・ 私は最近誰かと顔を合わせるのが嫌になり、学校も行きたくないと思うようになりました。
- すぐ意味もないのに泣きたくなったりみんなの前では無理に笑顔を作っている用に感じてみんなの前で我慢しているのがとても辛いなと思っています。
- なのでどの学年や歳でもたった一人自分だけで相談ができるようになればいいなと思います。
- ・ 悪口を言う人が多いことに悩んでいる。
 - ・ 友達を、信用できない
 - ・ 給食が少なくてお家でおやつおいっぱいたべちゃう
 - ・ 周りの人たちは、まだ他の人に嫌がらせをしているのでそれをなくしたいと思う
 - ・ いじめや暴力や悪口をなくす
 - ・ いじめアンケートの数をもっと増やしてほしいなと思います。
- なぜなら、一年に1～3回しかやりませんがその間にいじめられてしまうのでは、と思うからです。
- ・ みんな仲良くしてほしい。差別がないせかいにしたい。
 - ・ 皆に物を隠したり陰で悪口を言われたりクロームブックに悪口を書いたりされたけどやめてほしい。
 - ・ いじめほどではないのですが、悩んでいます。友達に、「気持ち悪い」とか、「嫌い」とか、いわれます。でも、その子はクラスで人気の子なので、そのことを伝えると、嫌われてクラスでの居心地が悪くなってしまうのでわないのかと、心配になります。本当はすごく嫌です。でも、友達は無くしたくないです。どうすればいいですか。助けてください。
 - ・ プールの時間を増やしてほしい。
 - ・ ゲームの上手い下手をなくしてほしい。ゲーム差別
 - ・ 宿題が終わらない
 - ・ 信用できる友達が2.3人しかいない。友達はいるけれど、信用できない。
 - ・ いじめを無くす
 - ・ 学校にゲームを持ってきてもいいという法則を作って欲しい
 - ・ 友達関係、自分の性格のこと
 - ・ いじめ、暴力がないようにしたい
 - ・ いじめがなくなる世界になったらいいと思う。差別をしない世界になったらいいと思う
 - ・ 人の前で話すのが苦手で、少人数だったらいいんですけど、多人数だと話しにくいです。
 - ・ 今5年生の勉強に追いついていない
 - ・ 仲間はずれをしないで、じぶんから声をかける
 - ・ みんなのいけんを聞いて差別しない
 - ・ 私が言いにくい事も気付いてほしい・友達が私の嫌なことをしないでほしい。

- ・ 男の子と、仲良くできなくて、困っている。
- ・ いつも嫌な悪口を自分がない所で話される
- ・ いじめや喧嘩がなくなるといいです！
- ・ 運動時間を増やしてほしい
- ・ 学校のテストと塾の勉強を両立できない。
- ・ そろそろ八ヶ岳であまり中のいい友達がないので心配
- ・ 一人のせいにされたり「できないの？やっぱ」とか言われたり入りたいのに入れさせてくれないとかされたからやめてほしい 自分がやられたらどう思うのか？とぼくは思う しよじきやめてほしいなんでやるのか聞きたい本当に辛いです。
- ・ なんでこのアンケート調査を作ったのかが聞きたい、このページでなにかもっとこうしてもらいたい、こんな所があればいいな、書いても変わるものは変わるかもしれないけど、どうしても変わらないものもあってそれは不公平だと思う
- ・ いじめのない仲良く楽しい世界にしたい。
- ・ 僕がいじめられたり暴力を振られたり、バカにしてくるからやめていただきたい
- ・ 学校の差別をなくす 一人の教室がいい
- ・ 嫌なことを減らしてほしい。
- ・ 親や友達に、自分の気持ちを間接的に伝えてもらったら、日々の生活にくろうしなくなる。
- ・ いじめないでほしい
- ・ 中学での学校生活が心配
- ・ いじめがなくなる
- ・ 友達の視線や口調について悩んでいる。
- ・ 学校で友達に言いたくない事を何度も「教えて」とひつこく聞く人がいないと良い
- ・ もっとたくさん友達と話したい
- ・ 蹴られたり殴られたりしているから。
- ・ 仲間はずれやいじめなどがなくなるといいと思った
- ・ たまに友達につめたくされて、悲しい
- ・ ●●せんせいがいじめるひとのかたをもつ はぶられる
- ・ コロナで八ヶ岳移動教室がなくなるのが、不安で怖いし心配
- ・ 学校が毎日楽しく 明るくすごせたらいい ケンカやいじめがないように過ごす
- ・ いじめがない
- ・ 友達が新学期になって増えたのもっと関われる時間がほしいです。
- ・ 学校で、寄付されたパソコンでリモート授業や、リモートで楽しく出来る物がしたいです
- ・ 1ヶ月に1回嫌な思いをしていないか担任の先生が聞く
- ・ 膝蹴りされて1回じゃ泣かなかったからと言って2回膝蹴りされたことがある（3年生）
- ・ 9月に八ヶ岳移動教室があって行けるのか毎日不安だからもっとコロナの対策をしてほしい
- ・ 先生が優しすぎる！！！！
- ・ 友だちのほうがあんしんする🙏
- ・ 先生が生徒に何も言わずにルールを作ってしまうのが嫌。
- ・ リモート学校の方が、安全だと思う。
- ・ 年上年下関係なく他の人の意思を尊重してほしい 特に小学6年生

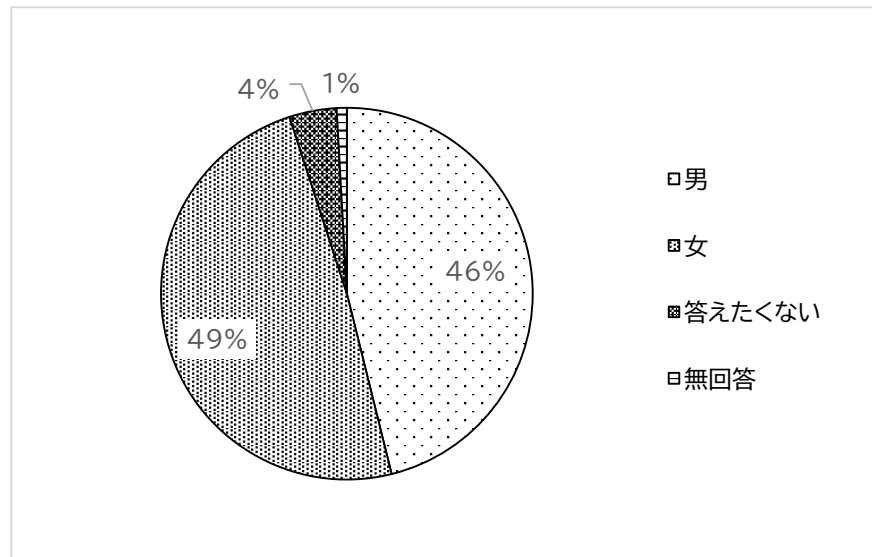
- ・ 学校をきれいにしてほしい
- ・ もっといろんな友達と仲良くしたい。
- ・ また仲良くなりたい友達がいるけれど避けられているかもと感じてしまう
- ・ いじめがない世界
- ・ 僕が特別支援教室にかよっているのものでそれで人から「僕はキラリ（特別支援教室）なんて言ってないからとかを言われたりそれでじぎょうができなくて成績が下がったりする。
- ・ 嫌と思ってなくても嫌なことは言わないように心がけてほしい
- ・ みんな平等に虐待やいじめがないようにしたい
- ・ 学びにならない学校での無駄な勉強を無くしてほしい
- ・ いじめがなくなってほしい
- ・ 修了式の日に友達と喧嘩して相手にたくさんの悪口を言われて少し言い返してしまっ
てその後中が良かったことずっと話さなくなってしまったことに悩んでいる
- ・ ある子に嫌なことをされてやめてと言っても笑いながらやってくる
- ・ この世からいじめをなくしたい
- ・ いじめが完全になくなってほしいです
- ・ 嫌がらせする人が減ってほしい
- ・ クラスのみんなともっと喋りたい
- ・ いじめをみたらそぐに注意してほしい
- ・ いじめや暴力をへらす
- ・ 友達や家族と今まで通りに過ごしたい。
- ・ 友達とショッピングしたい
- ・ 算数の授業で私の前の席に座っている男の子が、毎回私に椅子を蹴られてると強く言
ってくるのもう少し優しく言ってほしいと思います。
- ・ コロナウィルス感染症が流行っているのもので、対面授業じゃなくて、家で授業をやった
ほうが良いと思います。
- ・ 友達に言いたいことが「怒られるんじゃないか」と思って言えない。
- ・ 運動会の応援団ができたらな！
- ・ 差別や偏見をしないようにする
- ・ 学校のパソコンをもっと自由にしてもらいたい
- ・ いじめや差別を減らすために、いじめをしていたらすぐとめる。
- ・ いじめが無く楽しいところ

その他のことについて

- ・ プライベート
- ・ 思う
- ・ ポテトが食べたい🍟
- ・ ゲームがっこう
- ・ 少し問題文が多い
- ・ 感染しないか？（コロナ）もう少しで、外国に引っ越すから、引っ越したら、イジメ
にあわないか？（心配）さっき行った 髪の毛のけんも
- ・ サッカークラブチームが出来ないから
- ・ 自分だけの家<子供だけ>
- ・ 子供に対して言葉遣い

Ⅲ. 調査結果（中学２年生）

（問１）「あなたの性別を教えてください。」から回答者数等を集計しました。
市内中学２年生人数 1,281 人(全体人数)に対して 1,021 人の生徒から回答を得ました。
その内訳は、男子 471 人、女子 499 人、答えたくない 42 人、無回答 9 人でした。回答した生徒の男女比は【図１】のとおりです。



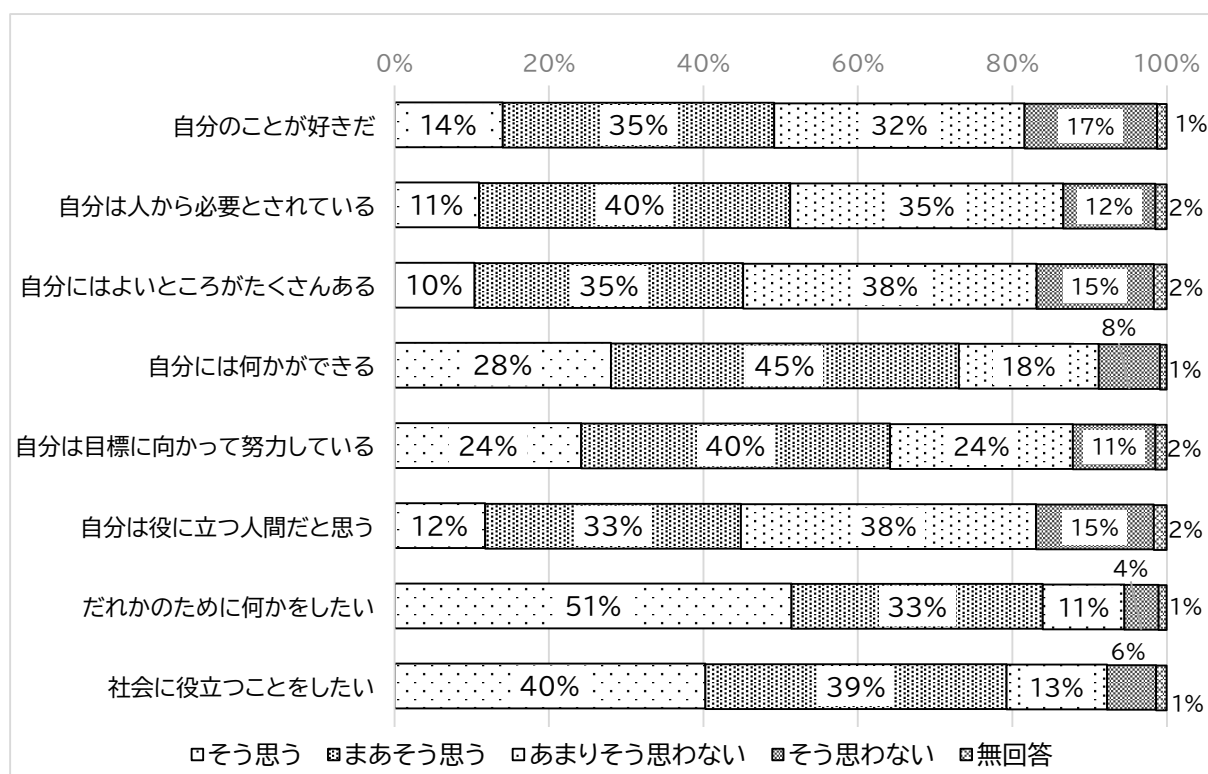
【図１】調査回答生徒の男女比

1. 立川市の子どもの自己肯定感の現状

今回の調査においては、生徒に対する質問の用語解説で、「自己肯定感」について次のような説明をつけました。

自己肯定感とは・・・自分が生きていることには意味がある、自分は愛される価値がある、自分は大事な存在である、自分には何かできる、などと、自分自身を肯定的にとらえる感覚をいいます。生きていく上で、とても大切な感覚です。

（問２）「あなたは、自分のことについて、次のようなことを思いますか。」では、このような認識に立ち、自分のことを肯定的にとらえ、自分は役に立つと感じているかどうかを答えてもらったところ【図２】のようになりました。



【図2】子どもの自己肯定感などについて

またこの結果を

- ・「そう思う」「まあそう思う」と回答した生徒 ⇒ 肯定的回答グループ
 - ・「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答をした生徒 ⇒ 否定的回答グループ
- の2つのグループに分けて比較したところ、次のようになりました。

質 問	グループ	人数	割合
① 自分のことが好きだ	肯定的回答グループ	502 人	49%
	否定的回答グループ	506 人	50%
② 自分は人から必要とされている	肯定的回答グループ	523 人	51%
	否定的回答グループ	483 人	47%
③ 自分にはよいところがたくさんある	肯定的回答グループ	461 人	45%
	否定的回答グループ	543 人	53%
④ 自分には何かができる	肯定的回答グループ	746 人	73%
	否定的回答グループ	266 人	26%
⑤ 自分は目標に向かって努力している	肯定的回答グループ	655 人	64%
	否定的回答グループ	351 人	34%
⑥ 自分は役に立つ人間だと思う	肯定的回答グループ	458 人	45%
	否定的回答グループ	546 人	53%
⑦ だれかのために何かをしたい	肯定的回答グループ	857 人	84%
	否定的回答グループ	153 人	15%
⑧ 社会に役立つことをしたい	肯定的回答グループ	809 人	79%
	否定的回答グループ	198 人	19%

【表 2-1】子どもの自己肯定感などについて

各回答グループの割合をみると、「①自分のことが好きだ」、「③自分にはよいところがたくさんある」「⑥自分は役に立つ人間だと思う」の項目で否定的回答グループが肯定的回答グループを上回っています。これとは逆に「⑦だれかのために何かをしたい」「⑧社会に役立つことをしたい」の2項目については、肯定的回答グループが高い値になっており、自分への評価が控えめなものの、他者や社会に対して何かしたい、役に立ちたい、という気持ちを抱いている生徒が多いことがわかります。また、「④自分には何かができる」、「⑤自分は目標に向かって努力している」についても肯定的回答グループが高い値になっており、自分自身の力を信じ将来に向かって努力している人が多いことがわかります。

男女差についてみると、「①自分のことが好きだ」の肯定的回答グループにおいて男子 255 人（54%）に対し女子 226 人（45%）と 9 ポイントの差、「③自分にはよいところがたくさんある」の肯定的回答グループにおいて男子 238 人（51%）に対し女子 204 人（41%）と 10 ポイントの差、「⑥自分は役に立つ人間だと思う」の肯定的回答グループにおいて男子 240 人（51%）に対し女子 200 人（40%）と 11 ポイントの差がありました。男子に比べて、女子は自分への評価を控えめにとらえている傾向があります。一方、「⑦だれかのために何かをしたい」と「⑧社会に役立つことをしたい」の女子の肯定的回答グループのポイントは男子のポイントを上回りました。

質 問	グループ	男子		女子	
① 自分のことが好きだ	肯定的回答グループ	255 人	54%	226 人	45%
	否定的回答グループ	211 人	45%	271 人	54%
② 自分は人から必要とされている	肯定的回答グループ	259 人	55%	246 人	49%
	否定的回答グループ	206 人	44%	250 人	50%
③ 自分にはよいところがたくさんある	肯定的回答グループ	238 人	51%	204 人	41%
	否定的回答グループ	226 人	48%	292 人	59%
④ 自分には何かができる	肯定的回答グループ	366 人	78%	352 人	71%
	否定的回答グループ	105 人	22%	145 人	29%
⑤ 自分は目標に向かって努力している	肯定的回答グループ	310 人	66%	324 人	65%
	否定的回答グループ	156 人	33%	172 人	34%
⑥ 自分は役に立つ人間だと思う	肯定的回答グループ	240 人	51%	200 人	40%
	否定的回答グループ	224 人	48%	296 人	59%
⑦ だれかのために何かをしたい	肯定的回答グループ	396 人	84%	430 人	86%
	否定的回答グループ	72 人	15%	68 人	14%
⑧ 社会に役立つことをしたい	肯定的回答グループ	368 人	78%	413 人	83%
	否定的回答グループ	98 人	21%	84 人	17%

【表 2-2】子どもの自己肯定感などについて

今回と同じ質問項目で平成 23 年、平成 28 年に実施した時の結果を肯定的回答及び否定的回答グループに分けて比較しました。前回まですべての項目で肯定的な回答が増加していましたが、「④自分には何かができる」、「⑤自分は目標に向かって努力している」、「⑦だれかのために何かをしたい」、「⑧社会に役立つことをしたい」について減少に転じています。

質 問	グループ	H23 中学 2 年生	H28 中学 2 年生	R3 中学 2 年生
① 自分のことが好きだ	肯定的回答グループ	105 人 35%	148 人 48%	502 人 49%
	否定的回答グループ	193 人 64%	162 人 52%	506 人 50%
② 自分は人から必要とされている	肯定的回答グループ	125 人 42%	156 人 50%	523 人 51%
	否定的回答グループ	173 人 58%	153 人 49%	483 人 47%
③ 自分にはよいところがたくさんある	肯定的回答グループ	101 人 34%	130 人 42%	461 人 45%
	否定的回答グループ	198 人 66%	179 人 58%	543 人 53%
④ 自分には何かができる	肯定的回答グループ	187 人 62%	229 人 74%	746 人 73%
	否定的回答グループ	112 人 37%	80 人 26%	266 人 26%
⑤ 自分は目標に向かって努力している	肯定的回答グループ	200 人 67%	200 人 71%	655 人 64%
	否定的回答グループ	99 人 33%	89 人 29%	351 人 34%
⑥ 自分は役に立つ人間だと思う	肯定的回答グループ	104 人 35%	125 人 40%	458 人 45%
	否定的回答グループ	192 人 64%	183 人 59%	546 人 53%
⑦ だれかのために何かをしたい	肯定的回答グループ	243 人 81%	278 人 90%	857 人 84%
	否定的回答グループ	57 人 19%	32 人 10%	153 人 15%
⑧ 社会に役立つことをしたい	肯定的回答グループ	223 人 74%	265 人 85%	809 人 79%
	否定的回答グループ	77 人 26%	45 人 15%	198 人 19%

【表 2-3】 子どもの自己肯定感などに関する調査の H23・H28・R3 回答結果比較】

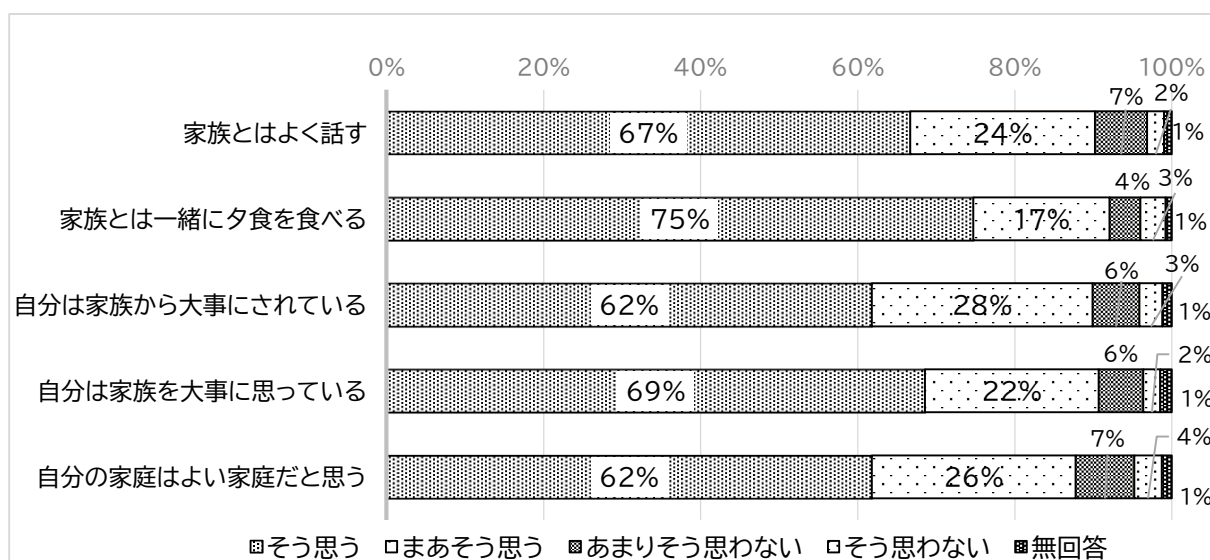
2. 子どもと家庭；居場所と自分を大切に思ってくれる人の存在

（1） 基本的な存在としての親との関係

（問3）「①自分の家庭についてどう思うか」の設問で、「家族とはよく話す」と回答する割合が、「そう思う」、「まあそう思う」を合わせると 921 人（90%）、「②家族とは一緒に夕食を食べる」と回答する割合についても、「そう思う」、「まあそう思う」を合わせると 940 人（92%）という値になり、家族とのコミュニケーションの場が、家庭生活の中で確保されている割合は高くなっています。

家庭生活に対する子どもからの評価もまた高い割合を示し、「⑤自分の家庭はよい家庭だと思う」という項目に「そう思う」、「まあそう思う」と回答する割合が合わせて 896 人（88%）になっています。家族との人間関係において、「③自分は家族から大事にされている」という項目に「そう思う」、「まあそう思う」と回答する割合が合わせて 918 人（90%）、「④自分は家族を大事に思っている」という項目に「そう思う」、「まあそう思う」と回答する割合が合わせて 926 人（91%）と、家庭や家族に関する設問項目に対しては、いずれも肯定的な回答が大部分を占めています。中学生にとっても、家庭は日常生活の中で大きな位置を占めていることがわかります。

肯定的な回答の割合を平成 28 年の調査と比べると、すべての項目で前回の結果を上回りました。

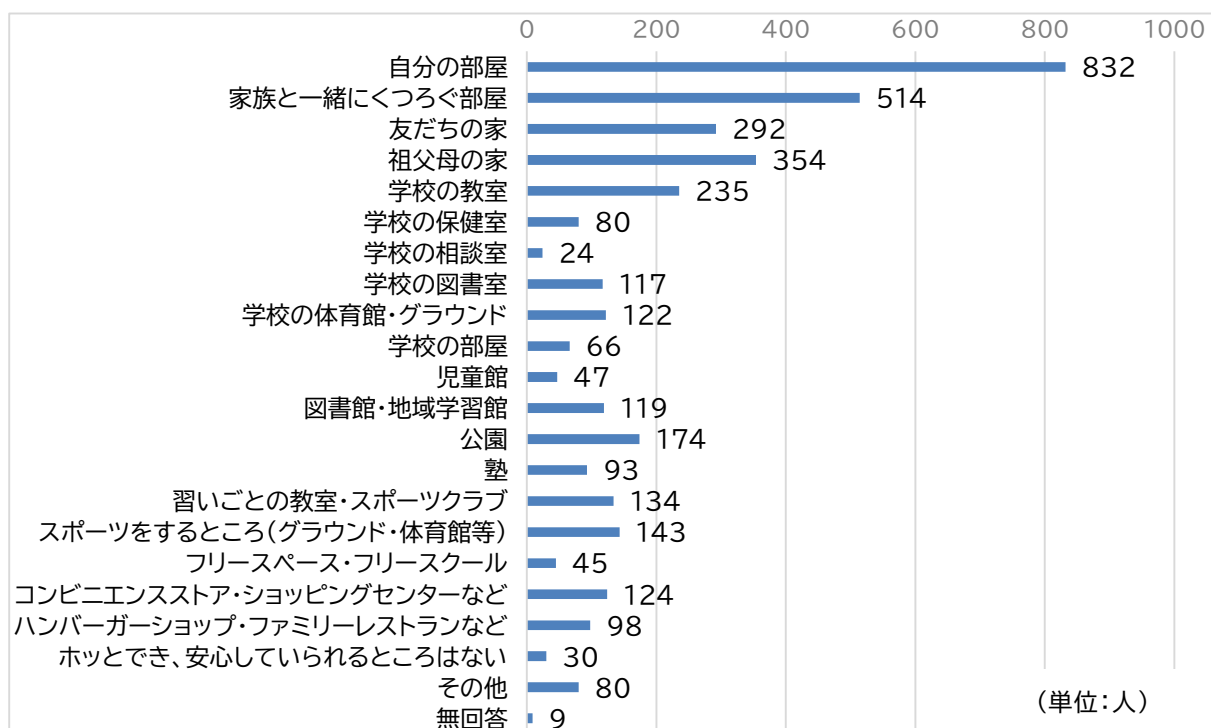


【図3】自分の家庭について

(2) 子どもが安心していられる場所

(問4)「あなたがホッとでき、安心していられる場所はどこか」(複数回答)の設問に最も多く回答があったのは、「自分の部屋」832人(81%)、次いで「家族と一緒にくつろぐ部屋」514人(50%)、「祖父母の家」354人(35%)、「友だちの家」292人(29%)、「学校の教室」235人(23%)と続きました。その他欄の自由記述に80人の回答があり、主な内容は「お風呂(11件)」「トイレ(9件)」「一人でいられるところ(6件)」「部活(4件)」などの意見がありました。

男女差のあった回答は、「家族と一緒にくつろぐ部屋」では女子292人(29%)に対し男子209人(20%)、「祖父母の家」では女子197人(19%)に対し男子152人(15%)、「スポーツをするところ」では男子95人(9%)に対し女子47人(5%)となっています。



【図4】ホッとでき、安心していられる場所

これらの場所で子どもとかかわりをもつことが予想される、家族（親、兄弟姉妹、祖父母）や友だちに関しては、後述の（問7）「自分を大切に思ってくれる人」は親 904 人（89%）、友だち 721 人（71%）、祖父母 577 人（57%）、兄弟姉妹 549 人（54%）と回答があったことを考え合わせると、子どもにとって、「自分を大切に思っていて受け入れてくれる」と思える人がいることが、ホッとでき安心していただける場所の大切な条件であると言えます。

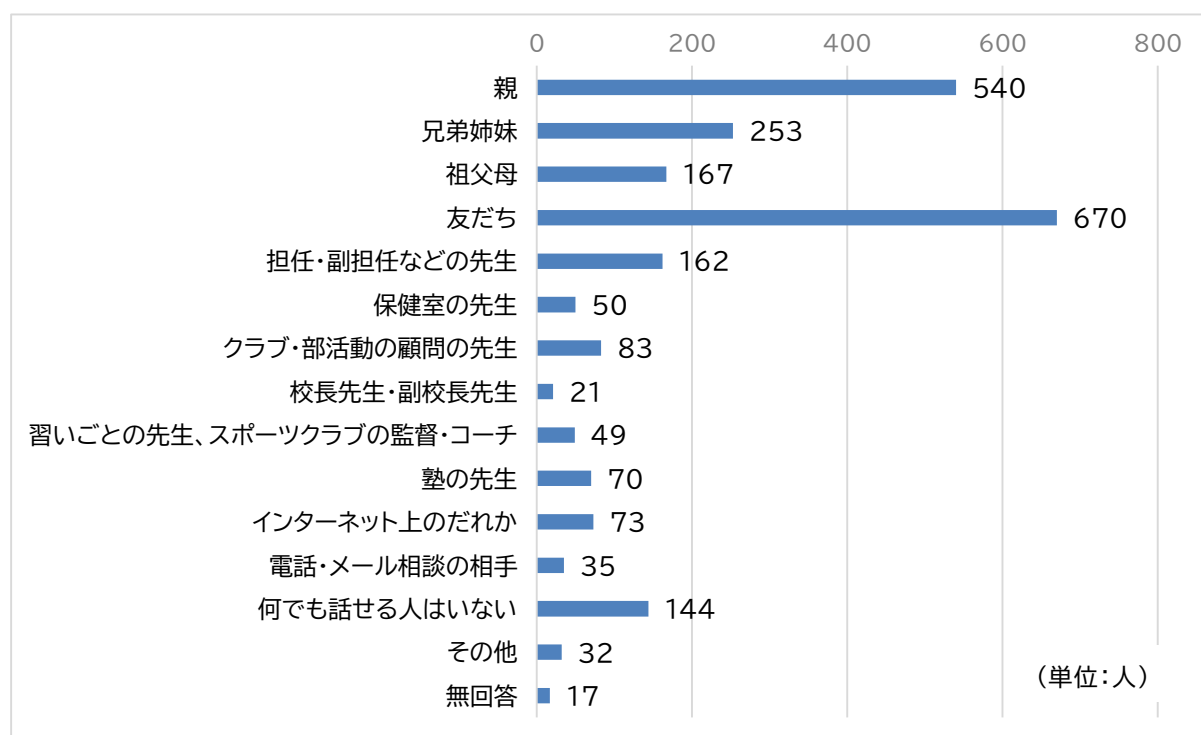
また、前回調査と上位5つを比較すると順位に変動はありませんでした。

（3）信頼できる人について

（問5）「悩みを何でも話せる人はだれか」（複数回答）に対する回答は「友だち」670 人（66%）、「親」540 人（53%）、「兄弟姉妹」253 人（25%）、「祖父母」167 人（16%）「担任・副担任などの先生」162 人（16%）、の順になっています。また、学校関係者の「担任・副担任などの先生」「保健室の先生」「クラブ・部活動の顧問の先生」「校長先生・副校長先生」を合わせると 316 人（31%）になり、前回から 15 ポイント上昇しています。一方、「何でも話せる人はいない」は 144 人（14%）となっています。その他の回答では 32 人の回答があり、「いとこ・親戚（6件）」「クラブ等の先輩（4件）」「ペット（3件）」などの意見がありました。

男女差では「親」、「兄弟姉妹」、「友だち」で女子が男子を4ポイント上回った一方で、「担任・副担任などの先生」では男子が女子を3ポイント、「クラブ・部活動の顧問の先生」では男子が女子を2ポイント上回りました。

前回調査と上位5つを比較すると、「担任・副担任などの先生」と「何でも話せる人はいない」の順位が入れ替わりしました。

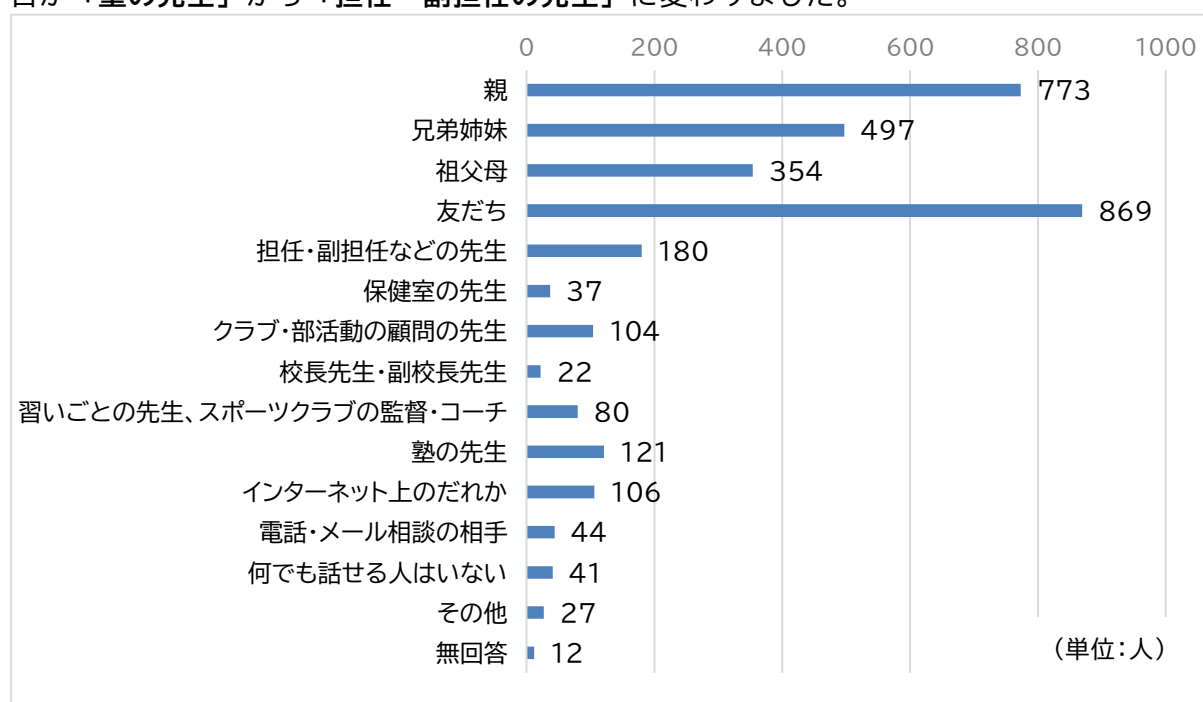


【図5】悩みを話せる人

（問６）「楽しかったことなどを何でも話せる人はだれか」（複数回答）に対しての回答と比較してみます。最も多いのが「友だち」869人(85%)、次に「親」773人(76%)、以下「兄弟姉妹」497人(49%)、「祖父母」354人(35%)、「担任・副担任の先生」180人(18%)と続き、上記の回答はいずれも（問５）「悩みを何でも話せる人はだれか」への回答に比べ高い値を示しています。一方、「何でも話せる人はいない」を選んだ生徒は41人(4%)と、（問５）に比べ少なくなっています。また、学校関係者の「担任・副担任などの先生」「保健室の先生」「クラブ・部活動の顧問の先生」「校長先生・副校長先生」を合わせると343人(34%)で、前回調査から15ポイント上がりました。その他の回答では27人の回答があり、「いここ（４件）」「ペット（４件）」などの意見がありました。

男女差では「親」、「兄弟姉妹」で女子が男子を20ポイント程度、「祖父母」、「友だち」でも女子が男子を4ポイント上回った一方で、「担任・副担任などの先生」、「塾の先生」、「電話・メール相談の相手」、「何でも話せる人はいない」では男子が女子を1ポイントまたは2ポイント上回りました。

また、前回調査と上位5つを比較すると、上位4つの順位は変わりませんでしたが、5番目が「塾の先生」から「担任・副担任の先生」に変わりました。

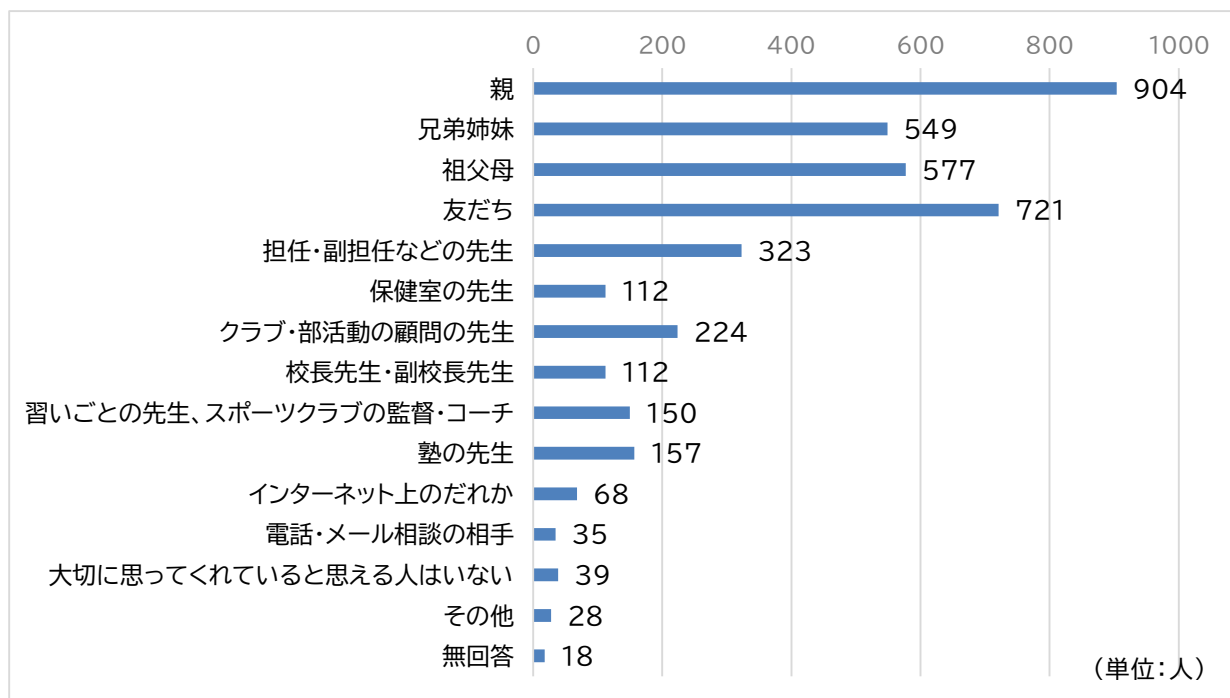


【図６】楽しかったことを話せる人

（問７）「あなたを大切に思ってくれていると思える人はだれか」（複数回答）の設問に「親」を選んだ生徒は、一番多く904人(89%)、次に「友だち」721人(71%)、「祖父母」577人(57%)、「兄弟姉妹」549人(54%)がこれに続いています。中学生にとっても親は、自分を大切に思ってくれているという信頼感を抱ける、基本的な存在であることがうかがえます。また家族（祖父母、兄弟姉妹等）に対しても、関係の深さに裏付けられた信頼感を持っているのがわかります。その他の回答には28人の回答があり「いここ（４件）」「わからない（３件）」などの意見がありました。

男女差では「親」、「兄弟姉妹」、「祖父母」、「友だち」で女子が男子を3ポイントから7ポイント上回った一方で、「担任・副担任などの先生」、「クラブ・部活動の顧問の先生」、「塾の先生」では男子が女子を1ポイントから3ポイント上回りました。

前回調査と上位5つを比較すると順位の変動はありませんでした。

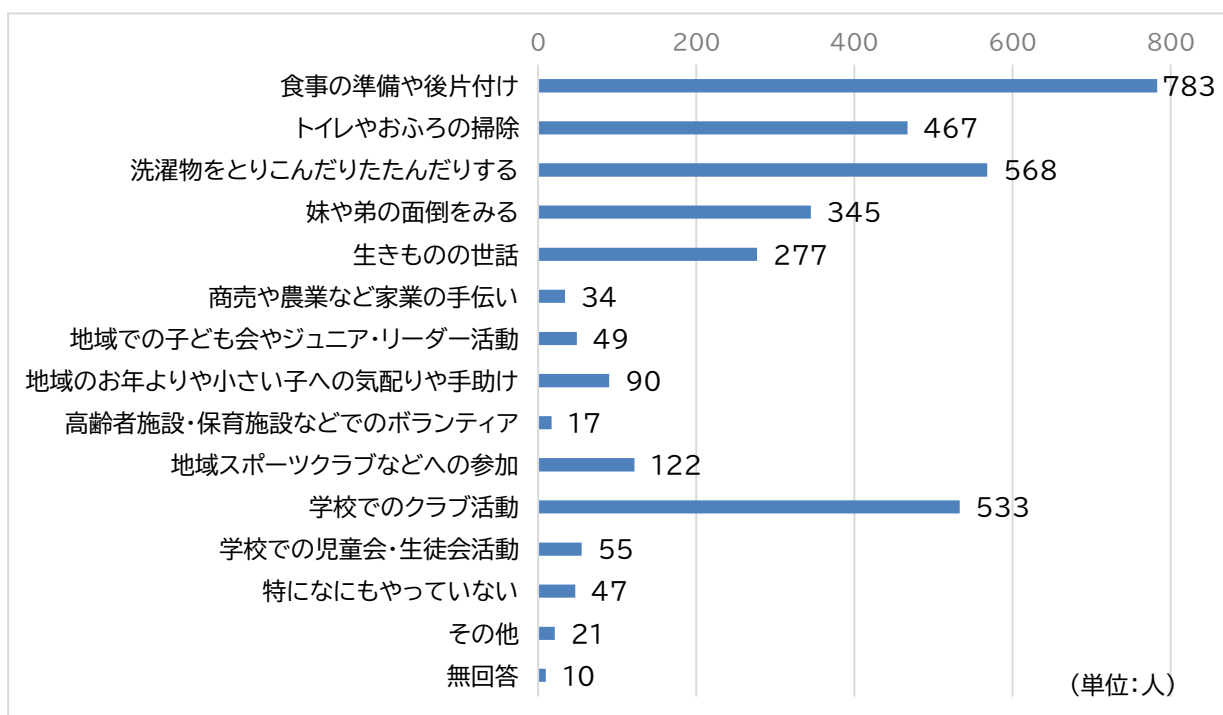


【図7】自分を大切に思ってくれる人

(4) 家庭・学校・地域での役割について

(問8)「あなたは次のようなことをやっているか」(複数回答)の設問では、回答の多い方から順に「食事の準備や後片付け」783人(77%)、「洗濯物を取りこんだりたたんだりする」568人(56%)、「学校でのクラブ活動」533人(52%)、「トイレやおふろの掃除」467人(46%)、「妹や弟の面倒をみる」345人(34%)と続いています。

また、前回調査と上位5つを比較すると、2番目と3番目で「学校でのクラブ活動」と「洗濯物を取りこんだりたたんだりする」の順位が入れ替わりしました。



【図8】家庭・学校・地域で担っている役割

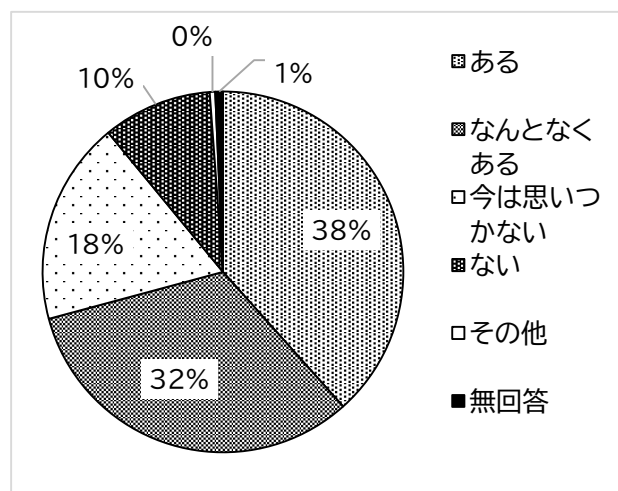
クラブ活動を除くと、生徒が担っている役割の主なものは、家庭内での手伝いであることがわかります。家庭内での手伝いで多かったもの上位3つを男女別に見たところ、「食事の準備や後片付け」は男子 347 人（34%）、女子 406 人（40%）、「洗濯物を取りこんだりたたんだりする」は男子 245 人（24%）、女子 301 人（29%）、「トイレやお風呂の掃除」は男子 232 人（23%）、女子 214 人（21%）、となり、男女問わず手伝いを行っている様子がうかがえます。

家庭内での手伝い以外では、「生きものの世話」で男子 114 人（11%）、女子 142 人（14%）と女子が男子より3ポイント上回りました。また「地域スポーツクラブなどへの参加」では男子 76 人（7%）、女子 41 人（4%）で男子が女子より3ポイント上回りました。

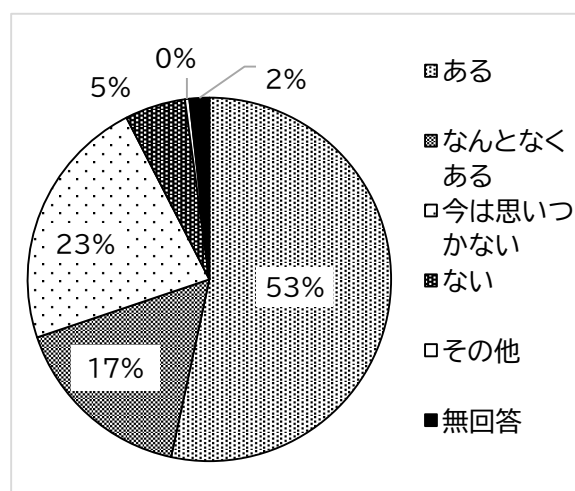
3. 「将来の夢」や「苦しくても頑張ったこと」

（問9）「将来やってみたいことややりたい職業など、自分なりの夢はあるか」という設問で、「ある」「なんとなくある」と答えた生徒の割合は 723 人（70%）でした。前回に比べて10ポイント減少しましたが、将来への夢やイメージは比較的高い割合で持っていることがうかがえます。また、男女別で「ある」「なんとなくある」と答えた割合もほぼ同じとなっています。

（問10）「苦しいけれど頑張ったことや、大変だったけれど楽しかった経験はあるか」という設問に、「ある」「なんとなくある」と答えた生徒の割合は 713 人（70%）でした。前回に比べて1ポイント減少しましたが、苦しいけれど頑張った、大変だったけれどがんばった、という経験の記憶も高い割合でもっていることがうかがえます。また、男女別で「ある」「なんとなくある」と答えた割合もほぼ同じとなっています。



【図9】 将来の夢



【図10】 頑張った経験

また、この設問では（問10-1）「それはどんなことか」という記述回答欄を設けたところ、666 件の回答がありました。主な内容ごとにまとめ、件数をカウントした結果が下表【表10-1】です。「苦しいけれど頑張ったことや、大変だったけれど楽しかった経験」として、スポーツが特に多くなっています。なお、その他では、何かができるようになったなど自分の課題を乗り越えたこと、言いたくないなどの記述がありました。

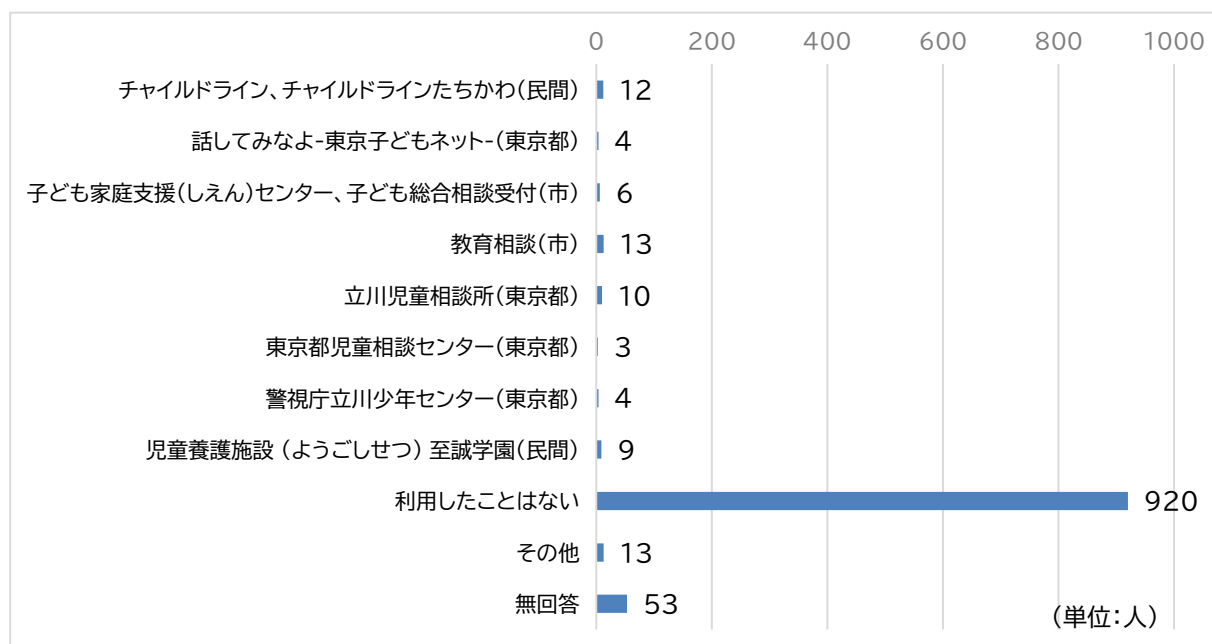
問 10-1 がんばったこと 自由記述		R3	H28
1	スポーツ（部活、クラブチームなど）	308 件(30%)	99 件(32%)
2	学校行事（運動会、合唱祭、職場体験など）	120 件(12%)	49 件(16%)
3	勉強（学校、塾、テストなど）	102 件(10%)	21 件(7%)
4	習い事（文化系）	36 件(4%)	6 件(2%)
5	趣味、遊び	16 件(2%)	4 件(1%)
6	友人関係、対人関係	10 件(1%)	3 件(1%)
7	家庭の手伝い、地域活動	4 件(0%)	2 件(1%)
8	その他	70 件(7%)	17 件(5%)
合計		666 件 (65%)	201 件 (65%)

【表 10-1】「苦しいけれど頑張ったことや、大変だったけれど楽しかった経験」具体例

4. 相談機関などについての認識や意見

（問 1 1）「立川市の子どものための相談機関として利用したことがあるのはどれか」（複数回答）という設問に対しては、49 人（5%）が利用したことがあると回答しました。その内訳は教育相談（市）」が 13 件、「チャイルドライン、チャイルドラインたちかわ(民間)」が 12 件、「立川児童相談所（東京都）」が 10 件、「子ども家庭支援センター、子ども総合相談受付(市)」が 6 件など、全部で 61 件でした。「その他」の回答では「スクールカウンセラー」「子ども未来センター」「相談ほっと LINE」の名称が記載されていました。一方、920 人（90%）の生徒が「利用したことはない」と回答しています。

前回の調査との比較では、利用したことがあるという回答数は 15 人（5%）、「利用したことはない」の回答が 281 人（91%）でした。



【図 1 1】利用したことがある相談機関

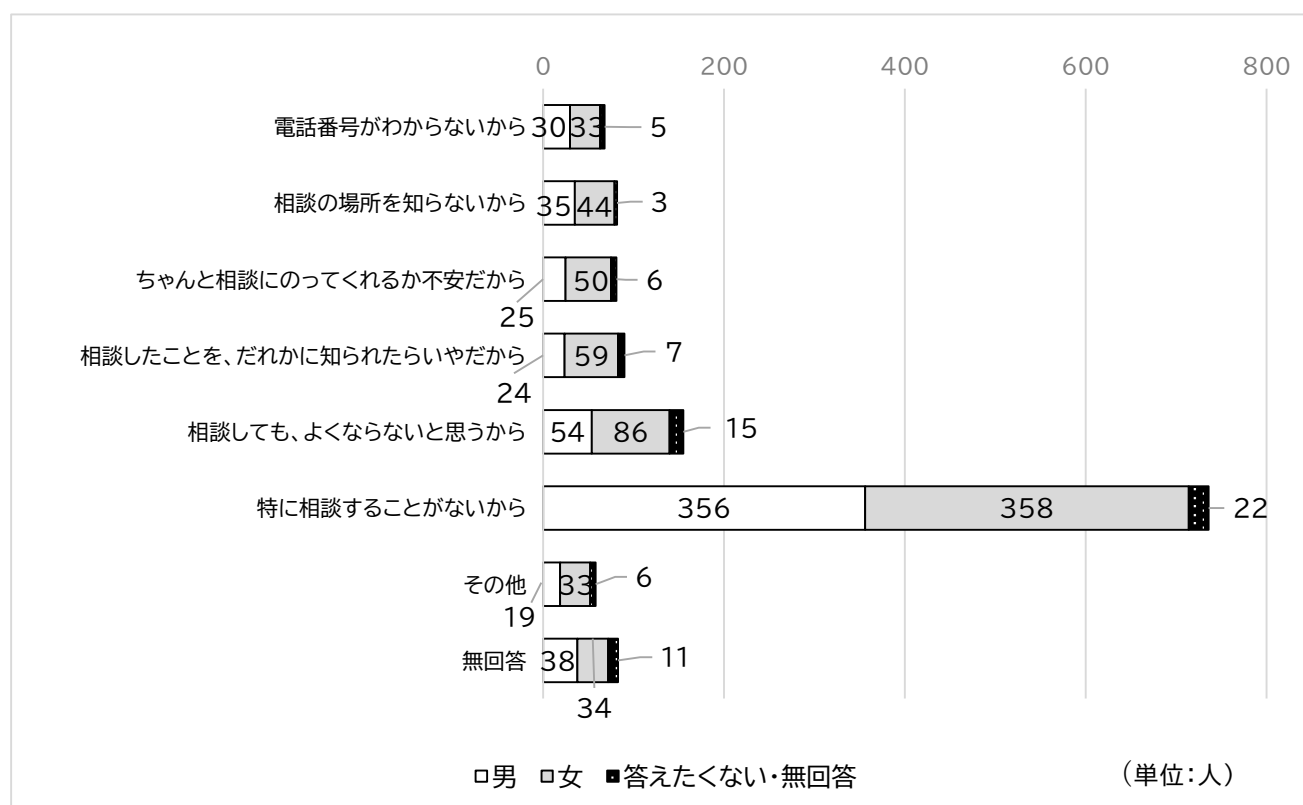
相談機関は、必要とされる機会に適切にアクセスできなければなりません。実際にだれかに相談したい、といった局面で、そのアクセスを阻む要因があるなら、それを改善する必要があります。

そこで、(問 11-1) では、上記の設問に「利用したことはない」と答えた人に対して、「それはなぜですか」(複数回答)と聞きました。

もっとも多かった回答は「特に相談することがないから」で、736 人(72%)です。それ以外の選択肢の回答率を見ると、「相談しても、よくならないと思うから」155 件(15%)、「相談したことを、だれかに知られたらいやだから」90 件(9%)と続きます。また、「相談の場所を知らないから」82 人(8%)、「電話番号がわからないから」68 人(7%)など、いざというときのアクセス先を知らない生徒がいることがわかります。

男女別では、男子より女子に相談機関への不信感、プライバシー保護の不安感を持っている傾向が見られました。

その他の意見には 58 人あり、「友だちや親に相談している、身近に相談できる人がいる(11 件)」、「めんどうだから(7 件)」、「信用できないから(6 件)」などがありました。



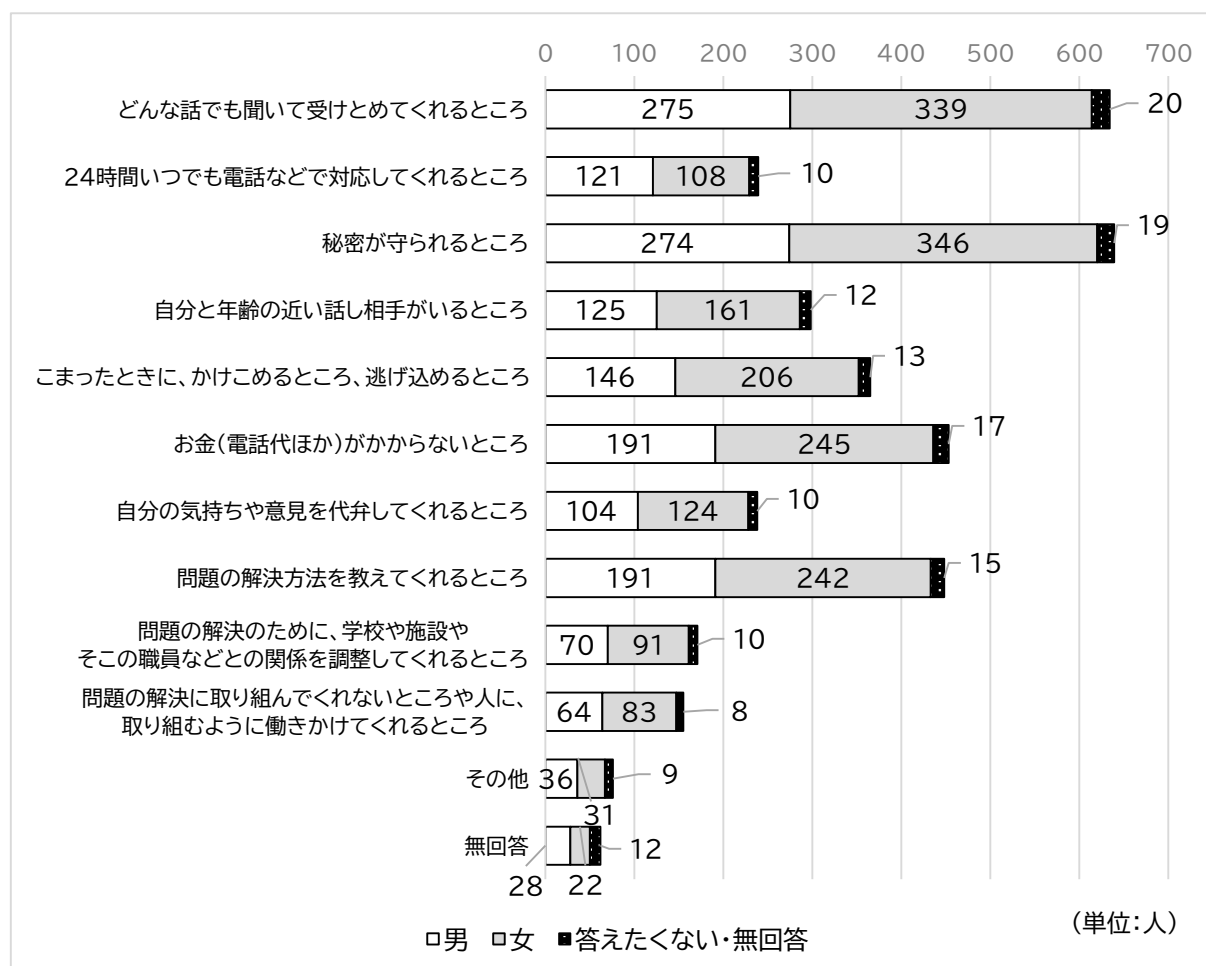
【図 11-1】利用しない理由 男女別

(問 1 2) 「どんなところなら相談しようと思うか」(複数回答)という設問への回答は以下のようになっています。

多かった回答は「秘密が守られるところ」639 人(63%)、「どんな話でも聞いて受けとめてくれるところ」634 人(62%)、「お金(電話代ほか)がかからないところ」453 人(44%)、「問題の解決方法を教えてくれるところ」448 人(44%)、「こまったときに、かけこめるところ、逃げこめるところ」365 人(36%)、「自分と年齢の近い話し相手がいるところ」298 人(29%)などがありました。

ほとんどの選択肢について女子の回答数が男子を上回っており、相談機関自体に対する関心については、女子は男子より高いことがうかがえます。その他の意見は76人あり、「相談したくない(50件)」、「自分を理解してくれるところ(7件)」、「親や友達などの身近な人(6件)」などの意見がありました。

また、前回調査と上位5つを比較すると、「どんな話でも聞いて受け止めてくれるところ」と「秘密が守られるところ」、「問題の解決方法を教えてくれるところ」と「お金(電話代)がかからないところ」の順位が入れ替わりしました。



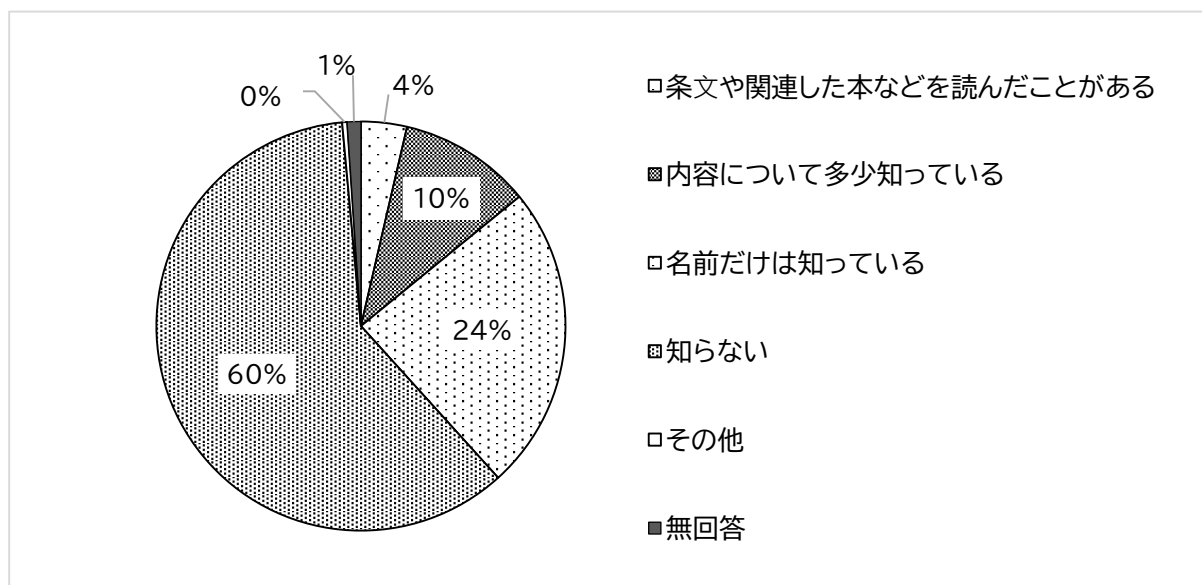
【図12】どんなところなら相談するか 男女別

5. 「子どもの権利」の認識と社会参加する機会

(1) 子どもの権利条約の認知度

(問13)「子どもの権利条約を知っていますか」の問いに対し、認知度は「条文や関連した記事を読んだことがある」37人(4%)、「内容について多少知っている」107人(10%)、「名前だけは知っている」247人(24%)を合わせて391人(38%)です。

前回調査では、この3つの回答を合計すると41%で、今回の調査の方が3ポイント少なくなっています。

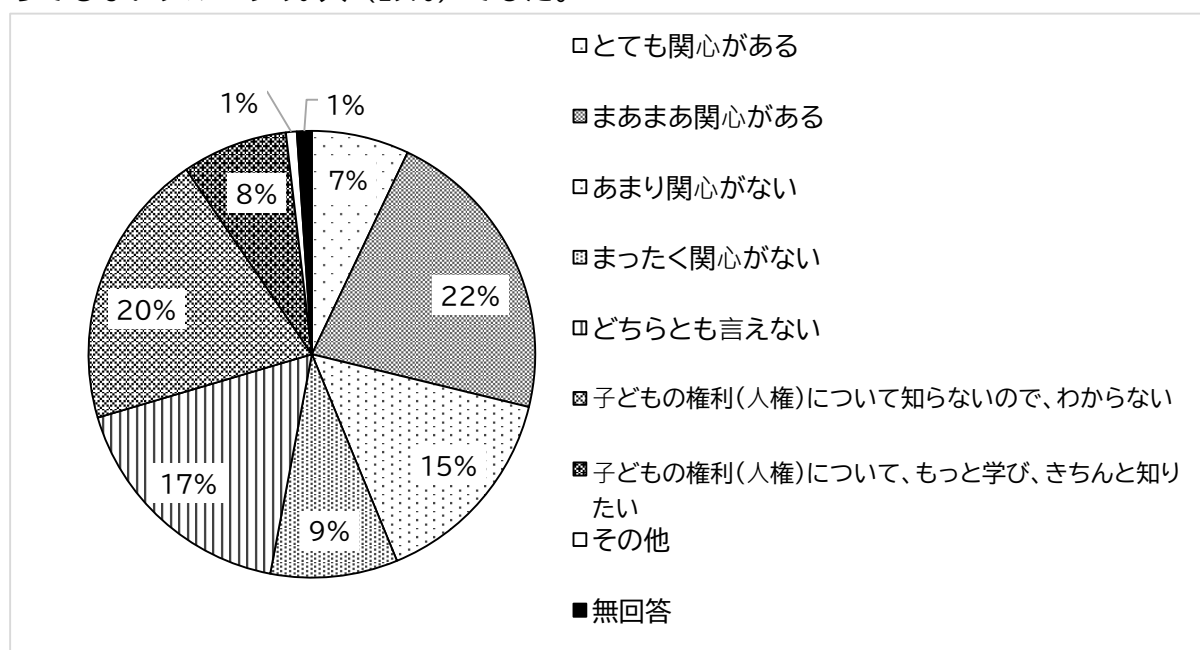


【図13】子どもの権利条約の認知度

(2) 子どもの権利（人権）に対する関心

(問14)「子どもの権利（人権）について、関心がありますか」の問いに対し、「とても関心がある」「まあまあ関心がある」「子どもの権利（人権）について、もっと学び、きちんと知りたい」の関心があるグループの合計が 372 人(37%)、「あまり関心がない」「まったく関心がない」の無関心グループ合計が 247 人(24%)、「どちらとも言えない」「子どもの権利（人権）について、知らないのではわからない」のどちらでもないグループが 383 人(37%)と、どちらでもないグループが一番多い結果となっています。

前回調査では、関心があるグループ 108 人（35%）、無関心グループ 103 人（33%）、どちらでもないグループ 90 人（29%）でした。



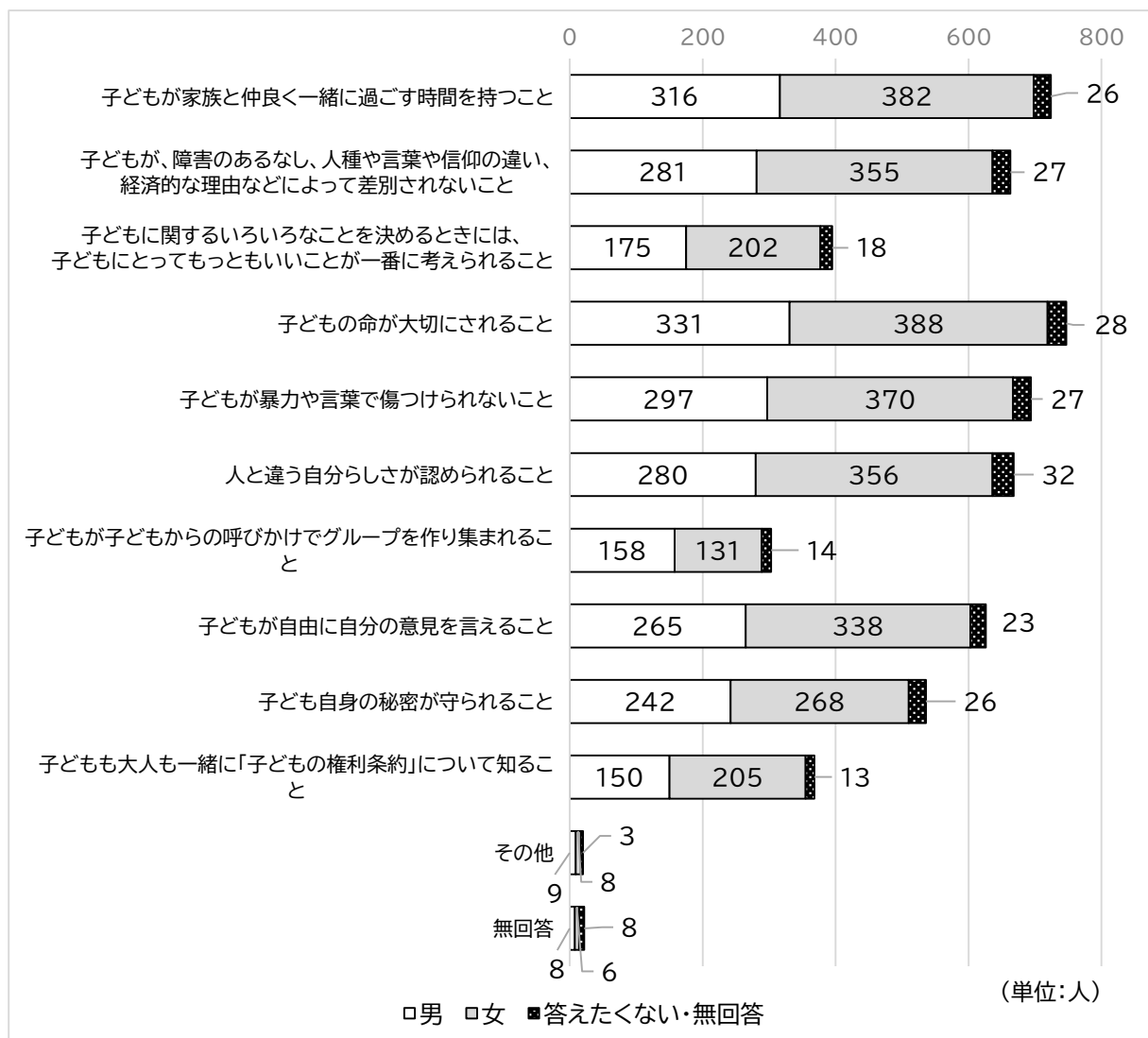
【図14】子どもの権利(人権)に対する関心

(3) 子どもの考える「子どもの権利(人権)」の内容

(問15)「子どもの権利(人権)として、どんなことが特に大切だと思うか」(複数回答)の設問に対して、もっとも多かった回答は「子どもの命が大切にされること」747人(73%)、次いで「子どもが家族と仲良く一緒に過ごす時間を持つこと」が724人(71%)、「子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと」694人(68%)、「人と違う自分らしさが認められること」668人(65%)、「子どもが、障害のあるなし、人種や言葉や信仰の違い、経済的な理由などによって差別されないこと」663人(65%)、などが続いています。

なお今回の調査でも、ほとんどの選択肢で、その項目を選んだ女子の数が、男子の数を上回っています。

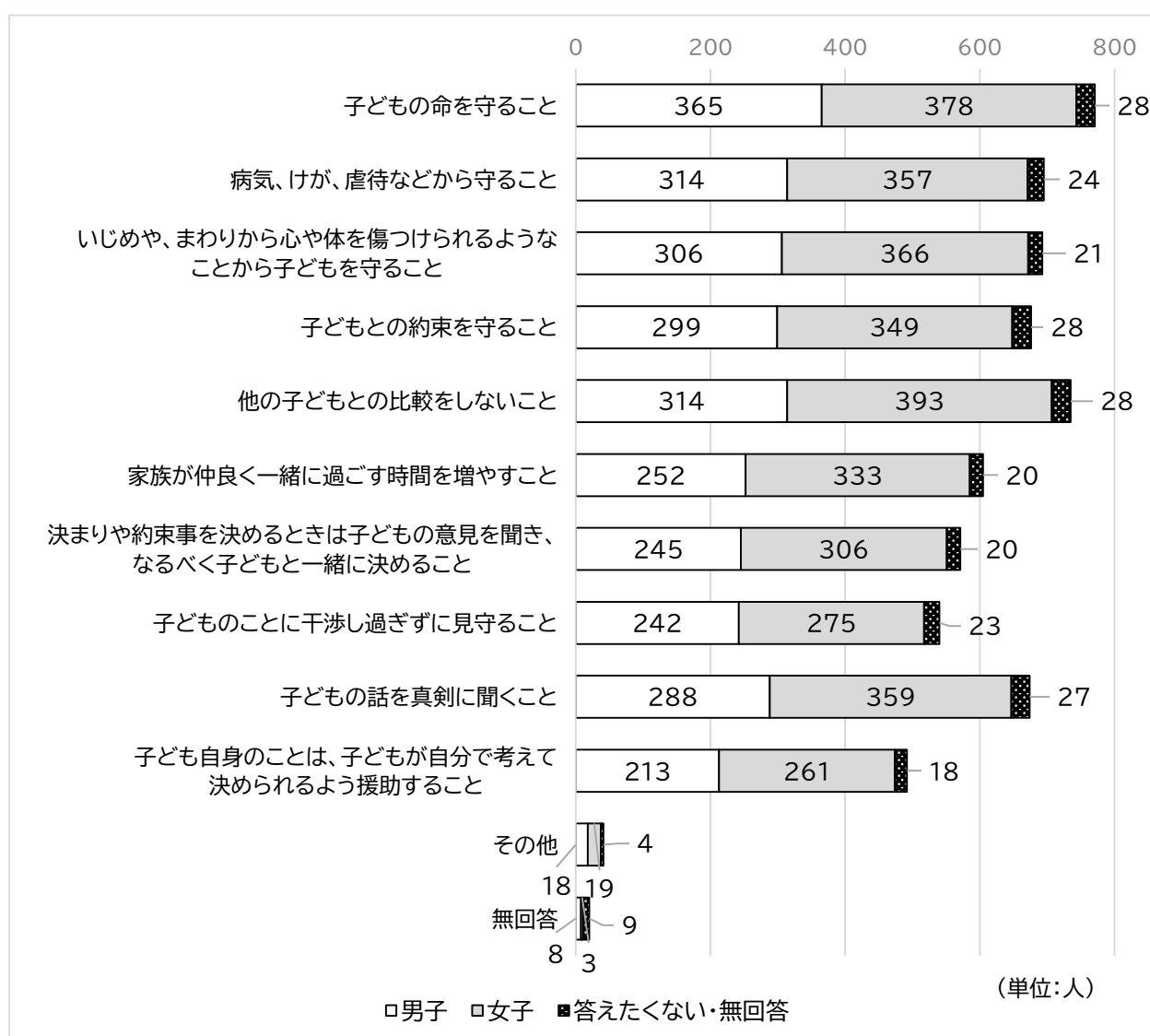
前回調査と上位5つを比較すると、1番目と2番目の順番は変わりませんが、前回調査では3番目の「子どもが、障害のあるなし、人種や言葉や信仰の違い、経済的な理由などによって差別されないこと」が5番目、前回調査では4番目の「子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと」が3番目、前回調査では5番目の「子どもが自由に自分の意見を言えること」が6番目でした。



【図15】子どもの権利(人権)として大切なこと

（問１６）「大人に心がけてほしいのはどんなことか」（複数回答）の設問に対してもっとも多かった回答は、「子どもの命を守ること」771人(76%)、次いで、「他の子どもとの比較をしないこと」735人(72%)、「病気、けが、虐待などから守ること」695人(68%)「いじめや、まわりから心や体を傷つけられるようなことから子どもを守ること」693人(68%)、「子どもとの約束を守ること」676人(66%)、と続いています。なお今回の調査でも、すべての選択肢について、その項目を選んだ女子の数が男子の数を上回っています。

また、前回調査と上位５つを比較すると、「病気、けが、虐待などから守ること」が「いじめや、まわりから心や体を傷つけられるようなことから子どもを守ること」を僅差で上回りました。

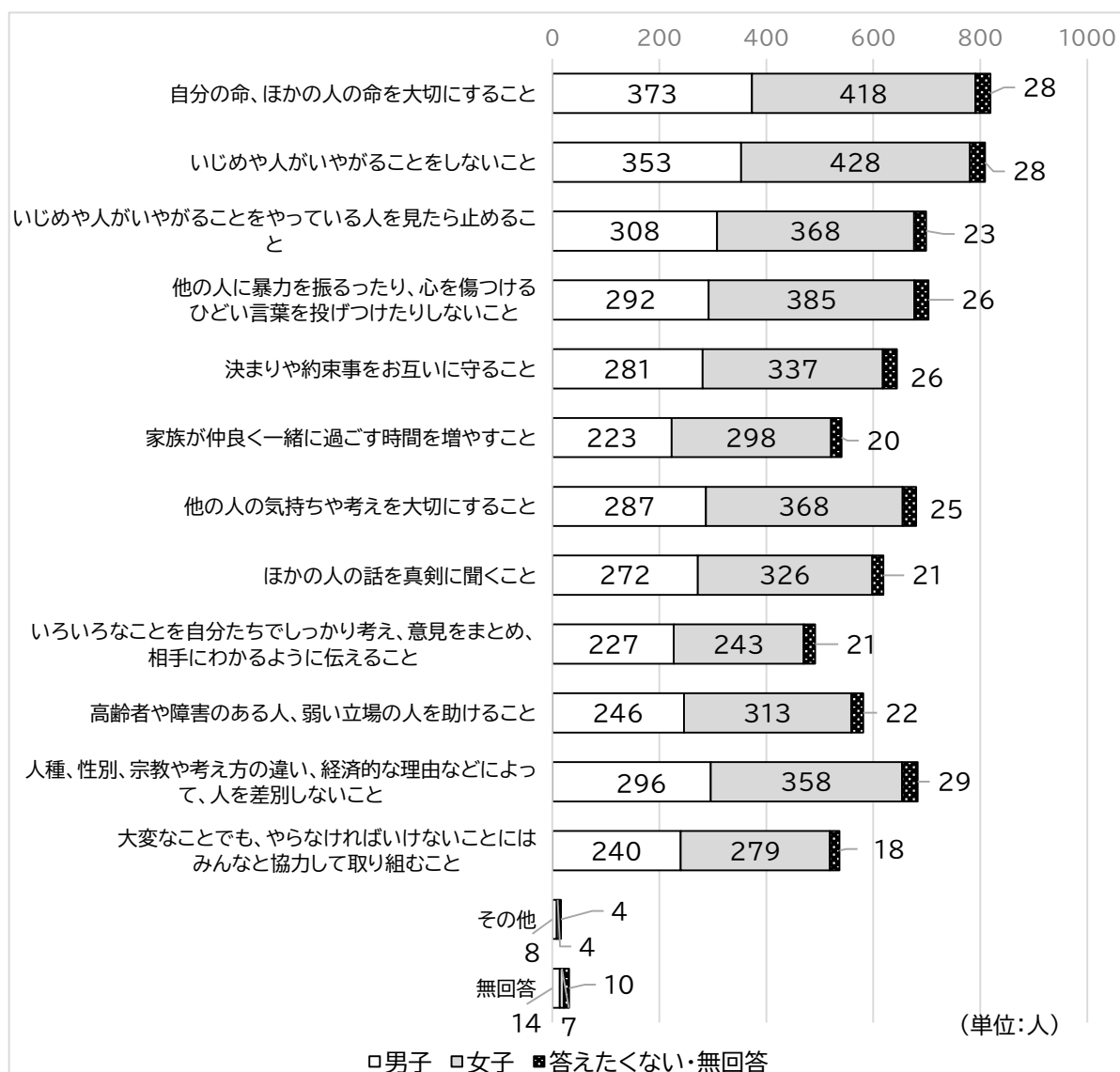


【図１６】大人に心がけてほしいこと 男女別

(問17)「子どもの権利(人権)を尊重し合うために、子ども自身も社会の一員として努力すべきことはどんなことか」に対して、もっとも多かった回答は「自分の命、ほかの人の命を大切にすること」全体で819人(80%)、次いで「いじめや人がいやがることをしないこと」809人(79%)、「他の人に暴力を振るったり、心を傷つけるひどい言葉を投げつけたりしないこと」703人(69%)、「いじめや人がいやがることをやっている人を見たら止めること」699人(68%)、「人種、性別、宗教や考え方の違い、経済的な理由などによって、人を差別しないこと」683人(67%)などが続いています。

この設問に対する回答でも、すべての選択肢について、その項目を選んだ女子の数が男子の数を上回っています。

また、前回調査と上位5つを比較すると、1、2、5番目の順位に変動はありませんでしたが、3番目の「いじめや人がいやがることをやっている人を見たら止めること」と4番目の「他の人に暴力を振るったり、心を傷つけるひどい言葉を投げつけたりしないこと」が入れ替わりしました。

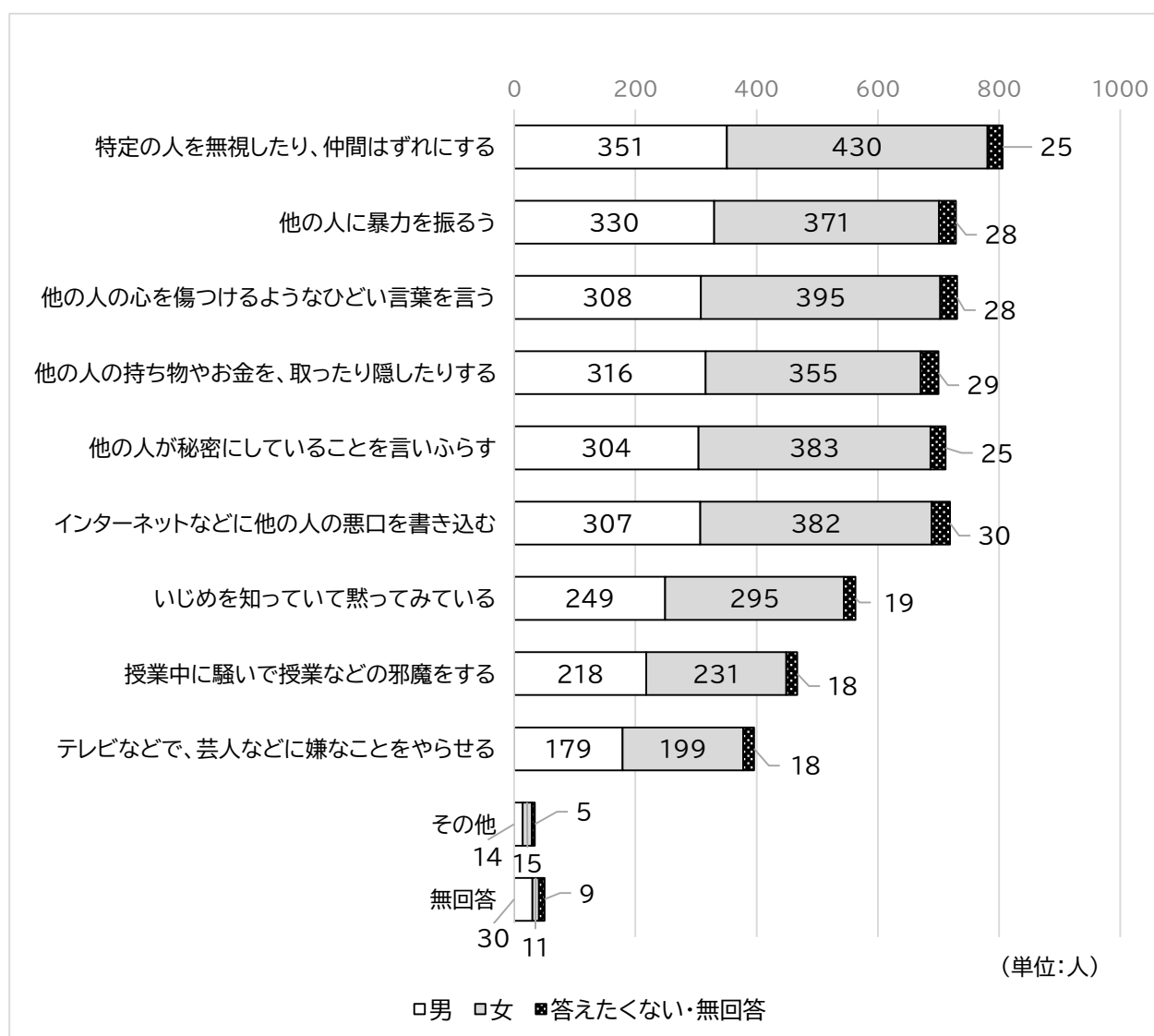


【図17】子どもも努力すべきこと 男女別

（問１８）「他の人の権利（人権）を大切にしていなかったり、侵害していると感じるのはどれか」（複数回答）の設問に対しては、もっとも多かった回答は「特定の人を無視したり、仲間はずれにする」806人(79%)、次いで「他の人の心を傷つけるようなひどい言葉を言う」731人(72%)、「他の人に暴力を振るう」729人(71%)、「インターネットなどに他の人の悪口を書き込む」719人(70%)、「他の人が秘密にしていることを言いふらす」712人(70%)、などが続いています。

この設問に対する回答でも、すべての選択肢について、その項目を選んだ女子の数が男子の数を上回っています。

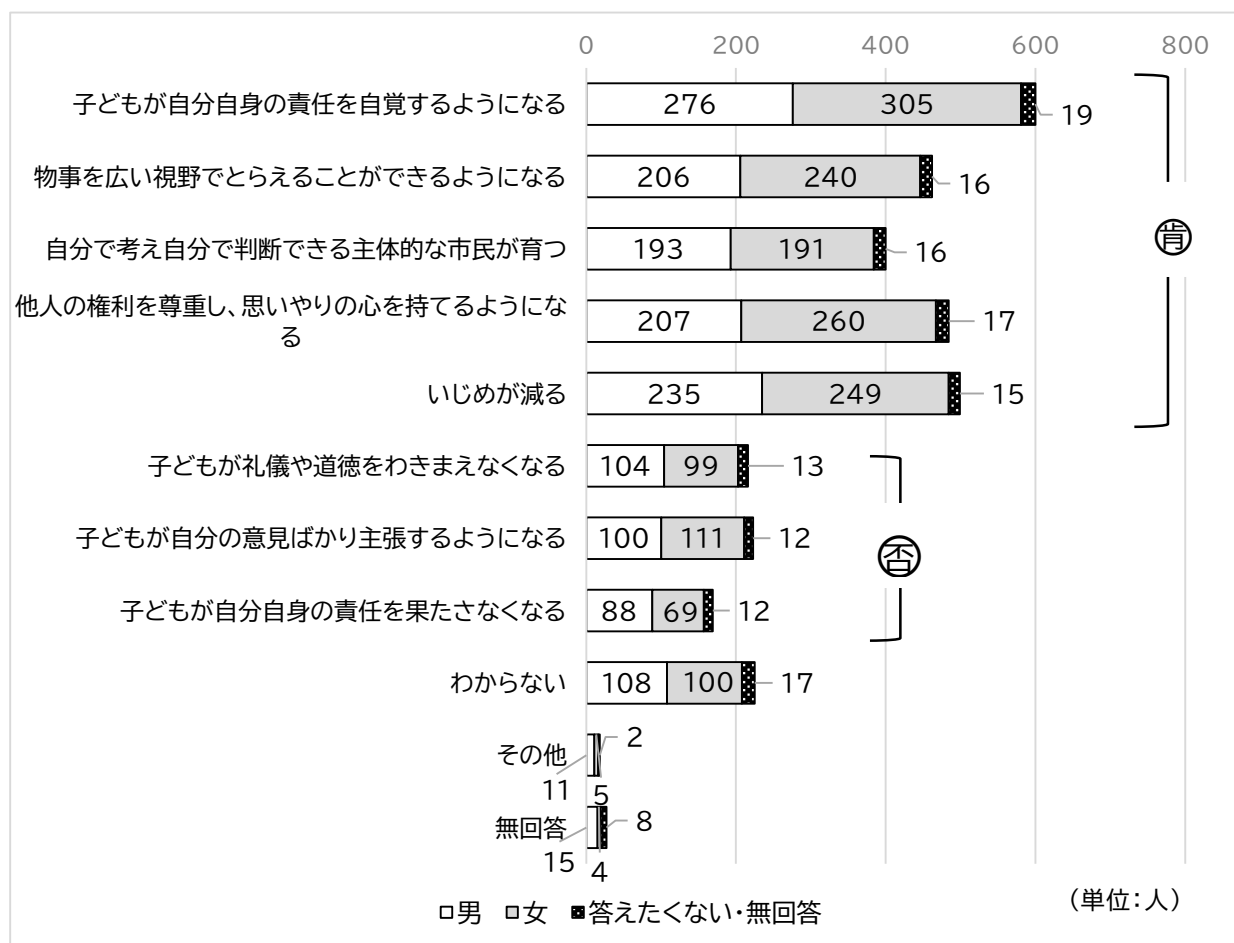
前回調査では、６番目だった「インターネットなどに他の人の悪口を書き込む」が10ポイント増えて４番目となり、インターネットの利用が進んでいることがわかります。



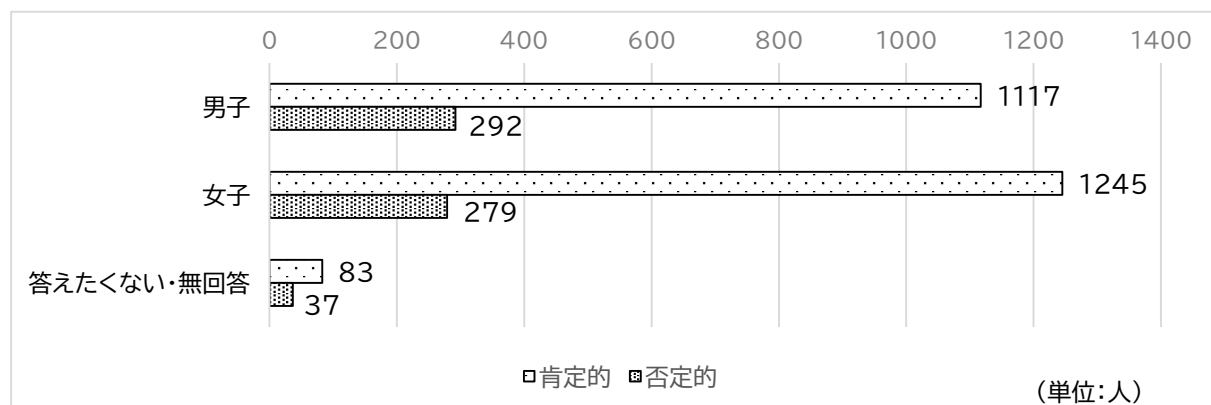
【図１８】人権侵害と感ずること 男女別

(問19)「子どもの権利(人権)についてみんなが知るようになると、どんな効果や影響があるか」(複数回答)の設問に対する回答で、肯定的な回答は「子どもが自分自身の責任を自覚するようになる」600人(59%)、次いで「いじめが減る」499人(49%)、「他人の権利を尊重し、思いやりの心をもてるようになる」484人(47%)、「物事を広い視野でとらえることができるようになる」462人(45%)、「自分で考え自分で判断できる主体的な市民が育つ」400人(39%)でした。

一方、否定的な回答として、「子どもが自分の意見ばかり主張するようになる」223人(22%)、「子どもが礼儀や道徳をわきまえなくなる」216人(21%)、「子どもが自分自身の責任を果たさなくなる」169人(16%)と続いています。子どもの権利をみんなが知ったときの効果や影響は肯定的にとらえる回答が多い結果になっています。



【図 19-1】子どもの権利(人権)周知の効果や影響



【図 19-2】子どもの権利(人権)周知の効果や影響 肯定的・否定的別

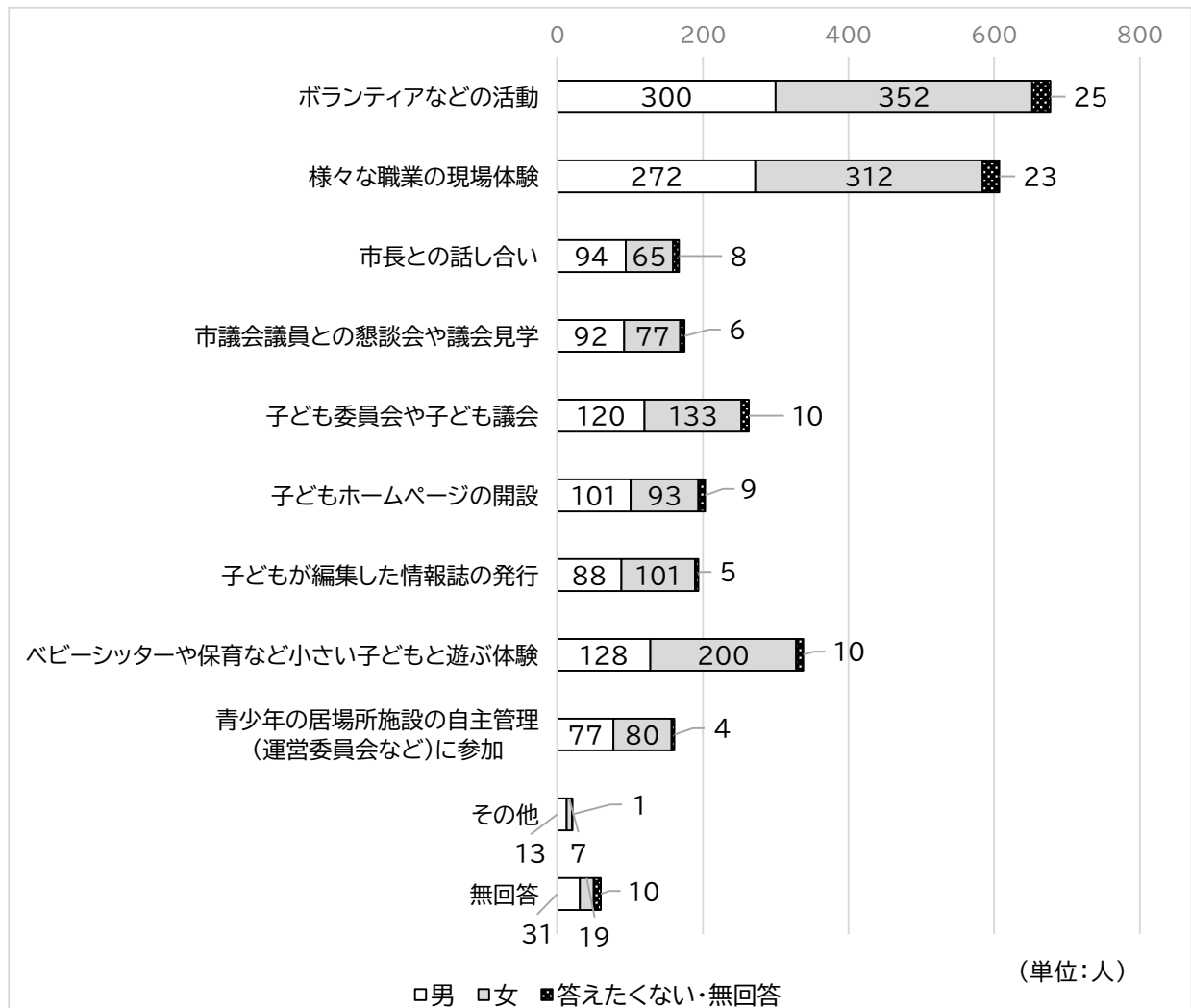
(4) 子どもが社会に参加する機会

(問20)「子どもが社会に参加する機会として、どのような活動がいいと思うか」(複数回答)の設問に対する回答では、もっとも多かった回答は「ボランティアなどの活動」全体で677人(66%)、次いで「様々な職業の現場体験」607人(59%)、「ベビーシッターや保育など小さい子どもと遊ぶ体験」338人(33%)、「子ども委員会や子ども議会」263人(26%)、「子どもホームページの開設」203人(20%)の順でした。

前回、男女差があった「ベビーシッターや保育など小さい子どもと遊ぶ体験」は、女子200人(20%)、男子128人(13%)で女子が男子を7ポイント上回るものの、前回からの差は3ポイント小さくなっています。

また、「その他」への記述では21人の回答があり、「わからない、ない(11件)」「法律や社会のルールを知る(2件)」などがありました。

前回調査と上位5つの順位に変動はありませんでした。



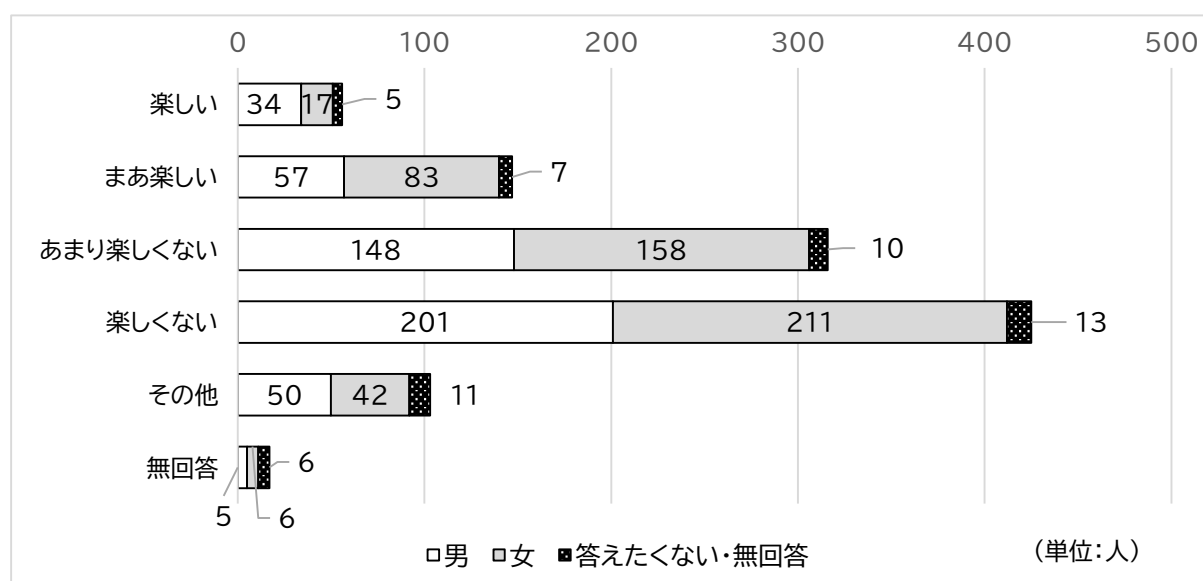
【図20】子どもの社会参加の機会 男女別

6. 新型コロナウイルス感染症による現在の気持ち

今回の調査では、新型コロナウイルス感染症による生徒の現在の気持ちを設問に加えました。

(1) 新型コロナウイルス感染症による自分の気持ち

(問21)「新型コロナウイルス感染症による今の気持ち」(複数回答)の設問に対して「楽しい」が56人(5%)、「まあ楽しい」が147人(14%)、「あまり楽しくない」が316人(31%)、「楽しくない」が425人(42%)となり、否定的な気持ちを表す生徒が多く見られました。



【図21】新型コロナウイルスによる今の気持ち 男女別

また、この設問では(問22)「問21でそれを選んだのはなぜですか」という記述回答欄を設けたところ、肯定的、否定的、中立的な回答がありました。それぞれを分類して複数の回答があったものをまとめた結果が【表22】です。

問22 肯定的理由		
1	工夫して楽しめるようにしているから	50件
2	友達と遊んだり、話したりできるから	15件
3	自分の時間が増えたから	14件
4	学校に行くことができるから	11件
5	家族と過ごす時間、遊ぶ時間が増えたから	10件
6	人が少ないほうがいいから	2件
合計		102件

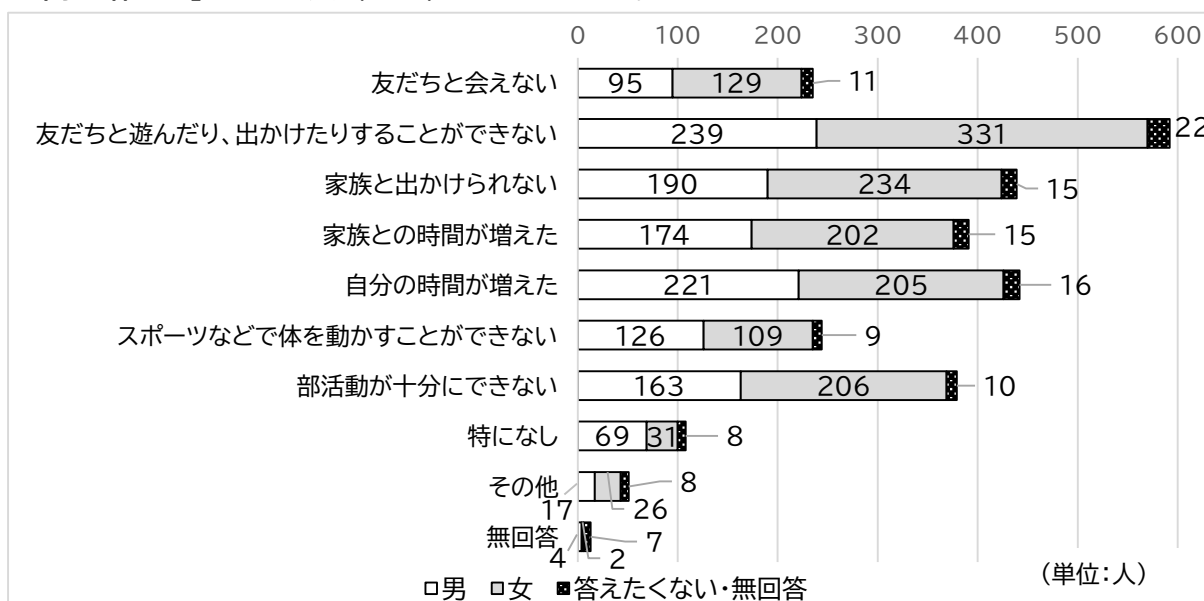
問 22 否定的理由		
1	日常生活に制限があるから	234 件
2	外出や旅行ができないから	117 件
3	学校生活や習い事で制限があるから	72 件
4	友達と遊んだり、話したりできないから	70 件
5	イベントなどが中止になるから	60 件
6	嫌な思い、腹立たしい思いをしているから	53 件
7	マスクをつけないといけないから	43 件
8	新型コロナで苦しむ人がいるから	42 件
9	不安な気持ちになるから	25 件
合計		716 件

問 22 中立的理由		
1	楽しいことも楽しくないこともあるから	26 件
2	変わらないから	24 件
3	わからないから	14 件
4	なんとなく	12 件
5	普通だから	9 件
6	何とも思わない	6 件
7	慣れたから	2 件
合計		93 件

【表 2 2】問 2 1 の自由記述 理由別

(2) 新型コロナウイルス感染症により今感じていること

(問 2 3)「新型コロナウイルス感染症により今感じていること」(複数回答)の設問に対して「友だちと遊んだり、出かけたりすることができない」が 592 人(58%)、「自分の時間が増えた」が 442 人(43%)、「家族と出かけられない」が 439 人(43%)、「家族との時間が増えた」が 391 人(38%)となりました。



【図 2 3】新型コロナウイルスにより感じていること 男女別

7. 自由記述

自由記述は、質問の最後に悩んでいること、言いたいこと、こんなところがあればいいなと思うこと、もっとこうしてもらいたいと思うことなど、自由に記述のあったもののまとめです。書かれた内容は様々であり、おおまかに以下の5つのカテゴリーに分類しています。掲載にあたっては原則として記載された内容をそのまま掲載していますが、内容を考慮し、一部表現を調整している場合があります。

親や家族について

- ・ 家が嫌い
- ・ 親と、あまり話さないこと。
- ・ 親がもっと自分の意見を取り入れてほしい
- ・ 最近、親や兄弟が自分の気持ちをわかってくれないときや、親や兄弟の発言がすごくムカついてイライラするときがあります。その時に怒りが少し行動に出てしまうけど、自分なりにしっかり怒りを我慢してます。そんなときに私の気持ちをわからずに親とか兄弟が怒ってくるのが嫌です。最近ストレスが多いです。
- ・ 親がすぐに怒る。意味のわからないことで怒る。ホントにしょうもない。
- ・ わからないけど両親が離婚しそう（な気がする）
- ・ 自分の趣味に親が関心をあまり持ってくれない
もっと一緒に話したいから関心を持って聞いてほしい
- ・ 親たちが私の親友とのテストの点数を比較して怒るのでプレッシャーがひどいです。
- ・ コロナで家族と過ごす時間が増えて喧嘩が増えた
- ・ 自分以外の家族同士や、自分と家族の仲が不安定。

自分なりの考え・思い・願い

- ・ 自分に自信を持つこと
- ・ 体の性と心の性について
- ・ 自分らしさがわからない
- ・ もっとライブ行きたい
- ・ 遊びたああああああああああい
- ・ 授業中にお腹がなってしまうこと。
- ・ 将来にコロナで、進路が変わったりしないか不安
- ・ 思うものはあるけど、言いたくはない。
- ・ コミュ障
- ・ 最近、大変なことがあったり、疲れたと感じることが増え「もうヤダ」、「なんのために生きてるんだろう」、「死にたい」と、思うことが多々ありでも、自分の好きなことをすると吹っ切れて頑張ろうと思える、幸せになれるだからこそ頑張っている
- ・ 周りの人との差が開いて、自信が無くなって来ている
- ・ コロナのせいで思い通りに行かないのがもどかしい。
- ・ もっと個人の個性が出せるようにしてほしい。
- ・ 自信が持てない
- ・ 自分はいろいろなことですぐにサボってしまうことがあります。とくに勉強面でこの

ことが響いてしまうのでそんな自分に嫌気がさしています。

- ・ 班長としてみんなをまとめられない
- ・ もっと自由な生活がしたい。そのために、世界が一つになって、協力できたらいいなと思う。
- ・ 勉強があまりできない。自分の部屋がない。
- ・ 生徒個人に根掘り葉掘り聞くのはやめたほうがいいと思う
- ・ 死にたいと思っているどうすればいいか
- ・ 他人の生き方に自分の観念と価値観をぶつけないでほしい
- ・ コロナで外出ができないことでストレスが溜まる
- ・ 悩んでない
- ・ 自分の部屋で友達とインターネットで遊んだり一人で遊ぶときが一番楽しい
- ・ 私はいつも誰もが私よりも優れているように感じています。クラスメートはみんな絵を描いたり走ったりするなどの優れたスキルを持っていますが、私にできることは両親が承認していないビデオゲームをプレイすることだけです。また、日本語がほとんど話せないため、友達との付き合いや実際の会話を経験したことはありません。誰よりも気分が悪くなったり、ただ一人でのみいるだけの時もあります。
- ・ 人からの罵詈雑言が著しく感じられる。他の人からの無視。成績が上がらない。先生があまり真剣に受け止めてくれない。
- ・ このような匿名(?) アンケートをもっと増やせば気軽に相談できる人が出てくると思う。僕自身調査に答えていくなかで確認できたことがあった。→機会をつくってくださりありがとうございました。いつもお疲れさまです。
- ・ やりたいことをやる
- ・ 人に気を使ったほうがいいのか。使わないほうがいいのか。わからない。使わないほうが楽だけど使わないと友達のことを傷つけるかも知れないから、どうしたらいいのかわからない。人の気持ちを考えるのが疲れる。人の気持ちを考えずに楽しく生活したい。人の気持ちを考えたくない。
- ・ もっと、地域や社会との交流を増やしていきたい。
- ・ スマホを自由に使いたい
- ・ もう少し自分を大切にしていきたい
- ・ 勉強
- ・ みんなから自分がどう思われているのか知りたい
- ・ 人間関係に悩んでいる。
- ・ どうやったら楽しく過ごせるか
- ・ 映画見させて
- ・ 好きな人ができた
- ・ 書きたくない
- ・ 自分の頑張りは認められているのかが不安
- ・ コロナのせいで、前より楽しくない。体育祭が好きなのに、短縮されてしまった。オリンピックやってほしくない。定期テストが嫌だ。都大会緊張する。1位取りたい。リレーのメンバーで都大会に出たかった。部活したい。シューズケースを早く買いに行きたい。洋服も買いたい。髪切りたい。
- ・ 人を勝手に決めつけない
- ・ 子供の意見もすこしくらいでいいから聞いて理解してほしい
- ・ 大人の話だからとまとめないで、きれいな話だけこどもにしないで、しっかり話して

ほしい（教えてほしい）

- ・ 人を怖がらず生きていけるのか今、自分の犯した罪にどう向き合っていくか
今人を傷つけていないか、など
- ・ わからない
- ・ 自分をちゃんと持ちたいこと
- ・ 日本って何でしょう 世界って何でしょう 自分って何でしょう 人間はどうかして
いる 生きるのも嫌になるときもある
- ・ 話をは否定しないで聞いてくれる人
- ・ 理不尽な理由で他人に当たらないでほしい教師むいていないもっとめんどろわみてほ
しい
- ・ 言わない
- ・ 自分自身をうなずけるようになるにはどうすればいいのか
- ・ リラックスできる時間がない
- ・ 勉強が上手く行きませんかどうしたらいいですか。
- ・ 特にないけど、子供を信じてほしい
- ・ わからん
- ・ 自分の個性を大切にする
- ・ 安心して相談できる場所・先生がいないことが悩みです。相談できる場所があっ
ても相談しに行ったという噂が立つてしまうことが不安です。そして、今の学校には
頼れる先生がいないことも悲しいです。
- ・ 一人一人の個性を大切にしてほしい。
- ・ コロナで部活や学校行事ばかり制限しても大して効果ないと思うし私達から自由を
奪っているだけだから部活や学校行事ぐらひは自由にやらせてほしい
私達が頑張ってることを軽く見られてる感じがする
- ・ 自分の考えを持ちつつも、人の考えや感性を認め、色々な人への理解をできる人がも
う少し増えてくれればいいと思います。そして、様々な差別などがなくなればよりみ
んなの自己肯定感が上がっていくのではないかと考えました。
- ・ 私は特に関係のない話なのですが、先生が誰かに“特別”な扱いをあからさまにして
ほしくないと思う。例えば、たくさん授業で発言したいのに、クラスの中で目立つよ
うな人（男子）にしか名指ししない。などのこと
- ・ 今コロナウイルスがあり、より多くのストレスが増えてきていると思うが、このような
アンケートがありありがたいと思った。だから、もう少しこのような機会を増やして
しい
- ・ 私は勉強が苦手です。いつもテスト期間になると勉強をするのですがいつも自分の努
力が足りないんだなと悩みますし、どのようにしたら上手く勉強できたりテストで良
い点数が取れるのか今すごく悩みます
- ・ もっと子供に自由がほしいです 子供のプライバシーを守って欲しいです もっと子
供に健康的な生活をさせてください
- ・ コロナのワクチン早くうちたい。
- ・ 私は、もっと子どもたちが安全に過ごせる家庭を持つことが大切だと思います。安全
に過ごせる家庭を持つことで明るい未来へとつながると思います。
- ・ 匿名の危険性をもっと色々な人に伝わってほしいと思っています。匿名だからなにを
言ってもいい。という考え方が世の中の根底に広がっていると思います。匿名という
安全地帯から人に攻撃するというのは、攻撃している人は自分のほうが上だ、という

優越感に浸っているかもしれませんが、言われた側は誰かもわからない人から言われる悪口(リアルで会っている人しかわからないこと)だったら周りの人たちが信じられなくなってしまうと思います。この危険性はもっと色んな人が知るべきだと思います。

- ・ 勉強が苦手で教えて欲しい。
- ・ もっと子供が楽しめるところができたらいいと思う
- ・ 今の授業についていけない事がある
- ・ コロナやだ
- ・ マスクをあまり外したくない
- ・ 校長は生徒や先生の意見だけでなく、保護者の意見もよく聞いてほしい。部活の顧問が、人によって態度を変えている気がする。無責任なところが少しある。それらを変えてほしい。
- ・ もっと、ジェンダー平等の考えが広まっていけばいいな、と思う。
- ・ 人間関係で悩んでいる。
- ・ 外ですごしたい
- ・ 自己主張をはっきりとしたい
- ・ しょうらいがきまらない
- ・ ゲームの影響で勉強が出来ない、、、
- ・ 病気が再発して治りません。
- ・ 勉強についていけない。
- ・ 苦しい間に話をきてほしい
- ・ 色々と失礼な内容を書いたと思いますが、全て僕が思ったことをそのまま書いてだけです。どうかご理解ください。
- ・ 自分の習い事を優先するか勉強を優先するかで悩んでいる
- ・ あまり話したことのない人と話すのが緊張します。相手が求めている返事ができてない気がするので直したいです。
- ・ 夢や頑張りたいことがなくて、勉強したいのに何のためにするか分からなくなって体が動かない自分が嫌
- ・ たくさん遊びたい
- ・ 勉強が大変
- ・ 自分の問題ですので大丈夫です。
- ・ 進学や受験のこと 自分の体型や容姿が嫌いなこと
- ・ 書いても何もならないと思うけど今はコロナでストレス発散できないのに学校のテストもあっても自殺したい気分
- ・ 子供だけでつくる新聞のようなものを出してみたい!!
(立川の魅力を子供目線で伝えたりするなど)
- ・ 苦手教科がなくせない。

公共施設や世の中のこと（公共施設など）

- ・ 皆くだらない
- ・ 無料で自由に同年代でなやみをもつ人たちと交流できる施設
- ・ スマホに依存しない世界
- ・ コロナのバカあああああ！！！！！！！！
- ・ まず一回自粛をガッチガチにする。

- ・ 楽しいことはなくなって、オリンピックは開催するのはおかしい。開催したらもっと感染者が増え、私達はコロナと1年間戦った意味がないと思う。私達はマスクをつけろと言われたからつけて、手も洗って、指示に従っているのに全然感染者が収まらない。誰か一人でもマスクを外したら私達が付ける意味がなくなってしまう。そういう一人ひとりの行動が感染力を抑えるから自分一人くらいいいやと思わずにみんな協力してほしい。
- ・ 困っている子供たちに大人が手を差し伸べるようにする。
- ・ コロナが終わってほしい。
- ・ 中学生もバイトできるようにしてほしい
- ・ コロナを早く永久に消してほしい
- ・ コロナうざいはよくなれ
- ・ コロナなくなれ
- ・ 新型コロナウイルスの感染者数が増えないように厳しくして早くコロナ禍から抜け出したい。
- ・ オリンピックはやらないほうがいいと思う。外国から色んな人が来て、もっとコロナウイルスが広がると思うし、飲食店のほうがまだ安心していけるのになと思う。
- ・ ニュースなどですぐ「若者」がとかいわないでほしい 町中にも酒をのんでいたり徘徊している高齢者だっただくさんいる いまの学生は損
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために緊急事態宣言は一気に長い期間やったほうがいいと思う。飲食店などが大変だが、一気にやったほうが収束が早くなると思う。
- ・ オリンピックなどでお金を使うのでは無くもっと国民を助けられるような事をしてほしい。(コロナ対策を他の国のように徹底する、など)
- ・ 自分の悩みを聞いてくれる環境がもっとほしい、そして対応もしてほしい
- ・ オリンピックまじでやるん？オリンピック開催の為に外出自粛してるわけやないし緊急事態宣言中だとしてもやるとかえ、何、さては馬鹿？
- ・ 子供が活躍する機会を増やす
- ・ オリンピックを開催するのは誇らしいことだが、今までオリンピックをするために我慢して自粛していたわけじゃない
- ・ 自分の気持ちを言える生活にしてほしい
- ・ 緊急事態宣言解除して欲しいです。
- ・ 児童相談所など、子どもが相談できるような場所への電話料はただにしてほしい。
- ・ 勝手に出歩く若者や毎日の新規感染者の数にため息がでる。16歳未満の人にワクチンを接種しようとする政府の考えに意味がわからない。菅政権自体駄目だと思う。緊急事態宣言を解除する理由がわからない。酒類の提供は絶対にすべきではない。オリンピックを開催する側として、菅総理大臣は人々の安全を第一に考えるとかがいてるのに全然できていない。
- ・ オリンピックをやる前に感染拡大を防止するため制限力の強い緊急事態宣言を出してほしい
- ・ コロナ差別をなくす
- ・ もっとより良い勉強環境が欲しい
- ・ コロナが流行っていても友達と楽しくイオンモールやラポートに行けるようにしてほしい
- ・ あまり事件が起きない生活がしたい。
- ・ 施設をふやして欲しい。

- ・ 裁判で、精神疾患などの基礎能力がないときに、無罪はやめてほしい。少しでもいいから刑を与えてほしい。このように主張できる場所が少ない。先進国は発展途上国を、もっと助けてあげてほしい。
- ・ 都心が増えすぎているから減らす
- ・ 気軽に遊べる大きな施設
- ・ 新型コロナでの医療従事者の方たちの事をしる場がもっとほしいと思います。
- ・ ワクチンはよ
- ・ コロナが無くなって欲しい、そして友達と遊びたい。
- ・ 大人だけの経済じゃなく人というくくりの経済にしてほしい
- ・ 自分を認めてくれるところがほしい
- ・ 悩みなど簡単に言えるスペースがほしい。
- ・ コロナの前に戻りたい
- ・ 少しでも早くコロナが収まればいいと思う
- ・ どんな悩みにも対応してくれるお悩み相談サービス
- ・ コロナが自粛してほしい
- ・ 遊園地を作って欲しいです。（沢山遊べる所）
- ・ 精神病やセクシャリティに関してバカにしないこと
- ・ コロナウイルスをこの世界からなくして、家族や友達と幸せに生きて行きたい。
- ・ 一人一人にあう環境スペース
- ・ 最近コロナウイルスの影響が続いていて主に働いている大人の人の感染が多いのに感染対策を大人が徹底しなくて中学生が感染対策を徹底しているのにいろいろなことを我慢しているのは子どもたちの方なのが納得いきません。コロナかと思う存分にあそんでいるのは感染者の多い社会人のことだとおもいます。だからもっと日本人全員のためにコロナを早く終わられるために感染対策を徹底して早く今までの生活に戻ってほしいです。
- ・ 主に、報道機関の方々による、最新の情報提供には、いつも助かっているので、感謝しています。ですが、その中でも、真実の情報が書かれている裏側には、偽りの情報も多く書かれているように思えます。報道機関の方々の中には、定かでなくても、話題になりそうな記事なら、問題はないと思い、そのまま発信してしまう人たちも、多いのではないのでしょうか。ですが、それは自己中心的な考えなのではないのでしょうか。これは、俗に言う「他人を思いやれない人」であると思います。そして、これは他人の生きる上での人権侵害の類に入るのではないかと思います。そして、これが基の一般人による、一人に対して、心の集中攻撃「誹謗中傷」が、起こっていく原因だと思います。社会を生きる人の見本である、大人がするような言動ではないです。この社会をつくっている大人が、これからの社会をつくっていく子供に悪影響を与えることが、よい社会をつくっていくことには繋がりません。勿論、これは一部の人に向けたものではなく、今を生きる人達全員に向けたメッセージです。自分も含めた全員の人たちが、まずは、自分を、見直して、これから生きてくことが、必要だと思います。
- ・ 緊急事態宣言を出していて夜8時にはお店などが閉まりますがたかがそれだけでは新型コロナウイルスによる感染者は減らないし、大阪とおなじように休日はお店を閉めさせてそれだけでもいいから東京の政府の方たちにはちゃんと考えてほしい。今のままでは感染者は一向に減らないと思います。もういっそのことロックダウンをしたらいいのにと毎日思っています。

最後に学校側に相談していたのにもかかわらず、何も聞かず自殺をしてしまう児童や生徒も少なくはないと思うので、しっかりそこを対策してほしいです。ひとりでも多くの子供を救ってほしいです。

- ・ 世界各国の子供から大人と交流できる場所をもっと増やしてほしいです
- ・ コロナのあいだは家で自粛をして無駄な外出を避けること。
- ・ 中体連や大規模な公園が中止、一時閉鎖になっているのにわざわざオリンピックを開催する必要があるのか。オリンピック自体国民からの税金を大量消費しているというのに。選手には申し訳ないけど中止にならないものか。
- ・ オリンピックは本当に観客をいれてしまうのか
- ・ コロナがなくなってほしい
- ・ コロナ終息してほしい。
- ・ 部活動が普通にできるように早くなってほしい。コロナが早く収まってほしいと思っている人のことを考えずに不要不急の外出をしている人を厳しく取り締まってほしい。市に関して興味があるので、市で行っている取り組みや市の抱える問題(環境・交通機関等)をもっと教えてほしい。
- ・ 早くコロナが終わって、自由にのびのびとしたい
- ・ コロナが早く収まってほしいです。
- ・ 国が、新型コロナウィルスなのに、オリンピックをしていたり、緊急事態宣言を解除したり、コロナウィルスに国民がかかっても良いとしか思えないことです。
- ・ 立川に友達と勉強する場所がほしい
- ・ 早くコロナウィルスが収まってほしい。
- ・ 室内のスポーツ施設
- ・ スポーツができるところを増やしてほしい 学校の先生がうざすぎる
- ・ いろんな人がお互いに認め合えるところ。

- ・ 学校全体でやる行事を増やしてほしいです。
- ・ ジャージ登校をずっとさせてほしい
- ・ 定期テストが長すぎて嫌だ
- ・ 学校をもっと楽しくして欲しいです しっかり勉強はできますが @@@@ @@@@ @@@@ @@@@
- ・ 美術や家庭科などのサブ教科の宿題が減ること
- ・ 仲間を信じる
- ・ 子供に対しては、いじめをすることは絶対にやめてほしいと思う。大人に対しては、いじめを無視したり増長させるようなことは絶対にやめてほしい。いじめは早めに対策を！

- ・ 先生が成績をつけるときに先生の感情や事情を持ち込まないようにしてほしい
- ・ 1の子とすこしの間帰らなかったら学校で無視？みたいなのをされ他の子にも無視されている気がする
- ・ クラスの雰囲気あまり好きじゃないです。
- ・ 友達関係がわからなくなってきた
- ・ いじめが無くなる事は絶対にはないと思います。でもいじめで苦しい思いをする人が少しでも減ることするにはやっぱり子供だけでは無理で大人の力があると思うです。だから子供がいじめめるかいじめないかの問題の前に大人がどう対応していくか改めて考えるべきだと思います。
- ・ 定期テストの意義とはなんですか？単元が終わるごとにテストを行うのは駄目なのですか？単元が終わるごとにテストを行うことによって、その単元の復習をその単元が終わった時にすることによって、人の頭に残ると思います。これは科学的根拠ではなく。自分の自論で話を進めております。定期テストでは、そのテスト範囲をただ勉強することになると思います。長文すみません。これが自分の意見です。
- ・ 友達と対面で授業ができなくて理科の実験ができない。部活でコロナが怖くて部活に来てない先輩がいるから、やらないならやらないで決めてほしい。大会で応援に行けない、大会自体がないからもっとやってほしい。
- ・ 給食が美味しくない
- ・ 学校がつまんない
- ・ お互いを尊重できる学校が良い
- ・ 宿題をなくしてほしい
- ・ 出席日数の考え方をやめてほしい
- ・ 道徳の時間を増やしてほしい
- ・ コロナのせいで皆と遊んだりすることができなくなったこと
- ・ 定期テストの範囲をもっと早く出してほしい
- ・ 他人の気持ちも考えず人の名前で遊んだり悪口を言うクラスの男子をどうにかしてほしい
- ・ テスト勉強面倒くさい
- ・ 部活の時間を増やしてほしい
- ・ 学校の先生言ってること矛盾してる
- ・ 学校のテニスコートを増やしてほしい
- ・ 部活との時間がもっとほしいところ
- ・ テストの延期
- ・ ゲーセン行きたい テストやだ
- ・ 部活動が同じ人に嫌われるのはしんどい
- ・ 宿題や課題をなくしてほしいあとテストも
- ・ 席替えを定期的に行うべき
- ・ 変な校則はいらないと思う 例. 他学年のフロアに入ってはいけない
理由→もう他学年からの変なからみはないと思うから 先輩、後輩関係が良くなる(仲良くなれる)から
- ・ 学校に行くことがつらいこと。(息苦しいからです。)
- ・ 部活をやりたい
- ・ 色々問題のある先生がいるから変わってほしい
- ・ 友達のこと

- ・ テストをなくしてください
- ・ 勉強が嫌だ テストが多い
- ・ 仲間はずれにしたり人の気持ちを考えないような人に厳しく指導してほしい 差別を減らしてほしい
- ・ 部活のことで少し悩んでいる。スクールカウンセラーなどで気軽に相談できるようになってほしい。
- ・ 部活動の時間が東京都の方針と違いすぎる。休みが1日もない部活もある。
- ・ 親しい友だちに好き勝手言われる時がありイライラする。私には何を言ってもいいと思われていると思うし、沸点が低い為こちらは気を使えばなしで疲れる。しかも私の意見をいつも否定してくるので本当にふざけるなと思う。自慢してくるところも正直言ってもうざい。嫌いでは無いが長い間一緒に行動していたので、少し距離を置いている。また別の子は悪ふざけがすぎるところがあり少し辛かった。
- ・ 最近学校で自分に対しての悪口が多い
- ・ 部活動内に練習に対する意識の格差があって、自分の意見を思いっきり伝えられない。
- ・ 注意を口実にいじめてくる人がいる。
- ・ 授業のときとかに男と女で分けないでほしい
- ・ 先生が2年連続で一緒だから変えてほしい
- ・ いじめのない暮らしにして欲しい
- ・ 様々な場所で、差別をなくすこと
- ・ 修学旅行などの行事がしたい
- ・ 周りをよく見てグループなどで固まるんじゃなくて、誰とでも仲良くできるようにしたい。
- ・ 部活の制限があって上手になりたいのに、また好きなのにしっかりできないのが悲しい。
- ・ クラスのみんなで、もっとレクリエーションしたい。後は、宗教上できないことをバカにしないでほしい。
- ・ もっとクラスや学校でみんなと関わりを作りたい
- ・ なんで、定期テストが近いのに、テストとは関係ない提出物の期限がその前にあるのか。だからテスト前にはなるべく関係ない提出物の提出をさせないでほしいです。
- ・ いじめは見ても見ぬ振りをしてはいけない
- ・ 課題を少なくしてほしい。
- ・ 学校に行くときの荷物が重いし、クロームブックで少し軽くなると思ってたけどぎゃくに、重くなったからヤダ。
- ・ もっと友だちと遊びたい
- ・ 学校の先生、カウンセラーの先生も結局身近な人言ってしまうから私は相談したいと思わない。
- ・ コロナなので、学校行事に気持ちが乗らない事。
- ・ 学校の先生の、言葉づかいが悪いのが気になります。
- ・ 定期テストが心配。
- ・ 学校でラップ曲が流せないのが悲しいです。
- ・ いじめのない世界にしていきたいので一人ひとりが尊重できる世界にしていきたい。
- ・ 先生の地雷がわからなくて怖い。

- ・ 名前は●さんですれ違うたびにキモとかこの前は傘で肩を叩かれて青あざが出来たり悪口とか言われてとても困ってます 自分なりには気にしないでやっているけども大きな声とかで言われるから嫌です
- ・ 友達が周りと比べて少ない
- ・ 学校の経験では職業体験がなくなり今の子供のいろいろな経験が少なくなり今の学生は今までみんながやってきたことができなくなりその分学習面でも遅れなどが出て来ているからそんな面では改善して欲しいです。
- ・ 悪口をよく言う子がいるから
- ・ 友達関係がうまくいかない。一方的に責められる。
- ・ 授業中に人が発言するときに騒がないでほしい
- ・ 給食の時間に班体形にしてほしいです
- ・ かんたんにいうと嫌がらせを植え散るようなものです。7年間ですで手のことにおいて私を真似したり学校などであうといちにちじゅうつきまとしてきたりはっきりいってうざいことされています。あうたんびにひとのわるぐちをずっといっていてもその人とわざわざ一緒にいたり一人で入れないあの子が私にとっては悩みでしかありません
- ・ 私は、友達についてよく考えることがあって仲良くしていた親友も同然の人とかになぜか急に悪口を言われたりすることが何度かあったからなんで悪口を言っているのか教えてくれないとわからないから、そういうのを教えてほしいと思った。だから、仲が良い人とクラスが離れちゃうといつか、仲良くしてくれなくなったり前みたいに急に離れていってしまうと考えたら不安になったりすることがある。家では、弟が悪くても年上だからという理由で怒られることがあったことがあったから、お姉ちゃんだからって理由で起こるのをやめてほしい。他の人と比較するのも、意外と結構傷つくからやめてほしいなと思っている
- ・ 定期テストがホントに嫌 やりたくない 勉強嫌い
- ・ クラスの雰囲気が悪い
- ・ コロナで大変なのはわかりますが学校行事をもっとやらせてほしいです。中学校生活の思い出をこれ以上減らさないでほしいです。
- ・ 生徒の意見を尊重する。パソコンを使って授業をする
- ・ 友達と仲良くしたい 友達が自分のことを無視されないでほしい
- ・ 友達との会話の時間を増やしてほしい
- ・ 生徒によって態度を変えている先生がいる→顧問だからといって起こり方が完全に違かった。→バカ、なんのために学校に来ているんだ、勉強ができない、もう来なくていいなどと言ったことを顧問にみんなの前で言われた。どんな理由があっても言って良いことと悪いことがあると思う。
水泳授業の実施→マスクを外すなどと言ったりリスクが高まるような行為→感染予防を徹底していると言ったときながら人数は多い。感染予防を徹底するなら人数をへらすべき→生徒の意見をきいて男女混合にするかしないかを決めたほうが絶対にいい。水着を異性に見られたくない、恥ずかしいという理由から水泳の授業を見学している子も少なくないと思う。実際に自分の周りにそのような子はちらほらいる。
- ・ 学校での感染対策の強化をもっと徹底してほしい。
- ・ 部活動で部活を真剣にやりたいのに、まわりがあんまり真剣じゃないから困ってしまう。
- ・ 高校生とサッカーをしたい

- ・ 給食をもっと美味しく
- ・ 友達とあそびたい
- ・ 体育館にクーラーをつけてほしい
- ・ コロナが怖いなら学校を自粛すればいい
- ・ 部活動がきついです。
- ・ 理科と歴史の授業をもっと増やしてほしい。
- ・ 部活などをやらないほうが良い
- ・ いじめ関係のものがなくなる。子供、親関係なく相手の気持ちを理解する。
- ・ 生徒のいじめの教育の前に教師のいじめの教育。
- ・ 友達と遊びに行くのが減って、スマホに依存してしまっている
- ・ 友達関係があまり上手くいっておらず、学校に行きたくないと思うことがたまにあります。
- ・ できれば同性の先生が良い。
- ・ 水泳がなんでそんなに必要なのか なんで男女混合なのか 平日の部活の時間
- ・ 友達関係が嫌だ。一方的に避けてきたり、部活動でも同級生の中で大きな亀裂がある。そのせいで学校が楽しくない。小学校に戻りたい。外で走ったり友達と遊びに行きたい。悪いことがありすぎて泣きそうになる。毎日生きている意味や相手がどう思っているのかわからなくて怖い。
- ・ とにかくどんな人でも差別しない。
- ・ もっと部活動の時間を延ばしてほしいです
- ・ 学校を週二回にする
- ・ 学校やダー-----
- ・ 部活へのモチベーションが無くなってしまって

その他のことについて

- ・ おかねがない
- ・ お金がないこと以外は特にはないです。
- ・ 塾の宿題をもっと減らすべきだ。定期テスト勉強など、他の課題と重なると全く時間が足りない。平日中の徹夜もあって、生活リズムが崩れてしまっている。
- ・ こういうアンケートがめんどくさいから無くしてほしい。
- ・ 何でもするんでお金ください
- ・ 肩こりが酷い
- ・ 野球チームが辛いです
- ・ コロナ禍でネットを使う機会が増え、良いことも悪いこともあるけど、ネットを使ってより質の高い教育が受けれることを望みます。今回は有難う御座いました。
- ・ バレーボール楽しい
- ・ 疲れた
- ・ スマートフォンなどの有効な使い方などをわかりやすくまとめたものがあるといいと思います。
- ・ 今悩みはないけれど、私はある先生から学ばせていただいた感謝することをこれからも続けていきたいです。今生きていることは当たり前じゃない。今日も朝起きて家族に友達に先生に先輩に後輩に会えること、ご飯が食べれること、勉強ができること。考えれば考えるほど私にはたくさんの幸せがあります。それを決して忘れず生きていきたいと思います。

- ・ コロナでお父さんが Zoom が多くなり、家族全体では過ごす時間が減ってしまった部活動が思うように活動できずに、前より技術面が向上できていないこと 国がせっきょくてきに拉致問題などに手をかけること
- ・ 信頼がない
- ・ いろんなゲームや自分で1人でもできる運動できる生活
- ・ 人との関係
- ・ 本当になんでもいいなら課金しまくりたい
- ・ 私は満たされていると思います。それが立川市の制作のお陰なのかはわかりませんが、要するに充分幸せです。
- ・ 冬のホッカイロが OK なら、夏の手動型扇風機やうちわも OK でいいと思う

IV. 小学5年生と中学2年生の結果比較

小学5年生と中学2年生の調査結果で、数値や傾向に差異のあった設問について比較しました。

(問2)あなたは自分のことについて次のようなことを思いますか

質 問	グループ	R3 小学5年生		R3 中学2年生	
①自分のことが好きだ	肯定的回答グループ	816 人	66%	502 人	49%
	否定的回答グループ	408 人	33%	506 人	50%
②自分は人から必要とされている	肯定的回答グループ	814 人	66%	523 人	51%
	否定的回答グループ	407 人	33%	483 人	47%
③自分にはよいところがたくさんある	肯定的回答グループ	782 人	64%	461 人	45%
	否定的回答グループ	433 人	35%	543 人	53%
④自分には何かができる	肯定的回答グループ	1,043 人	85%	746 人	73%
	否定的回答グループ	175 人	14%	266 人	26%
⑤自分は目標に向かって努力している	肯定的回答グループ	970 人	79%	655 人	64%
	否定的回答グループ	248 人	20%	351 人	34%
⑥自分は役に立つ人間だと思う	肯定的回答グループ	763 人	62%	458 人	45%
	否定的回答グループ	449 人	37%	546 人	53%
⑦だれかのために何かをしたい	肯定的回答グループ	1,141 人	93%	857 人	84%
	否定的回答グループ	75 人	6%	153 人	15%
⑧社会に役立つことをしたい	肯定的回答グループ	1,103 人	90%	809 人	79%
	否定的回答グループ	112 人	9%	198 人	19%

(問4)あなたがホッとでき、安心していられる場所はどこか

順位	1	2	3	4	5
小5	家族と一緒にくつろぐ部屋 871 人 71%	自分の部屋 764 人 62%	祖父母の家 636 人 52%	学校の図書館 400 人 33%	学校の教室 363 人 30%
中2	自分の部屋 832 人 81%	家族と一緒にくつろぐ部屋 514 人 50%	祖父母の家 354 人 35%	友だちの家 292 人 29%	学校の教室 235 人 23%

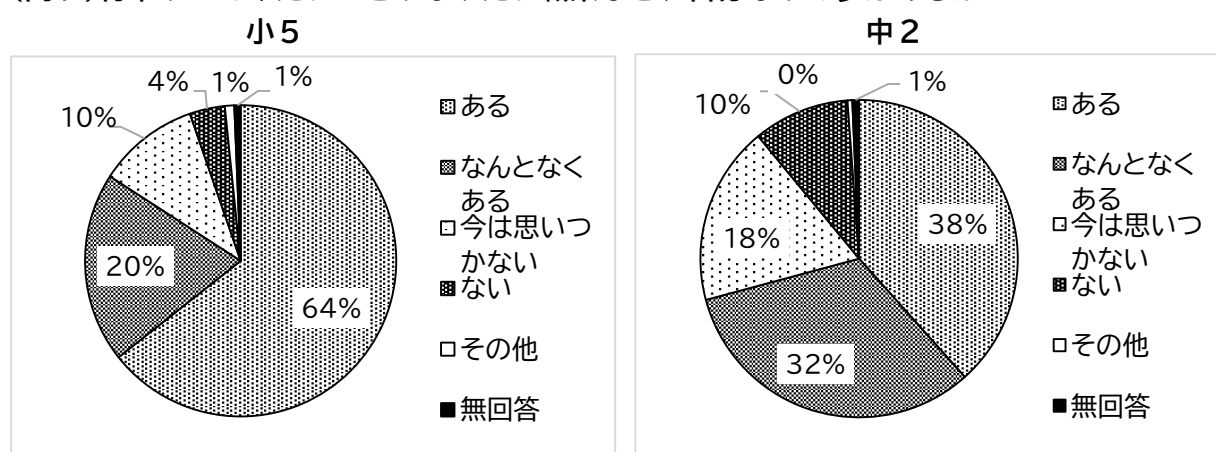
(問5)悩みを何でも話せる人はだれか

順位	1	2	3	4	5
小5	親 932 人 76%	友だち 789 人 64%	兄弟姉妹 444 人 36%	祖父母 425 人 35%	担任・副担任などの先生 379 人 31%
中2	友だち 670 人 66%	親 540 人 53%	兄弟姉妹 253 人 25%	祖父母 167 人 16%	担任・副担任などの先生 162 人 16%

(問 8) あなたは次のようなことをやっているか

順位	1	2	3	4	5
小 5	食事の準備や 後片付け 932 人 76%	学校での クラブ活動 775 人 63%	洗濯物を取りこん だりたたんだりする 686 人 56%	トイレや おふろの掃除 647 人 53%	生きものの 世話 467 人 38%
中 2	食事の準備や 後片付け 783 人 77%	洗濯物を取りこん だりたたんだりする 568 人 56%	学校での クラブ活動 533 人 52%	トイレや おふろの掃除 467 人 46%	妹や弟の面倒 をみる 345 人 34%

(問 9) 将来やってみたいことやなりたい職業など、自分なりの夢はあるか



(問 1 4) 子どもの権利（人権）について、関心がありますか

	小 5	中 2
関心があるグループ （「とても関心がある」、「まあまあ関心がある」、「子どもの権利（人権）について、もっと学び、きちんと知りたい」を選択）	636 人 52%	372 人 37%
無関心グループ （「あまり関心がない」、「全く関心がない」を選択）	185 人 15%	247 人 24%
どちらでもないグループ （「どちらとも言えない」、「子どもの権利（人権）について、知らないのわからない」を選択）	344 人 28%	383 人 37%

(問 1 6) 大人に心がけてほしいのはどんなことか

順位	小 5	中 2
1	子どもの命を守ること 984 人 80%	子どもの命を守ること 771 人 76%
2	病気、けが、虐待などから守ること 934 人 76%	他の子どもとの比較をしないこと 735 人 72%
3	いじめや、まわりから心や体を傷つけられるようなことから子どもを守ること 868 人 71%	病気、けが、虐待などから守ること 695 人 68%
4	子どもとの約束を守ること 861 人 70%	いじめや、まわりから心や体を傷つけられるようなことから子どもを守ること 693 人 68%
5	家族の時間を増やすこと 782 人 64%	子どもとの約束を守ること 676 人 66%

(問 17) 子どもの権利(人権)を尊重し合うために、子ども自身も社会の一員として努力すべきことはどんなことか

順位	小5	中2
1	自分の命、ほかの人の命を大切にすること 1,085 人 88%	自分の命、ほかの人の命を大切にすること 819 人 80%
2	いじめや人がいやがることをしないこと 966 人 79%	いじめや人がいやがることをしないこと 809 人 79%
3	いじめや人がいやがることをやっている人を見たら止めること 889 人 72%	他の人に暴力を振るったり、心を傷つけるひどい言葉を投げつけたりしないこと 703 人 69%
4	他の人に暴力を振るったり、心を傷つけるひどい言葉を投げつけたりしないこと 847 人 69%	いじめや人がいやがることをやっている人を見たら止めること 699 人 68%
5	他の人の気持ちや考えを大切にすること 758 人 62%	人種、性別、宗教や考え方の違い、経済的な理由などによって、人を差別しないこと 683 人 67%

(問 18) 他の人の権利(人権)を大切にしていなかったり、侵害していると感じるのはどれか

順位	小5	中2
1	特定の人を無視したり、仲間はずれにする 900 人 73%	特定の人を無視したり、仲間はずれにする 806 人 79%
2	他の人に暴力を振るう 809 人 66%	他の人の心を傷つけるようなひどい言葉を言う 731 人 72%
3	他の人の心を傷つけるようなひどい言葉を言う 804 人 65%	他の人に暴力を振るう 729 人 71%
4	他の人が秘密にしていることを言いふらす 747 人 61%	インターネットなどに他の人の悪口を書き込む 719 人 70%
5	インターネットなどに他の人の悪口を書き込む 713 人 58%	他の人が秘密にしていることを言いふらす 712 人 70%

(問 19) 子どもの権利(人権)についてみんなが知るようになると、どんな効果や影響があるか

順位	小5	中2
1	いじめが減る 789 人 64%	子どもが自分自身の責任を自覚するようになる 600 人 59%
2	子どもが自分自身の責任を自覚するようになる 785 人 64%	いじめが減る 499 人 49%
3	他人の権利を尊重し、思いやりの心をもてるようになる 569 人 46%	他人の権利を尊重し、思いやりの心をもてるようになる 484 人 47%
4	自分で考え自分で判断できる主体的な市民が育つ 548 人 45%	物事を広い視野でとらえることができるようになる 462 人 45%
5	物事を広い視野でとらえることができるようになる 505 人 41%	自分で考え自分で判断できる主体的な市民が育つ 400 人 39%

資料編（回答フォーム）

立川市子どもの自己肯定（こうてい）感などに関する調査（小学5年生）

この調査は、立川市の子どもが安心していきいきと生活できるまちづくりが実現できているかを知るために、立川市が行うものです。
調査の回答については、今後の施策（せさく）づくりや取り組みに生かすことを目的としています。

調査にあたって

あなたが何を答えたかということは、他の人にわかることは絶対にありません。
また、調査報告書は市ホームページで公表しますが、あなたに迷惑（めいわく）がかかることもありません。

あなたが答えたくない、または答えられない質問には、答えなくてもかまいません。

自己肯定（こうてい）感とは・・・

自分が生きていることには意味がある、自分は愛される価値がある、自分は大事な存在である、自分には何かできる、などと、自分自身を肯定（こうてい）的にとらえる感覚をいいます。生きていく上で、とても大切な感覚です。

あなた自身のことについてお聞きします

問1 あなたの性別を教えてください。

1 つだけマークしてください。

- ☐ 男
- ☐ 女
- ☐ 答えたくない

問2 あなたは、自分のことについて、次のようなことを思いますか。

1行につき1つだけマークしてください。

	そう 思 う	まあそ う 思 う	あまりそ う思 わ ない	そう思 わ ない
自分のことが好きだ	☐	☐	☐	☐
自分は人から必要とされている	☐	☐	☐	☐
自分にはよいところがたくさんある	☐	☐	☐	☐
自分には何かができる	☐	☐	☐	☐
自分は目標に向かって努力している	☐	☐	☐	☐
自分は役に立つ人間だと思う	☐	☐	☐	☐
だれかのために何かをしたい	☐	☐	☐	☐
社会に役立つことをしたい	☐	☐	☐	☐

問3 あなたは、あなたの家庭について、次のようなことを思いますか。

1行につき1つだけマークしてください。

	そう 思 う	まあそ う 思 う	あまりそ う思 わ ない	そう思 わ ない
家族とはよく話す	☐	☐	☐	☐
家族とは一緒（いっしょ）に夕食を食べる	☐	☐	☐	☐
自分は家族から大事にされている	☐	☐	☐	☐
自分は家族を大事に思っている	☐	☐	☐	☐
自分の家庭はよい家庭だと思う	☐	☐	☐	☐

問4 あなたにとって、ホッとでき、安心していられるところはどこですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 自分の部屋
- ☐ 家族と一緒に（いっしょ）にくつろぐ部屋
- ☐ 友だちの家
- ☐ 祖父母（そふぼ）の家
- ☐ 学校の教室
- ☐ 学校の保健室
- ☐ 学校の相談室
- ☐ 学校の図書室
- ☐ 学校の体育館・グラウンド
- ☐ 学校の部屋
- ☐ 児童館
- ☐ 図書館・地域学習館
- ☐ 公園
- ☐ 塾（じゅく）
- ☐ 習いごとの教室・スポーツクラブ
- ☐ スポーツをするところ（グラウンド・体育館等）
- ☐ フリースペース・フリースクール
- ☐ コンビニエンスストア・ショッピングセンターなど
- ☐ ハンバーガーショップ・ファミリーレストランなど
- ☐ ホッとでき、安心していられるところはない

その他: ☐ _____

問5 あなたにとって、自分の悩（なや）みなどを何でも話せる人はだれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 親
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ 祖父母（そふぼ）
- ☐ 友だち
- ☐ 担任・副担任などの先生
- ☐ 保健室の先生
- ☐ クラブ・部活動の顧問（こもん）の先生
- ☐ 校長先生・副校長先生
- ☐ 習いごとの先生、スポーツクラブの監督（かんとく）・コーチ
- ☐ 塾（じゅく）の先生
- ☐ インターネット上のだれか
- ☐ 電話・メール相談の相手
- ☐ 何でも話せる人はいない

その他: ☐ _____

問6 あなたにとって、自分が話したいこと（楽しかったことなど）を何でも話せる人はだれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 親
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ 祖父母（そふぼ）
- ☐ 友だち
- ☐ 担任・副担任などの先生
- ☐ 保健室の先生
- ☐ クラブ・部活動の顧問（こもん）の先生
- ☐ 校長先生・副校長先生
- ☐ 習いごとの先生、スポーツクラブの監督（かんとく）・コーチ
- ☐ 塾（じゅく）の先生
- ☐ インターネット上のだれか
- ☐ 電話・メール相談の相手
- ☐ 何でも話せる人はいない

その他: ☐ _____

問7 あなたにとって、あなたを大切に思ってくれていると思える人は、だれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 親
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ 祖父母（そふぼ）
- ☐ 友だち
- ☐ 担任・副担任などの先生
- ☐ 保健室の先生
- ☐ クラブ・部活動の顧問（こもん）の先生
- ☐ 校長先生・副校長先生
- ☐ 習いごとの先生、スポーツクラブの監督（かんとく）・コーチ
- ☐ 塾（じゅく）の先生
- ☐ インターネット上のだれか
- ☐ 電話・メール相談の相手
- ☐ 大切に思ってくれていると思える人はいない

その他: ☐ _____

問8 あなたは、次のようなことをやっていますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 食事の準備や後片付け
- ☐ トイレやおふろの掃除（そうじ）
- ☐ 洗濯物（せんたくもの）をとりこんだりたたんだりする
- ☐ 妹や弟の面倒（めんどう）をみる
- ☐ 生きものの世話
- ☐ 商売や農業など家業の手伝い
- ☐ 地域での子ども会やジュニア・リーダー活動
- ☐ 地域のお年よりや小さい子への気配りや手助け
- ☐ 高齢者施設（こうれいしゃしせつ）・保育施設（しせつ）などでのボランティア
- ☐ 地域スポーツクラブなどへの参加
- ☐ 学校でのクラブ活動
- ☐ 学校での児童会・生徒会活動
- ☐ 特になにもやっていない

その他: ☐ _____

問9 あなたには、将来（しょうらい）「やってみたいこと」や「なりたい職業（しょくぎょう）」など、自分なりの「夢（ゆめ）」がありますか。

1 つだけマークしてください。

- ☐ ある
- ☐ なんとなくある
- ☐ 今は思いつかない
- ☐ ない
- ☐ その他: _____

問10 苦しいけれど頑張（がんば）ったことや、大変だったけれど楽しかった経験（けいけん）はありますか。

1 つだけマークしてください。

- ☐ ある
- ☐ なんとなくある
- ☐ 今は思いつかない
- ☐ ない
- ☐ その他: _____

問10で「ある」「なんとなくある」と回答した人へ

問10-1 それはどんなことですか。

相談にのってくれるところについてお聞きします

問11 立川市の子どもの相談を受けてくれるところとして、次のようなところがありますが、このなかで、あなたが利用したことがあるものはどれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ チャイルドライン、チャイルドラインたちかわ（民間）
- ☐ 話してみなよ-東京子どもネット-（東京都）
- ☐ 子ども家庭支援（しえん）センター、子ども総合相談受付（市）
- ☐ 教育相談（市）
- ☐ 立川児童相談所（東京都）
- ☐ 東京都児童相談センター（東京都）
- ☐ 警視庁立川少年センター（東京都）
- ☐ 児童養護施設（ようごしせつ）至誠（しせい）学園（民間）
- ☐ 利用したことはない

その他: ☐ _____

問11で「利用したことはない」と回答した人へ

それ以外を選んだ人は問12へ進んでください。

問11-1 それはなぜですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 電話番号がわからないから
- ☐ 相談の場所を知らないから
- ☐ ちゃんと相談にのってくれるか不安だから
- ☐ 相談したことを、だれかに知られたらいやだから
- ☐ 相談しても、よくなると思うから
- ☐ 特に相談することがないから

その他: ☐ _____

問12 あなたは、どのようなところだったら、相談しようと思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ どんな話でも聞いて受けとめてくれるところ
- ☐ 24時間いつでも電話などで対応してくれるところ
- ☐ 秘密（ひみつ）が守られるところ
- ☐ 自分と年齢（ねんれい）の近い話し相手がいるところ
- ☐ こまったときに、かけこめるところ、逃（に）げ込（こ）めるところ
- ☐ お金（電話代ほか）がかからないところ
- ☐ 自分の気持ちや意見を代弁※してくれるところ（※本人に代わって意見・要求を述べること）
- ☐ 問題の解決（かいけつ）方法を教えてくれるところ
- ☐ 問題の解決（かいけつ）のために、学校や施設（しせつ）やその職員などとの関係を調整してくれるところ
- ☐ 問題の解決（かいけつ）に取り組んでくれないところや人に、取り組むように働きかけてくれるところ

その他: ☐ _____

子どもの権利（けんり）（人権（じんけん））についてお聞きます

子どもの権利（けんり）（人権（じんけん））とは・・・

すべての人は一人の人間として大切にされ、尊重（そんちょう）される権利（けんり）があります。その具体的（ぐたいてき）な内容には、人が幸せに生きる上で欠かせない生命や身体（しんたい）の自由の保障（ほしょう）、差別（さべつ）の禁止（きんし）、法（は）の下（した）の平等（びょうどう）、衣食住（いしょくじゅう）の充足（じゅうそく）※（※足りること）、また、思想（しやう）や言論（げんろん）の自由などが含（ふく）まれます。子どもにもその権利（けんり）は同じようにあります。特に、子どもはこれから育（そだ）っていく存在（そんざい）として、「子どもにとって一番（いちばん）いいこと」を配慮（はいりょ）してもらえる存在（そんざい）と言（い）われています。

同時に、わたしたちはみんな、たとえ子どもであっても、他の人々の「人としての権利（けんり）（人権（じんけん））」を尊重（そんちょう）し、それを侵害（しんがい）してはならない、という責任（せきにん）を負（お）います。

問13 「子どもの権利条約（けんりじょうやく）」を知っていますか。

1 つだけマークしてください。

- ☐ 条文（じょうぶん）や関連した本などを読んだことがある
- ☐ 内容について多少知っている
- ☐ 名前だけは知っている
- ☐ 知らない
- ☐ その他: _____

問14 子どもの権利（けんり）（人権（じんけん））について、関心がありますか。

1 つだけマークしてください。

- ☐ とても関心がある
- ☐ まあまあ関心がある
- ☐ あまり関心がない
- ☐ まったく関心がない
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 子どもの権利（けんり）（人権（じんけん））について知らないので、わからない
- ☐ 子どもの権利（けんり）（人権（じんけん））について、もっと学び、きちんと知りたい
- ☐ その他: _____

問15 子どもの権利（けんり）（人権（じんけん））として、どんなことが特に大切だと思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 子どもが家族と仲良く一緒（いっしょ）に過ごす時間を持つこと
- ☐ 子どもが、障害（しょうがい）のあるなし、人種や言葉や信仰（しんこう）の違（ちが）い、経済的な理由などによって差別されないこと
- ☐ 子どもに関するいろいろなことを決めるときには、子どもにとってもっともいいことが一番に考えられること
- ☐ 子どもの命が大切にされること
- ☐ 子どもが暴力（ぼうりょく）や言葉で傷（きず）つけられないこと
- ☐ 人と違（ちが）う自分らしさが認（みと）められること
- ☐ 子どもが子どもからの呼（よ）びかけでグループを作り集まれること
- ☐ 子どもが自由に自分の意見を言えること
- ☐ 子ども自身の秘密（ひみつ）が守られること
- ☐ 子どもも大人も一緒（いっしょ）に「子どもの権利条約（けんりじょうやく）」について知ること
- その他: ☐ _____

問16 大人に心がけてほしいのはどんなことですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 子どもの命を守ること
- ☐ 病気、けが、虐待（ぎゃくたい）※などから守ること（※ひどいあつかいをするこ
と）
- ☐ いじめや、まわりから心や体を傷（きず）つけられるようなことから子どもを守ること
- ☐ 子どもとの約束を守ること
- ☐ 他の子どもとの比較（ひかく）をしないこと
- ☐ 家族が仲良く一緒（いっしょ）に過（す）ごす時間を増やすこと
- ☐ 決まりや約束事を決めるときは子どもの意見を聞き、なるべく子どもと一緒に（いっし
ょ）に決めること
- ☐ 子どものことに干渉（かんしょう）し過（す）ぎずに見守ること
- ☐ 子どもの話を真剣（しんけん）に聞くこと
- ☐ 子ども自身のことは、子どもが自分で考えて決められるよう援助（えんじょ）すること

その他: ☐ _____

問17 子どもの権利（けんり）（人権（じんけん））を尊重（そんちょう）し合うために、子ども自身も社会の一員として努力すべきことはどんなことだと思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 自分の命、ほかの人の命を大切にすること
- ☐ いじめや人がいやがることをしないこと
- ☐ いじめや人がいやがることをやっている人を見たら止めること
- ☐ 他の人に暴力（ぼうりょく）を振（ふ）るったり、心を傷（きず）つけるひどい言葉を投げつけたりしないこと
- ☐ 決まりや約束事をお互（たが）いに守ること
- ☐ 家族が仲良く一緒（いっしょ）に過（す）ごす時間を増やすこと
- ☐ 他の人の気持ちや考えを大切にすること
- ☐ほかの人の話を真剣（しんけん）に聞くこと
- ☐ いろいろなことを自分たちでしっかり考え、意見をまとめ、相手にわかるように伝えること
- ☐ 高齢者（こうれいしゃ）や障害（しょうがい）のある人、弱い立場の人を助けること
- ☐ 人種、性別、宗教（しゅうきょう）や考え方の違（ちが）い、経済的な理由などによって、人を差別しないこと
- ☐ 大変なことで、やらなければいけないことにはみんなと協力して取り組むこと

その他: ☐ _____

問18 次のうちで、他の人の権利（けんり）（人権（じんけん））を大切にしていなかったり、侵害（しんがい）しているとあなたが感じるのはどれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 特定の人を無視（むし）したり、仲間はずれにする
- ☐ 他の人に暴力（ぼうりょく）を振（ふ）るう
- ☐ 他の人の心を傷（きず）つけるようなひどい言葉を使う
- ☐ 他の人の持ち物やお金を、取ったり隠（かく）したりする
- ☐ 他の人が秘密（ひみつ）にしていることを言いふらす
- ☐ インターネットなどに他の人の悪口を書き込（こ）む
- ☐ いじめを知っていて黙（だま）っている
- ☐ 授業中に騒（さわ）いで授業などの邪魔（じゃま）をする
- ☐ テレビなどで、芸人などに嫌（いや）なことをやらせる

その他: ☐ _____

問19 「子どもの権利（けんり）（人権（じんけん））」についてみんなが知るとなると、どんな効果（こうか）や影響（えいきょう）があると思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 子どもが自分自身の責任（せきにん）を自覚するようになる
- ☐ 物事を広い視野（しや）でとらえることができるようになる
- ☐ 自分で考え自分で判断（はんだん）できる主体的な市民が育つ
- ☐ 他人の権利を尊重（そんちょう）し、思いやりの心を持てるようになる
- ☐ いじめが減（へ）る
- ☐ 子どもが礼儀（れいぎ）や道徳をわきまえなくなる
- ☐ 子どもが自分の意見ばかり主張（しゅちょう）するようになる
- ☐ 子どもが自分自身の責任（せきにん）を果たさなくなる
- ☐ わからない

その他: ☐ _____

問20 子どもが社会に参加する機会として、どのような活動がいいと思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ ボランティアなどの活動
- ☐ 様々な職業（しょくぎょう）の現場体験
- ☐ 市長との話し合い
- ☐ 市議会議員との懇談会（こんだんかい）や議会見学
- ☐ 子ども委員会や子ども議会
- ☐ 子どもホームページの開設（かいせつ）
- ☐ 子どもが編集した情報誌（じょうほうし）の発行
- ☐ ベビーシッターや保育など小さい子どもと遊ぶ体験
- ☐ 青少年の居場所施設（しせつ）の自主管理（運営委員会など）に参加

その他: ☐ _____

あなたの今の気持ちなどについてお聞きます

問21 新型コロナウイルス感染症（かんせんしょう）による、あなたの今の気持ちはどれにあてはまりますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 楽しい
- ☐ まあ楽しい
- ☐ あまり楽しくない
- ☐ 楽しくない

その他: ☐ _____

問22 問21でそれを選んだのはなぜですか。

問23 新型コロナウイルス感染症（かんせんしょう）により、あなたが今感じていることはどれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 友だちと会えない
- ☐ 友だちと遊んだり、出かけたりすることができない
- ☐ 家族と出かけられない
- ☐ 家族との時間が増えた
- ☐ 自分の時間が増えた
- ☐ スポーツなどで体を動かすことができない
- ☐ 部活動が十分にできない
- ☐ 特になし

その他: ☐ _____

最後に、あなたが今悩（なや）んでいること、言いたいこと、こんなところがあればいいなと思うこと、もっとこうしてもらいたいと思うことなどがあれば、何でも自由に書いてください。みなさんに書いていただいたことをまとめて、あなたが安心して自分らしくいきいきと過ごせるためにできることを考えていきたいと思います。

立川市の子どもたちが悩（なや）んだとき、困ったとき 相談できるところ

みんなへのお願い

下の画像をスクリーンショットで保存してください。

スクリーンショットは、ctrlキーとウインドウキー（「6」と「7」の間の上のキー）を同時に押すと保存されます。



これで終わりです。ご協力ありがとうございました。

この調査に関するご意見やご質問について

【連絡先】 立川市子ども家庭部子育て推進課 TEL 042-528-4342

立川市子どもの自己肯定感などに関する調査（中学2年生）

この調査は、立川市の子どもが安心していきいきと生活できるまちづくりが実現できているかを知るために、立川市が行うものです。
調査の回答については、今後の施策（せさく）づくりや取り組みに生かすことを目的としています。

調査にあたって

あなたが何を答えたかということは、他の人にわかることは絶対にありません。
また、調査報告書は市ホームページで公表しますが、あなたに迷惑がかかることもありません。

あなたが答えたくない、または答えられない質問には、答えなくてもかまいません。

自己肯定感とは・・・

自分が生きていることには意味がある、自分は愛される価値がある、自分は大事な存在である、自分には何かできる、などと、自分自身を肯定的にとらえる感覚をいいます。
生きていく上で、とても大切な感覚です。

あなた自身のことについてお聞きします

問1 あなたの性別を教えてください。

1 つだけマークしてください。

- ☐ 男
- ☐ 女
- ☐ 答えたくない

問2 あなたは、自分のことについて、次のようなことを思いますか。

1行につき1つだけマークしてください。

	そう 思 う	まあそ う 思 う	あまりそ う思 わ ない	そう思 わ な い
自分のことが好きだ	☐	☐	☐	☐
自分は人から必要とされている	☐	☐	☐	☐
自分にはよいところがたくさんある	☐	☐	☐	☐
自分には何かができる	☐	☐	☐	☐
自分は目標に向かって努力している	☐	☐	☐	☐
自分は役に立つ人間だと思う	☐	☐	☐	☐
だれかのために何かをしたい	☐	☐	☐	☐
社会に役立つことをしたい	☐	☐	☐	☐

問3 あなたは、あなたの家庭について、次のようなことを思いますか

1行につき1つだけマークしてください。

	そう 思 う	まあそ う 思 う	あまりそ う思 わ ない	そう思 わ な い
家族とはよく話す	☐	☐	☐	☐
家族とは一緒に夕食を食べる	☐	☐	☐	☐
自分は家族から大切にされている	☐	☐	☐	☐
自分は家族を大事に思っている	☐	☐	☐	☐
自分の家庭はよい家庭だと思う	☐	☐	☐	☐

問4 あなたにとって、ホッとでき、安心していられるところはどこですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 自分の部屋
- ☐ 家族と一緒にくつろぐ部屋
- ☐ 友だちの家
- ☐ 祖父母の家
- ☐ 学校の教室
- ☐ 学校の保健室
- ☐ 学校の相談室
- ☐ 学校の図書室
- ☐ 学校の体育館・グラウンド
- ☐ 学校の部屋
- ☐ 児童館
- ☐ 図書館・地域学習館
- ☐ 公園
- ☐ 塾
- ☐ 習いごとの教室・スポーツクラブ
- ☐ スポーツをするところ（グラウンド・体育館等）
- ☐ フリースペース・フリースクール
- ☐ コンビニエンスストア・ショッピングセンターなど
- ☐ ハンバーガーショップ・ファミリーレストランなど
- ☐ ホッとでき、安心していられるところはない

その他: ☐ _____

問5 あなたにとって、自分の悩みなどを何でも話せる人はだれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 親
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ 祖父母
- ☐ 友だち
- ☐ 担任・副担任などの先生
- ☐ 保健室の先生
- ☐ クラブ・部活動の顧問の先生
- ☐ 校長先生・副校長先生
- ☐ 習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチ
- ☐ 塾の先生
- ☐ インターネット上のだれか
- ☐ 電話・メール相談の相手
- ☐ 何でも話せる人はいない

その他: ☐ _____

問6 あなたにとって、自分が話したいこと（楽しかったことなど）を何でも話せる人はだれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 親
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ 祖父母
- ☐ 友だち
- ☐ 担任・副担任などの先生
- ☐ 保健室の先生
- ☐ クラブ・部活動の顧問の先生
- ☐ 校長先生・副校長先生
- ☐ 習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチ
- ☐ 塾の先生
- ☐ インターネット上のだれか
- ☐ 電話・メール相談の相手
- ☐ 何でも話せる人はいない

その他: ☐ _____

問7 あなたにとって、あなたを大切に思ってくれていると思える人は、だれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 親
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ 祖父母
- ☐ 友だち
- ☐ 担任・副担任などの先生
- ☐ 保健室の先生
- ☐ クラブ・部活動の顧問の先生
- ☐ 校長先生・副校長先生
- ☐ 習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチ
- ☐ 塾の先生
- ☐ インターネット上のだれか
- ☐ 電話・メール相談の相手
- ☐ 大切に思ってくれていると思える人はいない

その他: ☐ _____

問8 あなたは、次のようなことをやっていますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 食事の準備や後片付け
- ☐ トイレやおふろの掃除
- ☐ 洗濯物をとりこんだりたたんだりする
- ☐ 妹や弟の面倒をみる
- ☐ 生きものの世話
- ☐ 商売や農業など家業の手伝い
- ☐ 地域での子ども会やジュニア・リーダー活動
- ☐ 地域のお年よりや小さい子への気配りや手助け
- ☐ 高齢者施設・保育施設などでのボランティア
- ☐ 地域スポーツクラブなどへの参加
- ☐ 学校でのクラブ活動
- ☐ 学校での児童会・生徒会活動
- ☐ 特になにもやっていない

その他: ☐ _____

問9 あなたには、将来「やってみたいこと」や「なりたい職業」など、自分なりの「夢」がありますか。

1 つだけマークしてください。

- ☐ ある
- ☐ なんとなくある
- ☐ 今は思いつかない
- ☐ ない
- ☐ その他: _____

問10 苦しいけれど頑張ったことや、大変だったけれど楽しかった経験はありますか。

1 つだけマークしてください。

- ☐ ある
- ☐ なんとなくある
- ☐ 今は思いつかない
- ☐ ない
- ☐ その他: _____

問10で「ある」「なんとなくある」と回答した人へ

問10-1 それはどんなことですか。

相談にのってくれるところについてお聞きします

問11 立川市の子どもの相談を受けてくれるところとして、次のようなところがありますが、このなかで、あなたが利用したことがあるものはどれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ チャイルドライン、チャイルドラインたちかわ（民間）
- ☐ 話してみなよ-東京子どもネット-（東京都）
- ☐ 子ども家庭支援（しえん）センター、子ども総合相談受付（市）
- ☐ 教育相談（市）
- ☐ 立川児童相談所（東京都）
- ☐ 東京都児童相談センター（東京都）
- ☐ 警視庁立川少年センター（東京都）
- ☐ 児童養護施設（ようごしせつ）至誠学園（民間）
- ☐ 利用したことはない

その他: ☐ _____

問11で「利用したことはない」と回答した人へ

それ以外を選んだ人は問12へ進んでください。

問11-1 それはなぜですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 電話番号がわからないから
- ☐ 相談の場所を知らないから
- ☐ ちゃんと相談にのってくれるか不安だから
- ☐ 相談したことを、だれかに知られたらいやだから
- ☐ 相談しても、よくなると思うから
- ☐ 特に相談することがないから

その他: ☐ _____

問12 あなたは、どのようなところだったら、相談しようと思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ どんな話でも聞いて受けとめてくれるところ
- ☐ 24時間いつでも電話などで対応してくれるところ
- ☐ 秘密が守られるところ
- ☐ 自分と年齢の近い話し相手がいるところ
- ☐ こまったときに、かけこめるところ、逃げ込めるところ
- ☐ お金（電話代ほか）がかからないところ
- ☐ 自分の気持ちや意見を代弁してくれるところ
- ☐ 問題の解決方法を教えてくれるところ
- ☐ 問題の解決のために、学校や施設やその職員などとの関係を調整してくれるところ
- ☐ 問題の解決に取り組んでくれないところや人に、取り組むように働きかけてくれるところ

その他: ☐ _____

子どもの権利（人権）についてお聞きします

子どもの権利（人権）とは・・・

すべての人は一人の人間として大切にされ、尊重される権利があります。その具体的な内容には、人が幸せに生きる上で欠かせない生命や身体の自由の保障、差別の禁止、法の下での平等、衣食住の充足（足りること）、また、思想や言論の自由などが含まれます。子どもにもその権利は同じようにあります。特に、子どもはこれから育っていく存在として、「子どもにとって一番いいこと」を配慮してもらえる存在と言われています。

同時に、わたしたちはみんな、たとえ子どもであっても、他の人々の「人としての権利（人権）」を尊重し、それを侵害してはならない、という責任を負います。

問13 「子どもの権利条約」を知っていますか。

1 つだけマークしてください。

- ☐ 条文や関連した本などを読んだことがある
- ☐ 内容について多少知っている
- ☐ 名前だけは知っている
- ☐ 知らない
- ☐ その他: _____

問14 子どもの権利（人権）について、関心がありますか。

1つだけマークしてください。

- ☐ とても関心がある
- ☐ まあまあ関心がある
- ☐ あまり関心がない
- ☐ まったく関心がない
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 子どもの権利（人権）について知らないので、わからない
- ☐ 子どもの権利（人権）について、もっと学び、きちんと知りたい
- ☐ その他: _____

問15 子どもの権利（人権）として、どんなことが特に大切だと思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 子どもが家族と仲良く一緒に過ごす時間を持つこと
- ☐ 子どもが、障害のあるなし、人種や言葉や信仰の違い、経済的な理由などによって差別されないこと
- ☐ 子どもに関するいろいろなことを決めるときには、子どもにとってもっともいいことが一番に考えられること
- ☐ 子どもの命が大切にされること
- ☐ 子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと
- ☐ 人と違う自分らしさが認められること
- ☐ 子どもが子どもからの呼びかけでグループを作り集まれること
- ☐ 子どもが自由に自分の意見を言えること
- ☐ 子ども自身の秘密が守られること
- ☐ 子どもも大人も一緒に「子どもの権利条約」について知ること

その他: ☐ _____

問16 大人に心がけてほしいのはどんなことですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 子どもの命を守ること
 - ☐ 病気、けが、虐待などから守ること
 - ☐ いじめや、まわりから心や体を傷つけられるようなことから子どもを守ること
 - ☐ 子どもとの約束を守ること
 - ☐ 他の子どもとの比較をしないこと
 - ☐ 家族が仲良く一緒に過ごす時間を増やすこと
 - ☐ 決まりや約束事を決めるときは子どもの意見を聞き、なるべく子どもと一緒に決めること
 - ☐ 子どものことに干渉し過ぎずに見守ること
 - ☐ 子どもの話を真剣に聞くこと
 - ☐ 子ども自身のことは、子どもが自分で考えて決められるよう援助すること
- その他: ☐ _____

問17 子どもの権利（人権）を尊重し合うために、子ども自身も社会の一員として努力すべきことはどんなことだと思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 自分の命、ほかの人の命を大切にすること
 - ☐ いじめや人がいやがることをしないこと
 - ☐ いじめや人がいやがることをやっている人を見たら止めること
 - ☐ 他の人に暴力を振るったり、心を傷つけるひどい言葉を投げつけたりしないこと
 - ☐ 決まりや約束事をお互いに守ること
 - ☐ 家族が仲良く一緒に過ごす時間を増やすこと
 - ☐ 他の方の気持ちや考えを大切にすること
 - ☐ ほかの方の話を真剣に聞くこと
 - ☐ いろいろなことを自分たちでしっかり考え、意見をまとめ、相手にわかるように伝えること
 - ☐ 高齢者や障害のある人、弱い立場の人を助けること
 - ☐ 人種、性別、宗教や考え方の違い、経済的な理由などによって、人を差別しないこと
 - ☐ 大変なことでも、やらなければいけないことにはみんなと協力して取り組むこと
- その他: ☐ _____

問18 次のうちで、他の人の権利（人権）を大切にしていなかったり、侵害しているとあなたが感じるのはどれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 特定の人を無視したり、仲間はずれにする
- ☐ 他の人に暴力を振るう
- ☐ 他の人の心を傷つけるようなひどい言葉を言う
- ☐ 他の人の持ち物やお金を、取ったり隠したりする
- ☐ 他の人が秘密にしていることを言いふらす
- ☐ インターネットなどに他の人の悪口を書き込む
- ☐ いじめを知っていて黙っている
- ☐ 授業中に騒いで授業などの邪魔をする
- ☐ テレビなどで、芸人などに嫌なことをやらせる

その他: ☐ _____

問19 「子どもの権利（人権）」についてみんなが知るようになると、どんな効果や影響があると思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 子どもが自分自身の責任を自覚ようになる
- ☐ 物事を広い視野でとらえることができるようになる
- ☐ 自分で考え自分で判断できる主体的な市民が育つ
- ☐ 他人の権利を尊重し、思いやりの心を持てるようになる
- ☐ いじめが減る
- ☐ 子どもが礼儀や道徳をわきまえなくなる
- ☐ 子どもが自分の意見ばかり主張ようになる
- ☐ 子どもが自分自身の責任を果たさなくなる
- ☐ わからない

その他: ☐ _____

問20 子どもが社会に参加する機会として、どのような活動がいいと思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ ボランティアなどの活動
- ☐ 様々な職業の現場体験
- ☐ 市長との話し合い
- ☐ 市議会議員との懇談会や議会見学
- ☐ 子ども委員会や子ども議会
- ☐ 子どもホームページの開設
- ☐ 子どもが編集した情報誌の発行
- ☐ ベビーシッターや保育など小さい子どもと遊ぶ体験
- ☐ 青少年の居場所施設の自主管理（運営委員会など）に参加

その他: ☐ _____

あなたの今の気持ちなどについてお聞きします

問21 新型コロナウイルス感染症による、あなたの今の気持ちはどれにあてはまりますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 楽しい
- ☐ まあ楽しい
- ☐ あまり楽しくない
- ☐ 楽しくない

その他: ☐ _____

問22 問21でそれを選んだのはなぜですか。

問23 新型コロナウイルス感染症により、あなたが今感じていることはどれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 友だちと会えない
- ☐ 友だちと遊んだり、出かけたりすることができない
- ☐ 家族と出かけられない
- ☐ 家族との時間が増えた
- ☐ 自分の時間が増えた
- ☐ スポーツなどで体を動かすことができない
- ☐ 部活動が十分にできない
- ☐ 特になし

その他: ☐ _____

最後に、あなたが今悩んでいること、言いたいこと、こんなところがあればいいなと思うこと、もっとこうしてもらいたいと思うことなどがあれば、何でも自由に書いてください。みなさんに書いていただいたことをまとめて、あなたが安心して自分らしくいきいきと過ごせるためにできることを考えていきたいと思います。

立川市の子どもたちが悩んだとき、困ったとき 相談できるところ

みんなへのお願い

下の画像をスクリーンショットで保存してください。

スクリーンショットは、ctrlキーとウインドウキー（「6」と「7」の間の上のキー）を同時に押すと保存されます。



これで終わりです。ご協力ありがとうございました。

この調査に関するご意見やご質問について

【連絡先】 立川市子ども家庭部子育て推進課 TEL 042-528-4342

立川市子どもの自己肯定感などに関する調査 報告書

令和4（2022）年 3 月発行

立川市子ども家庭部子育て推進課

〒190-8666 立川市泉町 1156-9

TEL:042-523-2111(内線 1341)

FAX:042-528-4356

E-mail:kosodatesuishin@city.tachikawa.lg.jp

